

第二類 人保險之部

九四八

一金壹千七百三拾貳圓九拾錢壹厘

代理店諸費

支出合計金壹萬貳千百七拾圓七拾四錢九厘

差引殘金之部

一金四千三百貳圓拾貳錢

當半期支出殘金

收支勘定ノ説明

一 本期間諸收入金ノ内ヨリ支出シタル金額ノ内大阪支社營業家屋竝ニ土地代金貳千百八十三圓拾六錢五厘ハ前期間支出ノ創業費什器本社營業家屋各代理店設置費ノ四項ト共ニ資産ニ編入シ後年度ヨリ漸次償還スヘシ其他ノ支出金ハ總テ收入金ノ内ヨリ支拂決算ヲ了リ尙殘金四千三百貳圓拾貳錢ヲ得タリ

配當金ノ事

一 支出殘金四千三百貳圓拾貳錢ノ内前年度ヨリ繰越金及ヒ本期間收入シタル諸利子諸手数料雜收入ノ四項ヲ配當スヘキモノトシ合計スレハ實ニ金千六拾壹圓五錢四厘ヲ得タリ依テ右金ノ内ヨリ第一回拂込株金ニ對シ六ヶ月分第二回拂込金ニ對シテハ拂込翌月ヨリ即チ壹ヶ月ノ利子ヲ附シ金千五拾圓ヲ本期間ノ配當額トナシ殘金拾壹圓五錢四厘ヲ後期繰越金ト定メタリ

配當金

支出殘金勘定

一金四千三百貳圓拾貳錢

當上半期支出殘金

右決算左ノ通

一金壹千五拾圓

配當但年六朱ニ當ル

一金拾壹圓五錢四厘

後半期繰越金

一金三千貳百四拾壹圓六錢六厘

保險準備金へ組込

保險準備金ノ件

一金七千貳百九圓四錢貳厘

前年度保險準備金

一金三千二百四拾壹圓六錢六厘

當上半期保險準備金

合計金壹萬四百五拾圓拾錢八厘

明治二十二年一月一日ヨリ同六月三十日迄ノ第二回報告相違無之候也

明治二十二年七月二十四日

理事員 松本伊兵衛
理事員兼會計檢査員 伊藤幹一
理事員兼幹事員 加藤爲重

保險準備金

理事員 小野寺 大三郎
 理事員 福原 有信
 社長 田中直次郎

株主各位

御中

【以下上半期收支計算報告表及株主姓名表掲載アレドモ之ハ省略ス】

第三回報告

明治二十二年七月一日ヨリ同年十二月三十一日ニ至ル六ヶ月間當會社ニ於テ施行シタル業務ノ
 實況竝ニ諸勘定ヲ株主諸君ニ報告スルコト左ノ如シ

定式總會ノ事

一 明治二十二年七月二十四日第二回定式總會ヲ東京商工會場ニ開キ當任社長田中直次郎前半
 期間ノ營業事務及諸勘定ノ要領ヲ報告シ割附金配當ノ算度ヲ年六朱ト定メタリ

營業實況

一 本半期間本社營業ノ景況ハ前半期間ト比較シ頗ル好況ヲ呈シ被保人々員保險金額保險料收

入等著シク前半期間ヨリ増加セリ其比較ハ左ノ如シ

種目	明治二十二年六月末	明治二十二年十二月末	増	減
保險金	九一五、一〇〇円	一、四一六、七〇〇円	五〇一、六〇〇円	
被保人員	二、一六五人	三、四六四人	一、二九九人	
一年間徵收スヘキ保險料	三三、七五一、四三七円	五一、四一七、三〇五円	一七、六六五、八六八円	

一 本半期間死亡保險金ヲ交付セシ人員ハ十四人ニシテ其保險金額ハ四千六百圓ナリ而シテ之
 ヲ交付セシ所管地區別ハ左ノ如シ

場所	保險金額	人員
東京	金貳千四百圓	六人
名古屋	金壹千圓	壹人
仙臺	金四百圓	貳人
大阪	金四百圓	貳人
大橋	金貳百圓	壹人
前橋	金貳百圓	壹人
神戶	金壹百圓	壹人

第二類 人保險之部

九五四

- 一金貳百五拾六圓九拾貳錢六厘
- 一金七千六百六拾九圓三拾錢貳厘
- 一金四千六百圓
- 一金百三拾圓拾九錢三厘
- 合計金八萬五百拾圓八拾錢壹厘

假出金
支社及各代理店
保險料未納額
當座預リ金
通貨有高

收入支出總勘定ノ件

收入ノ部

- 一金六千六百九拾三圓八拾貳錢壹厘
- 一金壹萬六千七百八拾六圓拾五錢四厘
- 一金拾壹圓五錢四厘
- 一金貳千四百貳拾七圓九拾四錢九厘
- 一金貳拾四圓五拾錢
- 一金百三拾五圓七拾九錢九厘
- 收入合計金貳萬六千七拾九圓貳拾七錢七厘

本社保險料收入
支店代理店保險料收入
前半年度繰越高
利子收入
株券記名替等手數料
雜收入

支出ノ部

- 一金四千六百圓
- 一金八千貳拾七圓七拾五錢五厘
- 一金千五百五拾四圓九拾七錢九厘
- 一金貳千三百拾五圓六拾錢壹厘
- 支出合計金壹萬六千四百九拾八圓三拾三錢五厘

保險金交付高
本社事務費
支社事務費
代理店諸費

差引殘金ノ部

- 一金九千五百八拾圓九拾四錢貳厘

配當ノ事

一支出殘金九千五百八拾圓九拾四錢貳厘ノ内前年度ヨリ繰越金及本期間收入シタル諸利子諸手
數料雜收入ノ四項ヲ配當スヘキモノト爲シ之ヲ合計スレハ實ニ金貳千五百九拾九圓三拾錢貳
厘トナレリ依テ右金ノ内ヨリ金貳千四百圓ヲ本期間ノ株主配當金トナシ殘金壹百九拾九圓三
拾錢貳厘ヲ後半期繰越金ト定メタリ

支出殘金勘定ノ事

- 一金九千五百八拾圓九拾四錢貳厘

當下半年期支出殘金

右決算左ノ通り

- 一金貳千四百圓

株主配當 但年八朱ニ當ル

第二編 會社ニ資料

九五五

配當

支出殘金

一 明治廿一年十二月卅一日ノ第壹回生命保險一覽表現在人員金高ト第二回生命保險一覽表現在人員金高トヲ比較スレバ人員金高共ニ著シク増加スルヲ知ルニ足ルベシ

金高	比較	
	明治二十一年三月ヨリ同年十二月迄	明治二十二年一月ヨリ同年十二月迄
保現	第一回表	第二回表
金高	四九〇、六〇〇 ^四	一四一六、七〇〇 ^四
金高		九六二、一〇〇 ^四
		増

人員	比較	
	明治二十一年三月ヨリ同年十二月迄	明治二十二年一月ヨリ同年十二月迄
人員	第一回表	第二回表
人員	一、〇三三 ^人	三、四六四 ^人
		増
		二、四三一 ^人

- 一 當會社ノ資本金ハ參拾萬圓ナリ
- 一 當會社ノ保險準備金ハ壹萬七千四百參拾壹圓七拾四錢八厘ナリ
- 一 當會社ハ明治廿一年三月一日開業セリ
- 一 當會社ニ於テ引受クル保險種類ハ尋常終身保險、養老保險、短期保險、定期終身保險ノ四種トス

一 明治廿一年三月一日ヨリ明治廿二年十二月卅一日ニ至ル滿壹年十ヶ月間ニ結約濟現在保險

金總額ハ壹百四拾壹萬六千七百圓ニシテ其被保人員ハ參千四百六拾四人ナリ

一 明治廿一年三月一日ヨリ明治廿二年十二月卅一日ニ至ル滿壹年十ヶ月間ニ死亡セシ被保人ハ貳拾八名ニシテ支拂保險金總額ハ九千九百圓ナリ

一 明治廿二年十二月現在ノ支社及各地代理店ハ支社壹ヶ所代理店廿八ヶ所アリ（不日開設ノ場所數ヶ所アリ）

一 本社ハ日曜祭日ヲ除クノ外毎日正午ヨリ保險申込人ノ體格診査ヲナス但保險規則ハ端書ニテ御申越次第速ニ送呈ス

役員

社長	田中直次郎	理事員	松本伊兵衛
理事員	福原有信	幹事	永江徳志
理事員	小野寺大三郎	大坂支社	日下鐵字
理事員兼幹事	加唐爲重	幹事心得	瀧原美次
理事員兼幹事	伊藤幹一		
會計検査員			

囑托醫員 樫村 清徳 醫員 鳥山 巍
廣告

一 支社及代理店ハ生命保險契約ニ關スル取次ヲナシ及ビ保險料ヲ徵收スルノ業務ニ止リ當支社又ハ代理店ノ名義ヲ以テ金錢貸借ニ關スル件ハ一切取扱不申候

紐育生命保險會社

明治二十一年

郵便報知新聞

第四四八八號

明治二十一年一月十七日

紐育生命保險會社ノ支店 今度紐育生命保險會社ヨリ日本橋區兜町ナル三井物產會社へ代理店ヲ依託シタリ依テ同代理店ニ於テハ毎水曜日午後三時ヨリ被保人ノ身體檢査ヲ爲ス由右紐育生命保險會社ハ紐育立法院ノ特達ニ據リ千八百四十五年其業ヲ起シ千八百八十七年一月一日迄ニ積金七千五百四十二万四千四百五十三弗三十七仙ヲ備ヘタリト云フ

三井物產
代理店
依託
(406)

(407)

募集廣告

郵便報知新聞

第四四八九號

明治二十一年一月十八日

東京日々新聞

第四八五九號

明治二十一年一月十八日

米國紐育立法院ノ特達ニ據リ千八百四十五年開業ヲ爲シ紐育州政廳ノ管理ヲ有スル紐育生命保險會社(千八百八十七年一月一日迄積金七千五百四十二万四千四百五十三弗三十七仙ヲ備ユ)ハ今般業務ヲ伸張シ日本三井物產會社ニ代理店ヲ依託シ日本國諸君ノ生命保險ヲ負擔可致候該保險方法ハ日本在來ノ保險方法ニ比較シ被保人ニ於テハ莫大ノ利益有之候ニ付保險御望ノ御方ハ右代理店ニ就キ規則御一覽被成下度尤モ郵便ニテ御申越次第規則送呈可仕候也
但毎水曜日午後三時ヨリ被保人身體檢査可致候事

米國紐育生命保險會社

明治廿一年一月

右代理店 東京兜町 三井物產會社

郵便報知新聞

第四五六六號

明治二十一年四月二十一日

紐育生命保險會社 過般三井物產會社ニテ一手取次ヲ引受ケタル米國紐育生命保險會社ノ儀ニ付キ在紐育ノ河上領事ヨリ通報セシ所ヲ摘記スレハ下ノ如シ

第二編 會社資料

業績並ニ
會社組織
ノ紹介
(408)

同會社ハ今ヨリ四十三年前即チ千八百四十五年ニ其業ヲ創メ最初ハカリフホニヤ州ヲ以テ營業ノ要地トナシタルニ着實ナル事業家ハ窃ニ危ミタリシカ同五十四年頃ニ至リモリス、フランクリンナル人ヲ頭取ニ撰ミ大ニ業務ヲ擴張シ爾來年々隆盛ノ運ニ向ヒ積立金モ増加シテ現今ノ頭取ピールスト氏ノ時即チ昨年一月一日ノ報告ニ會社ノ貸借ヲ差引キ全クノ資産ニ屬スル分ノミニテ七千五百四十二万一千四百五十三弗三十七仙ニシテ保險現引受高ハ三億零四百三十七万三千五百四十弗ノ多キニ達セリ此會社ノ特有性質トシテ他ノ保險會社ニナキ働キ振リト云フハ此會社ハ株主組織ニアラサル故利益ノ全部ハ總テ保險證書ノ持主ニ歸シ又タ被保險者若シ保險年限内ニ死去セシ時ハ單ニ約束ノ保險金ヲ得ルニ止マラス尙オ生存時ニ拂込ミシ金員ノ半額ヲモ其遺族ニ渡スヘシ又タ被保險者カ契約年限ヲ無事ニ經過スルトキハ拂込タル金額ニ利足ヲ附ケテ一時又ハ年々ニ拂戻ス仕組ニテ至極便利ナル保險法ナリト云フ

郵便報知新聞

第四六六五號

明治二十一年八月十五日

米國紐育生命保險會社 同會社ハ今度日本取次店三井物產會社ニテ徵收シタル保險料ハ總テ日本銀行ヘ預ケル事ニ決シタリ是ハ同會社ノ保險證書ヲ所持セル日本人ヲ安心セシメンカ爲ナリ

日本ニ於ケル營業方針

(409)

マタ同會社ヨリ東洋受持ノ役員一名ヲ特派シテ橫濱ニ常置セシメ日本及ヒ支那沿岸ニ於ケル各取次店ヲ管理セシムルコトトセリ

郵便報知新聞

第四六七四號

明治二十一年八月二十五日

本社ハ保險證書所持人安心ノ爲メ日本ニ於テ徵收シタル保險料ハ總テ日本銀行ヘ預托シ又本社ヨリ特派セシ東洋役員一人ヲ橫濱ニ常置セシムルヲ以テ何事ニ關ラス總テ本社ニ對スル事件ハ同人ヘ照會セラルヘシ

日本ニ於ケル保險金支拂請求ハ其請求人居所ノ最近ナル取次店ノ手ヲ經テ仕拂ヘキモノトス

米國紐育生命保險會社

東京日本橋兜町同 取次店 三井物產會社

營業廣告

(410)

(411)

營業廣告

時事新報

第二四二八號

明治二十二年九月三十日

當會社は紐育立法院の特許に據り紐育廳保險局の管理に屬し其組織は保險狀の持主相互共有の會社なり故に利益の全部は保險狀持主に屬せり

第二編 會社資料

當會社の生命保險法は被保人死去するときは其遺族の補助となり又被保人満期まで生長するときは貯金積立となる

當社保險手續及詳細の規則は日本エジエント三井物産會社に就て審問あるべし

米 國 紐育生命保險會社
同社日本エジエント 東京兜町 三井物産會社

横濱生命保全會社

明治二十二年

讀 賣 新 聞

第四二二號

明治二十二年一月二十日

松本順氏の獎勵にて横濱の紳士高橋權三、秦順一、大澤留三郎等諸氏の發起に係る同會社は資本金を三万圓とし同所辨天通り四丁目本社を創設する、此會社の目的は是迄の生命保險法の如く死ねば贈金するといふにあらず、専ら平素の健康を保たしめんため會員たるものの身體を時々其會社の醫員が見廻りて若し不快の事あれば藥を與へる仕組にて其會員たるものは藥價診察料を出すに及ばざる由にて目下出願中なりといふ

生命保壽社

明治二十二年

每 日 新 聞

第五四四二號

明治二十二年二月六日

横濱の藤野善輔、須藤鑛作兩氏の發起にて生命保壽社と云ふを高島町の舊神風樓跡へ設置する由、右は諸人の生命を保全するものにて東京より櫻村清徳、櫻井郁二郎兩氏を聘用すると云ふ

帝國生命十全會社

明治二十二年

每 日 新 聞

第五四八三號

明治二十二年三月二十六日

有限 帝國生命十全會社株主募集廣告

一、本社ノ目的ハ生命保護ニシテ診察所並ニ病室ヲ設ケ株主患者ノ治療ハ勿論其乞ニ由リ健體

(414)

(413)

(412)

診察ヲ行フ者トス

一、本社ハ株主竝ニ其一家族ニ於ケル患者ノ藥價竝ニ手術料ヲ低廉シ普通價格ノ三分ノ二トシ且ツ診察料謝儀腕車料等ハ一切之ヲ受ケズ

但シ一株ニ付一家族五名迄ハ有效トス

一、本社ハ株主外ノ病者ヨリ來診往診ノ依頼アルキモ亦直ニ之ニ應スベシト雖モ相當ノ藥價手術料竝ニ腕車料ヲ領收スベシ

一、本社ハ貧困患者ノ爲メニ無料ニテ施療スベシ

一、本社ハ常置醫員ノ外ニ内科外科眼科產科婦人科ノ各專門大家ヲ招聘シ一定日ヲ以テ臨社診察ヲ乞フベシ

一、本社ノ資本金ハ七萬圓ト定メ之ヲ三千五百株ニ分チ一株ヲ金二拾圓トス

但總額ノ四分ノ一ハ創立發起人ニ於テ之ヲ負擔シ其餘ヲ廣ク募集スルモノトス

一、本社ノ株金募集方ハ最初一株ニ付金貳圓ヲ徵收スルノミニシテ殘額十八圓ハ年八朱ノ割合ヲ以テ毎年七月十二月ノ兩度ニ其利子ヲ拂込ムモノトス

右之趣旨ニ依リ株主タラン事ヲ御望ノ諸君ハ至急御申込有之度規則書御入用ノ方ハ端書ヲ以テ

御申越次第速ニ送呈可仕候

附言 當會社創立計畫以來意外ニ大方ノ賛成ヲ蒙リ豫約ノ株主モ已ニ數百株ニ立至リ候ニ付テハ開業最モ至急ヲ要スル儀ニ候間可成迅速御加入ノ程希望之至リニ御座候

明治廿二年三月

橫濱市太田町貳丁目卅五番地

帝國生命 十全會社創立事務所

毎 日 新 聞

第五五二號

明治二十二年六月十六日

株式募集廣告

當會社株式募集之儀來七月十日限切候間豫約諸君ハ至急株數御確定ノ上株金三井銀行橫濱分店へ御拂込被成下度猶思召有之候諸君ハ此際續々御申込有之度候也

有限責任 帝國生命十全會社

橫濱市太田町二丁目卅五番地

創立事務所

創立委員

高島權三、大西正雄、藤野善輔、須藤鑛作、秦順一

東京生命保險會社

明治二十二年

郵便報知新聞 第四九〇一號 明治二十二年五月二十五日
每 日 新 聞 第五五三四號 明治二十二年五月二十五日

東京生命保險會社 近來生命保險會社設立アルモ其組織迂遠或ハ尊大ニ過キ上流一部ニ行ハレ未タ全社會ニ普及セシムル事能ハス依テ今度東京生命保險會社ヲ本芝一丁目卅一番地ニ設立シ資本金三千圓トシ發起人ニテ負擔シ誰彼ヲ問ハス社員ヲ望ムモノハ入社ヲ許シ一名ニ付毎月三錢宛ヲ本社ニ出シ資本ノ維持ヲ補助シ社員中ニ疾病アル時ハ本社ヨリ醫員ヲ派出シ藥劑ノ多少ヲ問ハス其節二錢ヲ拂ヒ本社ニ正副社長會計幹事醫師藥劑等數名ヲ雇入レ社員相互ニ救濟補助ヲ旨トスル方法ニテ發起惣代芝區南佐久間町二丁目ノ青木虎一氏ヨリ昨廿四日其筋へ届ケ出タリ

設立ノ報

(416)

日本生命保險株式會社

明治二十二年

東京日々新聞 第五二九五號 明治二十二年六月二十三日

○日本生命保險會社 大阪及滋賀京都の豪商紳士の發起にて今度表題の如き會社を創立する事に決定し創立委員には土居通夫、田中市兵衛、川上左七郎、岡橋治助、竹田忠作、熊谷達太郎、乙谷權兵衛、草間眞太郎、井上信次郎、泉清介、廣瀬某外三名當選したり發起人は五十人にて株主申込の期日を來る廿五日迄とし夫より發起人會を開き直ちに出席するよしなるが資本金は三十万圓一株二十五圓株券一万五千枚にて大阪に本社を置き關西各地に支店代理店を置く見込なりと云ふ關西各地には是迄生命保險會社なく大阪に在るものも明治帝國の兩生命保險會社の支店若くば代理店のみにて此兩者の間多少の競争ありし處今度此新會社を増さば一層競争を見るに至るべしとの評判なりと云ふ

創立發起ノ報

(417)

(418)

東京日々新聞 第五二九六號 明治二十二年六月二十五日

○日本生命保險會社 是迄大阪には生命保險會社の設けなかりしを以て生命を保險せんと欲せば東京の明治、帝國の保險會社に申込むの外なかりしが斯くては其不便大方ならずとて今度滋賀の廣瀬、大阪の岡橋諸氏等が熱心に奔走をして大阪京都滋賀の人々を會して創立の委員を選びしに土居通夫、川上左七郎、田中市兵衛、竹田忠作、岡橋治助、熊谷達太郎、乙谷權兵衛、草間真太郎、井上保次郎、泉清助、廣瀬某の十一氏當選し夫々創立上の事を擔當し尙ほ發起人を五十人となす事になりしと而して同社の資本金は三十万圓にて一株二十五圓となし本社は大阪に支店代理店を各地に置き尋常終身保險、有限掛金保險、定期保險、養老保險の四種に分ちて營業する筈なりと云ふ

時事新報

第二三三六號

明治二十二年六月三十日

○有限責任日本生命保險會社今度大坂の紳商鴻池善右衛門、松本重太郎、土居通夫、田中市兵衛、難波治郎三郎其他七十餘名の發起にて有限責任日本生命保險會社を設置するに決し去る二十五日發起人調印済にて會社設立の儀を同府廳へ出願したる由同社の資金は最初五十萬圓の見込なりしも之を三十萬圓に減し一株二十五圓と定め一萬二千株を以て組織するものにて其創立

事務所は當分東區北濱二丁目に設立するよしなり

有限責任 日本生命保險會社創立願

今般私共一致協議ノ上有限責任日本生命保險會社ヲ創立シ別冊定款及ヒ保險規則ノ方法目的ヲ以テ營業開始仕度尤モ資本金十分ノ五ハ發起人ニ於テ負擔シ殘ル十分ノ五ハ一般募集ノ見込ニ候間何卒至急御詮議ノ上願意御允許被成下度此段奉願候也

明治廿二年七月一日 【六月二十九日附ヲ貼紙シテ七月一日トナセシモノナリ】

府下大阪市東區北濱四丁目五十七番屋敷

發起人總代 泉 清 助印

同市同區船越町貳丁目百三番屋敷

同 岡橋 治 助印

前書之通候也

明治廿二年六月廿八日

大阪府東區長 宮崎 鏡 幹

大阪府知事 西村 捨 三 殿

第二類 人保險之部

有限 責任 日本生命保險會社定款

【本定款ハ明治二十二年九月十六日届出改正ス、傍線ノ文字削除、小字ノ通り追加訂正】

第一章 總 則

第一條 本社ハ有限 責任 日本生命保險會社ト稱ス

第二條 本社ノ本店ハ大阪府東區今橋二丁目百拾四番屋敷ニ設置シ漸次各地ニ支社又ハ代理店ヲ置クベシ

第三條 本社ハ有限責任ニシテ各株主ノ負擔スベキ義務ハ其株金高ニ止ル者トス

第二章 資 本 金

第四條 本社ノ資本金ハ金參拾萬圓ニシテ之レヲ壹万貳千株ニ分チ一株ヲ金貳拾五圓ト定ム

第五條 本社ノ資本金ハ悉皆日本政府ノ公債證書ニ替ヘ之レヲ以テ營業上ノ準備トナスベシ
但本條公債證書ハ日本銀行へ保護預ケトナスベシ

第三章 積 立 金

第六條 保險掛金ノ内積立金トナスヘキ金員ハ社長取締役ノ決議ヲ以テ公債證書又ハ政府ノ保

證アル株券ニ代ヘ之ヲ保存スベシ
但本條物件ハ日本銀行へ保護預ケトナスベシ

第四章 株 式

第七條 本社ノ定款ヲ遵守シ株式ヲ引受タル者ハ(外國人ヲ除ク)都テ本社ノ株主タルベシ

第八條 本社株金ノ募集ハ當會社設立許可ノ日ヨリ三十日以内ニ五分ノ一(壹株ニ付)拂込ミヲ爲シ
シ殘額ハ爾後貳ケ年間ニ社長取締役ノ決議ヲ以テ募集スベシ
但每募集ハ一ヶ月前ニ通知スベシ

第九條 本社ノ株式券狀雛形左ノ如シ

株式券狀雛形

(表)

印紙 貼用	有限日本生命保險會社株式券狀
第何號	何府縣何市町村何々
一金貳拾五圓也	氏名 殿
右記名者日本生命保險會社ノ定款ヲ遵守シ本 社株式ノ内即チ壹株ノ持主タルコト相違ナキ 證據トシテ此株式券狀ニ本社ノ印章ヲ捺捺シ 之ヲ授與スルモノ也	
此株式券狀ヲ賣買讓與セント欲セバ本社ヘ 持參ス可シ本社ニ於テハ相當ノ檢査ヲ遂ケ 此券狀裏面裏割内ヘ社長及支配人記名調印 シ之ヲ還付スベシ	
年月日 印	有限日本生命保險會社 社長 氏名 殿 支配人 氏名 殿

(裏)

年月日	讓賣渡人 記名調印	買讓受人 記名調印	社長 記名調印	支配人 記名調印

但株金全額ニ滿タザル迄ハ左ノ雛形ノ假株式券狀ヲ交付スベシ
假株式券狀雛形

(表)

第何號	有限日本生命保險會社假株式券狀
貼用紙	何府縣何市町村何々
氏名 殿	
右記名者日本生命保險會社ノ定款ヲ遵守シ本 社株式ノ内即チ壹株ノ持主タルコト相違ナキ 證據トシテ此株式券狀ニ本社ノ印章ヲ捺捺シ 之ヲ授與スルモノ也	
此株式券狀ヲ賣買讓與セント欲セバ本社ヘ 持參ス可シ本社ニ於テハ相當ノ檢査ヲ遂ケ 此券狀裏面裏割内ヘ社長及支配人記名調印 シ之ヲ還付スベシ	
年月日 印	有限日本生命保險會社 社長 氏名 殿 支配人 氏名 殿

(裏)

年月日	讓賣渡人 記名調印	買讓受人 記名調印	社長 記名調印	支配人 記名調印

第十條 本社ノ株式ハ第二回拂込ヲナシタル後ニアラサレバ賣買讓與ヲ許サズ
但株主死亡亦ハ倒産ノ場合ハコノ限りニアラズ

第十一條 本社ノ株式ヲ賣買讓與スルニハ必ス本社ノ承認ヲ受クベシ故ニ券狀裏面ニ社長支配
人ノ證印ヲナサ、ル間ハ已ニ賣買讓與ヲ約スルモ本社ニ對シ其所有權移轉ノ効ナク本社ノ損
益ハ總テ株式券狀ノ名前入ニ負擔セシムベシ

第十二條 本社ノ株式券狀ヲ亡失毀損汚穢シタルトキハ券狀再渡シ書換亦ハ更正ヲ請フベシ
但シ券狀ノ再渡ヲ請フトキハ其亡失ノ事由ヲ詳記シタル書面ニ貳名以上ノ保證人ヲ立ツベシ
而シテ本社ハ新聞紙ニ廣告シ然ル後新券ヲ附與ス尤モ其費用ハ請求主之ヲ仕拂フベシ

第十三條 本社ノ株式券狀ノ再渡シ書換又ハ更生ヲ請フモノハ手数料トシテ券狀壹枚ニ付金貳
拾錢賣買讓與ノ登記料ハ金五錢ヲ支拂フベシ

第十四條 定式總會前三十日間ハ株券ノ書換ヲ停止ス可シ
第十五條 株主若シ株金拂込ミヲ怠ルトキハ其株金高ニ應ジ延滞日歩(金百圓ニ付一日金五錢)ヲ徵收スベ
シ而シテ其日數六十日以上ニ及フトキハ本社ニ於テ該株式ヲ公賣ニ附スベシ

但本社ノ場合ニ於テハ其公賣ニ關スル諸入費及延滞日歩ヲ計算シ餘剩アルトキハ之ヲ返付シ

不足アルトキハ之レヲ追徵スベシ

雖然其追徵スベキ金額ハ本株式券面ノ金額ニ超過セサルモノトス

第五章 營業

第十六條 本社ノ營業ハ左ノ四種トス

尋常終身保險

有限掛金終身保險

定期保險

養老保險

第十七條 本社ハ前條ニ掲グル事項ヲ以テ本業トナスカ故ニ目的外ノ事業ニハ一切關係セサル
ベシ

第十八條 本社ノ營業時間ハ毎日(月曜及大祭日ヲ除ク)午前九時ヨリ午後四時迄タルベシ
但日ノ長短ニヨリ伸縮スルコトアルベシ尤モ其ノ場合ニ於テハ府廳へ届出ルモノトス

第十九條 本社ヨリ發布スル保險證書ニハ本社ノ印章ヲ捺シ社長及支配人記名調印スベシ

第六章 役員

第十九條 本社ハ左ノ役員ヲ置ク

- 社長 壹名
- 副社長 壹名（便宜之レヲ置ク）
- 取締役 五名以上拾名以下
- 検査役 貳名
- 醫員 若干名
- 支配人 壹名
- 副支配人 若干名
- 手代 若干名

第二十條 正副社長及取締役検査役ヲ重役ト稱シ 醫員ヲ客員トシ 支配人以下ヲ社員ト稱スベシ

但社員ノ任免ハ社長取締役ノ決議ヲ以テス

第二十一條 役員給料ハ社長取締役決議ノ上左ノ區域内ニ於テ之ヲ取極ムベシ

一	等	自三十圓至百圓	社長
二	等	自二十四圓至二十八圓	副社長
三	等	無給	取締役検査役
四	等	自廿五圓至廿八圓	支配人
五	等	自十四圓至十五圓	副支配人
六	等	自十圓至十四圓	手代
七	等	自八圓至十圓	手代
八	等	自六圓至八圓	手代
九	等	自五圓至六圓	手代
十	等	五圓以下	雇

第二十二條 正副社長及取締役検査役ハ本社ノ株式五十株以上ヲ所有セル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之レヲ撰舉スベシ

但第一次總會ヲ開ク迄ハ發起人ニ於テ本條ノ役員ヲ撰定スベシ

第二十三條 醫員ハ社長取締役ノ決議ヲ以テ名望アル者へ囑託スルモノトス

第二十四條 重役在職年限ハ三ケ年トス

但再撰スルコトヲ得

第二十五條 重役中不適當ノ行爲有之ト認ムルトキハ在職年限中ト雖モ株主總會ノ決議ヲ以テ改撰スルコトアルベシ

第二十六條 正副社長ハ在職中各其所有ノ株式五十株ヲ本社へ預ケ置キ禁授受ノ三字ヲ附シタル預リ證ヲ受取り在職中ハ決シテ引出スコトヲ得ズ

第二十七條 社長ニ缺員アル時ハ臨時株主總會其ノ他ノ重役ニ欠員アルトキハ次回ノ株主總會ニ於テ補缺撰舉ヲナスベシ

但補欠員ハ前任者ノ残任期間在職スルモノトス

第七章 役員權限及義務

第二十九條^八 社長ハ本社全體ヲ統轄シ一切ノ責ニ任スベシ

第三十條^{二十九} 副社長ハ社長ヲ補佐シ社長事故アルトキハ之レヲ代理ス

第三十一條^{三十} 取締役ハ毎月一回本社ニ集會シ正副社長ト共ニ一切ノ事ヲ協議スヘキモノトス

第三十二條^一 社長取締役ハ諸務ニ緊要ナル申合規則ヲ議定スベシ

第三十三條^二 検査役ハ左ノ事務ヲ擔任スベシ

一 社長ノ事務取扱ヒ定款及ヒ諸規則ニ違背セザルヤ否ヤヲ監査スルコト

二 毎季ノ諸勘定ヲ検査シ意見ヲ株主總會ニ提出スルコト

第三十三條 醫員ハ社長ノ囑託ヲ受ケ保險申込人ヲ診査シ意見ヲ附シ社長ニ報告シ其他醫事諸般ノ事務ヲ擔任ス

第三十四條 支配人ハ社長ノ指揮ヲ受ケ諸般事務ヲ擔當ス

第三十五條 手代ハ社長及ヒ支配人ノ指揮ヲ受ケ各分掌ノ事務ヲ擔當ス

第八章 株主權限及總會

第三十五條^六 株主ハ本社執務中ハ何時タリトモ諸帳簿ヲ檢閱スルノ權アルベシ

第三十七條 株主ハ何等ノ事故アルモ本社解散ノ時ニアラザレバ其株金ヲ取戻スコトヲ得ズ

第三十六條^八 總會ハ議決權ヲ有スル株主ノ集會ニシテ定式臨時ノ二種トス定式總會ハ毎年一月

ニ之レヲ開キ臨時總會ハ社長取締役ノ必要ト思考スル場合ニ於テハ何時ニテモ株主ヲ召集スルモノトス

但定式臨時總會トモ廿日前ニ時日場所等ヲ各株主ヘ通知スベシ

第三十七條^九 定式總會ハ毎年一月ニ開キ社長ヨリ報告スル前壹ケ年間ニ係ル諸勘定ヲ審査シ配

當金割合ヲ定メ且ツ當期改撰ノ重役ヲ撰舉スルノ外他議ニ涉ルコトヲ得ズ

第三十八條^{四十} 臨時總會ヲ開クニハ必ス其ノ議ス可キ事項ヲ前以テ株主ニ報告シ而シテ其開會ニ

於テハ報告シタル事項ノ外他議ニ涉ルコトヲ得ズ

第三十九條^{四十一} 検査役又ハ議決權ヲ有スル株主三十名以上ニシテ其所持ノ株數現在發行總株ノ三

分ノ一ニ下ラサル株主ニ於テ本社ノ利害ニ關シ必要ト認ムルトキハ會議ノ目的ヲ舉ゲ臨時總

會ヲ社長ニ請求スルコトヲ得

若シ社長ニ於テ請求書ヲ受領シタル日ヨリ二週間内ニ開會ノ手續ヲナサハルトキハ其請求人

自ラ株主ヲ招集シテ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第四十條^{四十二} 總會ハ議決權ヲ有スル株主總員十分ノ一以上(委任狀ヲ附シタル株主モ加算ス)ニシテ其株數現在發

行總株四分ノ一以上ニ當ル株主出席スルニアラサレバ之レヲ開クコトヲ得ズ

但開會ノ日ニ至リ本條ノ定款ニ滿タサルトキハ其翌日ヨリ五日以内ニ開會スベシ

第四十一條^三 第三十九條ノ請求ニ依リ臨時會ヲ開設スルニ當リ第四十條ノ定款ニ滿タス開會スル能ハサルトキハ其請求ハ消滅スルモノトス

第四十二條^四 總會ニ於テハ社長ヲ以テ會頭トス社長若シ事故アルトキハ取締役又ハ株主中ヨリ撰舉スベシ

第四十三條^五 總會ハ出席株主議決權ノ過半數ニ由テ決ス可否相半スルトキハ會頭之レヲ決ス

第四十四條^六 株主議決權ハ其所持株數五株以下ハ之レヲ有セス六株ヨリ起算シ十株迄ハ一株毎ニ一個トシ十一株以上百株迄ハ五株毎ニ一個ヲ加ヘ百一株以上二百株迄ハ十株毎ニ一個ヲ加ヘ二百一株以上三百株迄ハ二十株毎ニ一個ヲ加ヘ三百一株以上ハ増個セサルモノトス

第四十五條^七 議決權ヲ有スル株主事故アリテ總會ニ出席シ難キモノハ六株以上ノ株主ヘ委任狀ヲ附シ代理セシムルヲ得

但本社ノ役員タルモノハ株主ノ代人トナルヲ得ズ

第九章 計 算

第四十六條^八 毎年一月ヨリ十二月迄一ケ年間ノ出納ヲ計算シ翌年一月定式總會ニ於テ株主ニ報

告スベシ

第四十七條^九 利益金ノ配當ハ左ノ二項トス

一 資本金ヨリ生スル利子ハ毎年一月株主總會ノ議決ヲ經テ株主ニ配當スル

二 被保人ヨリ徵收セシ保險掛金及之レヨリ生スル利子ハ三年毎ニ精算シ被保人年齢又ハ既

ニ契約セシ保險ノ種類ニヨリ精密ナル統計表ヲ調成シ之ニ基キ後年支出スヘキ保險金ヲ豫

定シ充分ナル保險準備金ヲ積立テ其殘額ニ對スル百分ノ五ヨリ尠カラズ拾五ヨリ多カラザ

ル役員償與金ヲ引去リ殘餘ヲ株主ニ配當スルモノトス

但死亡又ハ滿期ノ被保人ヘ交付スヘキ保險金ハ勿論諸般ノ經費ハ收入セシ保險掛金及ビ之

レヨリ生スル利子ヲ以テ支出スルモノトス

第十章 印 章

第四十八條^五 本社ニ用ユル印章ハ左ノ如シ

堅一寸二分

一寸二分

有限責任

日本生命

保險會社

五分

有限責任日本

生命保險會社

第十一章 帳簿

第四十九條^{五十一} 本社ハ洋式記簿法ヲ用ヒ嚴正ニ記入スベシ其帳簿ノ種類左ノ如シ

株式元帳、總勘定元帳、日記帳、出納帳

第十二章 定款更正及増減

第五十條^{五十二} 此ノ定款ハ株主議決ニヨリ府廳ノ許可ヲ得テ之ヲ更正増減スルコトアルベシ
右ノ條々發起人衆議ノ上決定シ其證トシテ左ニ記名調印ス自後加入ノ株主モ順次記名調印可致者也

明治二十二年六月二十八日

- 大阪市北區絹笠町拾番屋敷 川上左七郎
- 同市同區中之島壹丁目三十一番屋敷 土居通夫
- 同市東區唐物町三丁目 山口吉郎兵衛
- 同市同區船越町二丁目百三番屋敷 西田永助
- 同市西區靱上通三丁目十一番屋敷 岡橋治助
- 同市東區南久寶寺町二丁目七番屋敷 田中市兵衛
- 同市西區土佐堀裏町十三番屋敷 竹田忠作
- 西田永助

後見人

- 同市東區北濱二丁目百十八番屋敷 井上保次郎
- 同市同區北濱五丁目五十八番屋敷 熊谷辰太郎
- 同市北區堂島船大工町六十四番屋敷 難波二良三郎
- 同市東區今橋五丁目四十一番屋敷 草間貞太郎
- 同市北區中之島二丁目百五十三番屋敷 甲谷權兵衛
- 滋賀縣近江國犬上郡彦根町字沼波町十四番屋敷 弘世助三郎
- 大阪市東區北濱四丁目五十七番屋敷 泉清助
- 大阪市東區北濱四丁目百五番屋敷 平瀬龜之助
- 同市東區伏見町三丁目拾七番屋敷 藤田鹿太郎
- 同市東區和泉町二丁目七十五番屋敷 鴻池新十郎
- 同市東區北濱三丁目百番屋敷 緒方惟準
- 大阪市東區今橋三丁目番外三番屋敷 緒方拙齋
- 同市同區今橋四丁目四十一番屋敷 山田俊郷
- 大阪市東區道修町四丁目二番屋敷 高安道純
- 大阪市東區島町二丁目十八番屋敷 加藤謙藏

大阪市東區平野町四丁目九十二番屋敷	大井 卜 新
大阪市東區備後町二丁目八拾九番屋敷	和田 保 次 郎
同市同區同町一丁目十八番屋敷	川 上 利 助
大阪市東區農人橋二丁目百番屋敷	谷村 伊 右 衛 門
大阪市西區新町南通り五丁目百八十九番屋敷	高 木 嘉 兵 衛
大阪市東區鹽町四丁目百九十五番屋敷	瀨 尾 喜 兵 衛
大阪市南區安堂寺橋通四丁目二百五十四番屋敷	浮 田 桂 造
大阪市東區伏見町四丁目三十五番屋敷	安 田 源 三 郎
同市同區今橋五丁目六十八番屋敷	增 田 信 之
大阪市西區土佐堀壹丁目十一番屋敷	藤 本 清 兵 衛
同市東區伏見町壹丁目九番屋敷	辻 忠 右 衛 門
同市同區備後町四丁目六十八番屋敷	湖 龜 治 郎 七
同市同區高麗橋五丁目四七七番屋敷	野 田 吉 兵 衛
同市東區本町四丁目八番屋敷	長 谷 川 千 藏
同市西區立賣堀北通五丁目六十四番屋敷	平 田 正 之

大阪市東區淡路町四丁目百八番屋敷	馬 瀬 清 三 郎
大阪市東區高麗橋五丁目拾貳番屋敷	柴 田 忠 兵 衛
同市同區高麗橋五丁目二十二番屋敷	堀 江 猪 輔
同市同區本町二丁目四十一番屋敷	西 澤 武 助
同市同區本町二丁目六十二番屋敷	九 里 庄 次 郎
同市同區北濱四丁目九十六番屋敷	松 本 誠 直
同市西區靱北通四丁目壹番屋敷	金 澤 仁 兵 衛
同市東區北久太郎町三丁目拾三番屋敷	前 川 平 六
大阪市西區新町通一丁目二百二番屋敷	小 田 米 次 郎
大阪市西區立賣堀南通り五丁目二十四番屋敷	田 尻 尻 逆
大阪市北區堂島船大工町二十四番屋敷	進 藤 嘉 一 郎
大阪市南區心齋橋筋二丁目百十番屋敷	田 村 太 兵 衛
大阪市東區高麗橋四丁目六十一番屋敷	森 鼻 宗 次
大阪市西區薩摩堀西ノ町十一番屋敷	益 田 太 三 郎
同市東區高麗橋三丁目十七番屋敷	高 木 善 兵 衛

第二類 人保險之部

九九二

大阪府西區北堀江通り五丁目三十五番屋敷	大三輪長兵衛
大阪市東區淡路町二丁目百四十六番屋敷	辻龍助
同市同區安土町一丁目拾六番屋敷	最上五郎
滋賀縣阪田郡長濱字田町百拾番屋敷	下郷傳平
代理 弘世助三郎	
大阪市北區中之島二丁目	外山權兵衛
代理 甲谷權兵衛	
滋賀縣近江國八幡字大杉町十八番屋敷	西川貞次郎
代理 弘世助三郎	
同縣同國八幡字仲屋町三十一番屋敷	西川重威郎
代理 弘世助三郎	
同縣同國彦根橋向町十二番地	武節貫治郎
代理 弘世助三郎	
滋賀縣近江國彦根片橋八丁目十番地	廣野織藏
代理 弘世助三郎	
同縣同國愛知郡栗田村十一番屋敷	珠玖清左衛門
代理 弘世助三郎	

(422)

發起人負擔株金表

發起人負擔株金表

株數	金額	氏名	株數	金額	氏名
六百株	壹万五千圓	岡橋治助	同	同	弘世助三郎
同	同	山口吉郎兵衛	同	同	泉濟助
四百株	壹萬圓	井上保次郎	五十株	千貳百五十圓	平瀬龜之助
三百六十株	九千圓	竹田忠作	同	同	藤田鹿太郎
二百株	五千圓	川上左七郎	同	同	鴻池新十郎
百六十株	四千圓	土居通夫	同	同	緒方惟準
同	同	田中市兵衛	同	同	緒方拙齊
同	同	西田永助	同	同	山田俊郷
同	同	熊谷辰太郎	同	同	高安道純
同	同	難波二良三郎	同	同	加藤謙三
同	同	草間貞太郎	同	同	大井卜新
同	同	甲谷權兵衛	同	同	和田保次郎

第二編 會社資料

九九三

第二類 人保險之部

生命保險會社ハ第二章生命保險ノ種類ニ從ヒ被保人ヨリノ掛金ヲ積置テ被保人中ニ死者アル
 片若クハ被保人契約ノ期限ニ達シタル片契約ノ金高ヲ渡スヲ業トス
 故ニ會社ハ被保人相互ニ災厄ヲ救フノ契約ヲ爲シテ被保人相共ニ積金スルノ中間ニ立テ事務
 ノ取扱ヲ爲スモノナレハ別ニ資本金ヲ要セサルモ妨ケナキノ理ナリ現ニ海外諸國ニ於テ行ハ
 ル、所ノ生命保險會社ヲ視ルニ其資本金ヲ備ヘサルモノ實ニ尠カラス
 然レハ流行病等ノ爲メニ死者ニ渡スヘキ金高多クシテ掛金ノミニテハ不足ヲ告クルコトアル片
 且ツ我國ニ於テ既ニ一ニ二ノ生命保險會社ノ設ケアリト雖モ爾來未タ多年ノ星霜ヲ經サルヨリ
 世人普ク其會社ノ成立ヲ知ラサルモノ多キカ爲メニ資本金ナキ片ハ會社ヘ積立金ヲ托スルノ
 嫌ナキニアラサルヲ以テ特ニ本社ヘ三拾萬圓ノ資本金ヲ備ヘ有限ノ責ニ任シ非常ノ損失ヲ充
 テ併セテ被保人ノ信認ヲ需ムルモノトス

第二章 生命保險ノ種類

一 尋常終身保險

被保人生存中毎年別紙甲號表ニ定タル掛金ヲ保險料トシテ拂込ミテ契約ヲ結ヘハ被保人僅カ
 ニ一回ノ拂込ヲ爲シタル後直ニ死歿スルモ其遺族ニ契約面ノ金額ヲ拂渡スノ法ナリ

(423)

日本生命保險會社規則

日本生命保險會社規則
 第一章 會社實業ノ事
 第一條 本會社ハ資本金三拾萬圓ヲ置テ
 生命保險會社ハ第二章生命保險ノ種類ニ從ヒ被保人
 ヨリノ掛金ヲ積置テ被保人中ニ死者アル片ハ被
 保人契約ノ期限ニ達シタル片契約ノ金高ヲ渡ス
 トス
 故ニ會社ハ被保人相互ニ災厄ヲ救フノ契約ヲ爲シテ
 被保人相共ニ積金スルノ中間ニ立テ事務ノ取扱ヲ爲
 スモノナレハ別ニ資本金ヲ要セサルモ妨ケナキノ理
 ナリ現ニ海外諸國ニ於テ行ハル、所ノ生命保險會社
 ヲ視ルニ其資本金ヲ備ヘサルモノ實ニ尠カラス

日本生命保險會社規則
 第一章 會社實業ノ事
 第一條 本會社ハ資本金三拾萬圓ヲ置テ
 生命保險會社ハ第二章生命保險ノ種類ニ從ヒ被保人
 ヨリノ掛金ヲ積置テ被保人中ニ死者アル片ハ被
 保人契約ノ期限ニ達シタル片契約ノ金高ヲ渡ス
 トス
 故ニ會社ハ被保人相互ニ災厄ヲ救フノ契約ヲ爲シテ
 被保人相共ニ積金スルノ中間ニ立テ事務ノ取扱ヲ爲
 スモノナレハ別ニ資本金ヲ要セサルモ妨ケナキノ理
 ナリ現ニ海外諸國ニ於テ行ハル、所ノ生命保險會社
 ヲ視ルニ其資本金ヲ備ヘサルモノ實ニ尠カラス

日本生命保險會社
 明治二十二年第壹回報告書

(441) 日本生命保險會社
 第一回報告書表紙

日本生命保險會社

二 有限掛金終身保險

被保人五年或十年等ト年限ヲ定メ別紙乙號表ニ定タル掛金ヲ拂込ミ其年限ヲ過レハ掛金ヲ爲スニ及ハスシテ死後其遺族ニ契約面ノ金額ヲ拂渡スノ法ナリ

若シ被保人僅カニ一回ノ拂込ヲナシタル後直チニ死歿スルモ其遺族ニ契約面ノ金額ヲ拂渡ス
「尋常終身保險」ノ如シ

三 定期保險

被保人一年或ハ數年ノ年限ヲ定メ別紙丙號表ニ定タル掛金ヲ拂込ミ其年限中ニ在テ被保人死歿スルハ契約面ノ金額ヲ其遺族ニ拂渡スノ法ナリ

若シ被保人幸ニ年限中無事ナレハ會社ヘ拂込ミタル掛金ハ悉皆被保人ノ損失ニシテ會社ノ益金トナル可シ故ニ保險料ノ金額ハ殊ニ低廉ナリ

四 養老保險

被保人五十年或ハ五十五年等ト年限ヲ定メ別紙丁號表ニ定タル掛金ヲ拂込ミ其年限ヲ過レハ契約面ノ金額ヲ受取リテ老後ノ餘生ヲ送ルノ資ト爲スノ法ナリ

若シ被保人其年限中ニ在テ死歿シタルハ直チニ遺族ニ契約面ノ金額ヲ渡シ其時限リ掛金ヲ

爲スニ及ハサル可シ

第三章 生命保險ノ契約

一 生命保險ノ契約ヲ結ハント欲スル者ハ生命保險申込證書ニ氏名年齢職業并ニ保險ノ種類及ヒ金高等必要ノ箇條ヲ記入シ本人并ニ二名ノ證人記名調印シテ本社又ハ支社若クハ代理店ニ差出ス可シ

一 會社ハ醫師ノ體格檢査ヲ待テ契約ヲ取結フ可シ若シ該申込證書ニ記載シタル箇條ニ詐偽或ハ隱蔽ノ廉アレハ契約ハ無効ニ屬スルモノトス

依テ他日被保人若クハ保險金受取人其他何人タリト雖モ會社ニ向テ保險金ヲ要求スルコトヲ得サルハ勿論會社ヨリ交付シタル保險證書ハ無効ノ廢紙タル可シ

一 保險申込證書ノ用紙ハ會社ニ備置ク可シ故ニ保險ノ契約ヲ結ハント欲スル者ハ本支社若クハ代理店ニ就テ請求スヘシ

其申込證書ノ書式ハ此規則ニ添付スルニ依リ之ニ倣フ可シ

一 本社又ハ支社若クハ代理店ニ於テハ毎週土曜日正午ヨリ午後第六時迄ノ間ニ被保人ヲ診査ス可シ若シ旅行セントスルカ又ハ旅寓滞在中等ノ人ニシテ診査定日前ニ契約セント欲スルルル

ハ其旨會社へ申込ム可シ然ル時ハ定日ニ關ラス其日時ヲ定メ契約ヲ爲スコトアル可シ

一 本支社又ハ代理店ニ來テ診査ヲ受ル者ハ診査料ヲ拂フニ及ハス

被保人ノ都合ニ依リ來診ヲ請求スル者ハ相當ノ診査料ヲ拂フ可シ

一 被保人ノ身體不健康ナリト認ムルルルハ契約ヲ斷リ或ハ其望ニ依リテハ幾分ノ掛金ヲ増加シテ保險ノ契約ヲ取結フコトアル可シ

一 本支社又ハ代理店ナキ地方ニ於テ多人數申合セ被保人タランコトノ申込アルルルハ社員ヲ派遣シ契約セシムルコトアル可シ

一 會社ト被保人トノ契約ハ保險證書ニ記載スル月日ヨリ始マルモノトス

一 被保人ハ保險金受取人ヲ豫定シ置クヘシ但受取人ハ親戚朋友其他何人ニテモ差支ナシ

一 保險金受取人ヲ替ヘント欲スルルルハ其旨ヲ會社ニ通知シテ保險證書ノ書換ヲ請求シ印紙稅ノ外保險金高ノ多寡ニ拘ラス保險證書一枚ニ付書換料金五拾錢ヲ拂フ可シ

一 被保人ノ年齢ヲ算スルハ六ヶ月ヲ以テ分界ス例ヘハ二十年六ヶ月迄ハ二十年ト算シ二十年七ヶ月以上ハ二十一年ト算スルカ如シ

一 被保人轉居セシルルルハ其都度之レヲ會社ニ通知ス可シ

第四章 掛金拂込ノ事

- 一 保險料ハ保險證書ノ券面ニ從ヒ拂込ムヘキモノトス若シ後來會社營業ノ實況ニヨリ保險料ヲ改正スルコアルトモ既ニ一旦契約セシ被保人ハ該證書ノ券面ニ從ヒ變更スルコナシ
- 一 保險料即掛金ハ毎年ノ始メニ前金ニテ拂込ムヘキモノトス
- 一 年ノ始トハ一月一日ヲ謂フニ非スシテ保險證書ニ記シタル月日ノ事ニシテ例ヘハ最初保險ノ契約ヲ結ヒタル日五月一日ナレハ五月一日ヲ以テ年ノ始トシ毎年其日迄ニ其年度ノ掛金ヲ拂フヘシ總テ會社ニテ一年ト云フハ最初約束ヲ結ヒタル日ヨリ翌年ノ同月同日迄ヲ指スモノナリ
- 一 掛金ハ前項ノ如ク一年分前金ニテ拂込ムヲ本則トスト雖モ被保人便利ノ爲メ半年或ハ三ヶ月或ハ毎月掛金ヲ拂フコトヲ得セシム故ニ被保人其年ノ掛年皆濟ニ至ラスシテ死去スレハ保險金ヲ渡ス時其中ヨリ掛金ノ不足ヲ引去ル可シ
- 一 掛金受取證書ニハ會社ノ社長支配人記名調印スト雖モ各地ノ支社或ハ代理店ニ於テ掛金受取ノ取扱ヲ爲シタル片ハ其支社或ハ代理店ノ印章ヲ捺シタル受取證書ヲ渡ス可シ

第五章 掛金延滞ノ事

- 一 掛金ハ期日迄ニ拂込ヲ本則トスト雖モ若シ止ムヲ得サル事故アリテ延滞スル片ハ其日數六十日以内ハ相當ノ利子ヲ拂ハシメ保險ノ契約ヲ繼續スルコトヲ得
- 一 若シ其日數六十一日以上ニ及フモノハ保險契約ヲ解除セシモノト看做シ既ニ會社ヘ拂込タル金額ハ被保人ノ損失タル可シ

第六章 解約并拂濟證書ノ事

- 一 左ノ保險滿三年以上掛金ヲ拂込タル後被保人ノ都合ニ依リ解約ヲ要求セシキハ既ニ掛込タル金額ノ三分ノ一ヲ割戻シ契約ヲ解ク可シ
- 一 尋常終身保險
- 一 有限掛金終身保險
- 一 養老保險
- 一 左ノ保險ハ解約ノ時掛金ノ割戻ヲ爲サ、ルモノトス
- 一 定期保險
- 一 保險ノ契約ヲ解ク時被保人ノ都合ニ依リ割戻金ヲ受取ラスシテ其金高限リニテ新タニ相當

ノ保險金ヲ得ヘキ契約ヲ結ハント欲スレハ會社ハ拂濟保險證書ヲ渡ス可シ然ルキハ後來掛金ヲ爲サスシテ契約ノ時ニ至リ若干ノ保險金ヲ受取ルコトヲ得ヘシ

第七章 自殺死刑ノ事

一 被保人自殺或ハ裁判所ノ宣告ニ依リ死刑ニ處セラレタルキハ保險契約ハ無効ノモノタル可シ然レモ左ノ保險五年以上掛金ヲ拂込タル後ナレハ第六章第一項ト同額ノ割戻ヲナスヘシ
尋常終身保險
有限掛金終身保險

養老保險

一 左ノ保險ハ掛金ノ割戻ヲナササルモノトス
定期保險

第八章 住所旅行及職業ノ事

一 當會社ノ被保人ハ日本國內何レノ地ニ住居又ハ旅行スルモ妨ケナシ
一 外國へ赴ク者ハ發足前ニ其旨會社ニ通知シ時宜ニ依リ掛金ノ割増ヲ促スコアル可シ

一 陸海軍人警察官等ハ通常ノ掛金ニテ保險ノ契約ヲ結フ可シ

然レモ戰場ニ臨ムキハ掛金ノ割増ヲ要スルヲ以テ其前豫メ會社ニ通知ス可シ

若シ其割増ヲ出スコトヲ欲セサレハ平常ニ些少ノ割増シヲ出シ置ク可シ

一 火藥製造其他危險ノ業ニ従事シ又ハ軍艦商船等ニ乗組ミ航海ヲ業トスル人々ハ些少ノ掛金割増ヲ要ス可シ

但支那朝鮮及ヒ亞西亞洲内ノ露西亞領ノ諸港ニ往復スルヲ業トスル者ハ前以テ其諸港ヲ會社ニ通知シ置ケハ其都度通知スルニ及ハス

一 被保人其業ヲ轉シテ陸海軍人トナリ又ハ火藥製造及ヒ航海等其他危險ノ業務ニ従事スルキハ必ス其旨會社ニ通知シ時宜ニ依リ掛金ノ割増ヲ要スヘキコアル可シ

第九章 死亡報告及保險金交付ノ事

一 被保人死亡シタル時ハ其旨直チニ本社へ報告ス可シ

本社ニ於テハ其報告ヲ得次第直チニ死亡證書ヲ送ルヘキニ付之レニ必要ノ簡條ヲ記入シ醫師保險金受取人并ニ最初保險申込ノ時證人ト爲リタル者二名記名調印シテ本社へ送ル可シ本社ハ之ヲ受取タル後六十日內ニ(遠方ノ地ナレハ郵便日數ヲ除ク)保險證書ト引換ヘ保險金ヲ

渡ス可シ

但先キノ證人死亡若クハ旅行等ニテ不在ノ時ハ更ニ二名ノ證人ヲ設クヘキモノトス

第十章 掛金表ノ事

- 一 尋常終身保險掛金表中年齡ノ所ニ一五ト記シタルハ十五歳ノ事ニシテ其下ニ一、五二ト記シタルハ壹圓五拾二錢ノ事ナリ
- 一 十五歳ノ時保險契約ヲ結ヒタル人ハ其存在中毎年壹圓五拾二錢ヲ拂ヘハ死後保險金百圓ヲ得ルモノトス
- 其半年掛三ヶ月掛モ保險金百圓ヲ得ルノ割合ヲ示セリ
- 一 有限掛金終身保險掛金定期保險掛金養老保險掛金ニ於ケルモ皆ナ前第一項ノ例ニ準スヘシ
- 一 掛金表ハ總テ保險金百圓ニ付テノ割合ヲ示シタリト雖モ素ヨリ百圓以上五千圓迄ノ保險金ヲ得ルノ契約ヲ結フモノトス
- 故ニ保險金千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ掛金表ニ記シタル金高ニ十倍ノ掛金ヲ拂ヒ五千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ五十倍ノ掛金ヲ拂フヘシ

一 有限掛金終身保險掛金表、定期保險掛金表、養老保險掛金表ニハ半年掛ケ等ノ割合ヲ掲載セスト雖モ被保人ノ望ニ應シ各其比例ニヨリ契約ヲ結フモノトス

掛金表

第二類 人保險之部

甲 號 尋常終身保險掛金表

得保險金百圓

一〇〇六

年	年	年	三ヶ月	月
三三三三 四三二一	三二二二二二二二二二 〇九八七六五四三二一	二一一一一一 〇九八七六五	二二二二 四三二一 七〇三七	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六
二二二二 四三二一 七〇三七	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六	一一一一一一 七六六六五五 二八四〇六二	一一一一一 二二二一 八四〇六	一一〇〇〇〇九九九九 四一八六三一八五三一
一一一一一 二二二一 八四〇六	一一〇〇〇〇九九九九 四一八六三一八五三一	八八八八八七 九七五三一九	六六六五 五三一	五五五五五五五五五五 八六五四二一〇八七六
六六六五 五三一	五五五五五五五五五五 八六五四二一〇八七六	四四四四四四 五四三二一〇	六六六五 五三一	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六
二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六	一一一一一一 五五五五五五五五五五 八四〇六三九	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六	二二二二二二二二二二 二一一〇〇九九八八七 一六〇五〇五〇五〇六

第二編 會社資料

六五五五五五五五五五 〇九八七六五四三二一	五四四四四四四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三三三三三三 〇九八七六五
六六五五五五五五五五 六三九六四一九七五三 六一九九二七四二二三	四四三三三三三三三三三三 一〇八七五四三二一〇 六〇四一八五三三三三	二二二二二二二二二二 九八七六六五 四九七九二四
三三三三二二二二二二二二 四二〇九七六五四三二 三五八三九六四三三三	二二一一一一一一一一一 一〇九九八七七六六五 四六九二五八三七二七	一一一一一一 五四四四三三 二八四〇六二
七六五四四三二二一一 四五六九二五九四八三	〇〇〇九九九九八八八七 八四〇七三〇七四二九	七七七七六六 七五三一九七
六五五五五五五五五五 一七四二九七五三一九 一八九二七四三三四七	三三三三三三三三三三三三 八六五四二一〇九八七 一七二〇八六五六七八	二二二二二二二二二二 七六五四四三 〇一四七〇三

1007

六五五五五五五五五 〇九八七六五四三二一	五四四四四四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三三三三三 〇九八七六五
三三三三三三三三三 八六四一九七四二〇八 九四〇六三〇八六四三	一一一一〇〇〇〇九 六四二〇八六四二〇九 二一一一二三四六八〇	九九九九九八 七五三二〇九 二五八三七一
七七七七七七六六六六 九七六五三二一九八七六 二七四〇七四一九六四二	六六六六六五五五五 五三二一〇九八七六 〇九八七六五五五四	五五五五五五 五四三二一〇 四四五六七八
五五五五五五五五五 九八七六五四三二一〇 三二二一二二二三四五	四四四四四四四四四 九八七七六五四三三二 六七八〇二四六八〇二	四四四三三三 一〇〇九八八 五七〇四七〇
四四四四四四四四四 九八七六五四三二二 三四六七九一三五七〇	四四三三三三三三三 一〇九八七六五五 三五八一四七一四八一	三三三三三三 四三三二二一 五九三八二六

乙 號 有限掛金終身保險掛金表 得保險金百圓

三三三三 四三二一	三二二二二二二二二二二 〇九八七六五四三二一	二一一一一一 〇九八七六五	年 齡
八八八八 七六四三 五〇五〇	八八七七七七七七七六 一〇八七六四三二〇九 五一七三〇七四一八五	六六六六六六 八七五四三二 三一九七六五	五 年
四四四四 九九八七 九〇二三	四四四四四四四四四三 六五四三二一一〇九 五七九一三六八一四六	三三三三三三 八八七六六五 九二六九三六	十 年
三三三三 七六六五 三七一四	三三三三三三三三三二 四四三三二一一〇〇九 八二六〇四九三八二七	二二二二二二 九八八七七六 一六一六一七	十 五 年
三三三二 一〇〇五 一五〇五	二二二二二二二二二二 八八七七七六六五五四 九四九四〇五一六一七	二二二二二二 四三三三二二 二八四〇六二	廿 年

丙 號 定期保險掛金表

得保險金百圓

年 齡	一 年	三 年	五 年	七 年
二〇	一、〇五	一、一一	一、一七	一、二二
二一	一、〇八	一、一四	一、二〇	一、二六
二二	一、一一	一、一七	一、二三	一、二九
二三	一、一四	一、二〇	一、二六	一、三二
二四	一、一七	一、二三	一、二九	一、三五
二五	一、二〇	一、二六	一、三二	一、三八
二六	一、二二	一、二九	一、三五	一、四〇
二七	一、二五	一、三二	一、三八	一、四三
二八	一、二八	一、三五	一、四一	一、四六
二九	一、三一	一、三八	一、四四	一、四九
三〇	一、三四	一、四一	一、四七	一、五二
三一	一、三六	一、四三	一、四九	一、五五
三二	一、三九	一、四六	一、五二	一、五八
三三	一、四一	一、四八	一、五四	一、六〇
三四	一、四四	一、五一	一、五七	一、六三
三五	一、四六	一、五三	一、五九	一、六六
三六	一、四九	一、五六	一、六二	一、六九
三七	一、五一	一、五八	一、六四	一、七一
三八	一、五三	一、六〇	一、六六	一、七四
三九	一、五五	一、六二	一、六八	一、七六
四〇	一、五七	一、六四	一、七〇	一、七八
四一	一、五九	一、六六	一、七二	一、八〇
四二	一、六一	一、六八	一、七四	一、八二
四三	一、六三	一、七〇	一、七六	一、八四
四四	一、六五	一、七二	一、七八	一、八六
四五	一、六七	一、七四	一、八〇	一、八八
四六	一、六九	一、七六	一、八二	一九〇
四七	一、七一	一、七八	一、八四	一九二
四八	一、七三	一、八〇	一、八六	一九四
四九	一、七五	一、八二	一、八八	一九六
五〇	一、七七	一、八四	一九〇	一九八

五五五五五 五四三二一	五四四四四四四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三三三 〇九八七六
三、〇二 二、八四 二、六八 二、五四 二、四二	二、三二 二、二五 二、〇八 一、九六 一、八六 一、八一 一、七七	一、七三 一、六九 一、六五 一、六一 一、五七
三、四七 三、二七 三、〇二 二、八四 二、六八	二、五四 二、四二 二、三二 二、二五 二、〇八 一、九六 一、八一 一、八六	一、八一 一、七三 一、六九 一、六五
四、〇五 三、七五 三、四七 三、二二 三、〇二	二、八四 二、六八 二、五四 二、四二 二、三二 二、二五 二、〇八 一、九六	一、九一 一、八六 一、八一 一、七七 一、七三
四、七二 四、三七 四、〇五 三、七五 三、四七	三、二二 三、〇四 二、八八 二、六八 二、五四 二、四二 二、三二 二、二五 二、〇八	二、〇二 一、九六 一、八一 一、七七 一、七三 一、六九 一、六五 一、六一 一、五七

丁 號

養老保險掛金表

得保險金百圓

年 齡	五十歲受取	五十五歲受取	六十歲受取	六十五歲受取
三三三三三三三 七六五四三二一	二、六〇	二、二七	二、〇〇	一、八二
〇九八七六五四三二一	二、七三 二、八七 三、〇一 三、一六 三、三二 三、四九 三、六六 三、八四 四、〇三	二、三六 二、五五 二、七六 二、九八 三、二〇 三、四三 三、六六 三、九〇 四、一五	二、〇七 二、二四 二、四二 二、六二 二、八三 三、〇五 三、二八 三、五二 三、七六	一、八七 一、九三 一、九九 一、一五 一、二二 一、三〇 一、三九 一、四八 一、五八

六五五五五五五五五 〇九八七六五四三二一	五四四四四四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三 〇九八	、七、七、五 、八、四、三、八	、〇、三、六 、一、七、一 、三、四、七 、五、七、六 、八、九、一	、五、三、〇 、六、二、九	、四、四、〇 、四、二、二	、七、一、四 、七、五、四 、八、〇、二 、八、四、〇 、八、八、〇 、九、二、四	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一
〇九八七六五四三二一	〇九八七六五四三二一	〇九八	、七、七、五 、八、四、三、八	、〇、三、六 、一、七、一 、三、四、七 、五、七、六 、八、九、一	、五、三、〇 、六、二、九	、四、四、〇 、四、二、二	、七、一、四 、七、五、四 、八、〇、二 、八、四、〇 、八、八、〇 、九、二、四	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一	、三、三、一 、三、四、一 、三、五、一 、三、六、一 、三、七、一 、三、八、一 、三、九、一 、四、〇、一

第二類 人保險之部

保險申込證書式

第一 被保人ノ住所族籍姓名

(參考) 被保人ト保險契約人ト別人ナレハ其續キ合

第二 被保人ノ職業

職業ハ其職質ヲ記スヘシ例ヘハ官吏ナレハ某地

(參考) 裁判所判事又教師ナレハ某學校教授又商人ナレハ白米小賣商ト記スヘキノ類

第三 被保人誕生ノ年月日

第四 被保人配偶ノ有無及ヒ結婚ノ年齢月日

第五 被保人ハ天然痘ニ罹リシヤ否又種痘ハ何回ニシテ幾歳ノ時ニナセシヤ

第六 被保人ハ飲酒吸烟嗜好ノ有無

第七 被保人ノ父方祖父母ノ年齢并ニ身體ノ景況若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及ヒ死去ノ

原因

第八 被保人ノ母方祖父母ノ年齢并身體ノ景況若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及ヒ死去ノ原

因

第九 被保人ノ實父ノ年齢并ニ身體ノ景況若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及ヒ死去ノ原因

第十 被保人ノ實母ノ年齢并ニ身體ノ景況若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及ヒ死去ノ原因

第十一 被保人ノ兄弟幾人内生死何人并ニ死去ノ年齢及ヒ病名

第十二 被保人ノ姉妹幾人内生死何人并ニ死去ノ年齢及ヒ病名

第十三 被保人ノ容貌顔色性質及ヒ身體中異狀ノアルヘキ廉

第十四 被保人現今ノ健康如何

第十五 被保人肺臟心臟等ノ胸部ノ病ニ罹リタル有無若シ有之キハ其年月日并ニ病狀

第十六 被保人其他ノ病ニ罹リテ醫師ノ治療ヲ受ケタル有無并ニ其病ニ罹リタル年月

第十七 被保人ノ血族ニ遺傳ノ諸病ナキヤ若シ有之キハ其病狀如何

第十八 被保人ノ血族ニ精神病ナキヤ

第十九 保險ノ種類

第二十 保險金ノ高

第二十一 保險料ハ年掛三ヶ月掛或ハ月掛

第二十二 保險金受取人并ニ受取人ト被保人トノ續キ合

右條々聊相違無之候間被保人何某ノ生命ヲ以テ保險契約ヲ結フコトヲ承諾被下候上ハ契約人何某ヨリ毎年或ハ每半年或ハ每三ヶ月或ハ毎月保險料ヲ其社ヘ拂込ミ被保人死去候ハ、其社ヨリ保險金何程ヲ保險金受取人何某ヘ渡スヘキモノタル可シ萬一此保險申込證書中ニ詐偽或ハ隱蔽ノ廉アルカ又ハ拙者共ニ於テ保險證書ニ記載シタル箇條ニ違背スルコトアラハ拙者共ハ保險金ヲ要求スルノ權利ヲ失ヒ且ツ其社ヘ拂込タル保險料ハ全ク損失ト相成候共決シテ故障申間敷候爲後證依テ如件

明治何年何月何日

住所族籍

保險契約人

何

某印

同

被保人

何

某印

同

證人

何

某印

同

證人

何

某印

有限責任 日本生命保險會社 御中

御 届

事務所設 置届 (424)

今般別紙ノ通有限責任日本生命保險會社創立ニ付本社ヲ府下大阪市内ニ設置可致事ハ確定致シ居候得共其場所未定ニ付當分ノ内左ノ處ニ事務所ヲ置キ本社一切ノ事務取扱ヒ追テ本社設置ノ場所確定次第御届可申上候也

府下大阪市東區北濱貳丁目三拾二番屋敷

有限責任 日本生命保險會社事務所

右ノ通御座候也

明治二十二年七月一日

府下大阪市東區船越町貳丁目百三番屋敷

發起人總代 岡 橋 治 助印

同市同區北濱四丁目五十七番屋敷

同 泉 清 助印

大阪府知事 西村捨三殿

(425)

大阪府ノ
認可指合
案

按 明治二十二年七月四日
書面願之趣聞置ク

(426)

創立趣意
書

有限日本生命保險會社創立趣意書 (明治二十二年七月三十日印刷)

責任 生命保險會社ノ責任ハ世人ノ寄托ヲ受ケテ其死後或ハ老後ノ希望安心ヲ保險スルノ主意ニシテ凡ソ人生ノ後圖ヲ爲スノ方未タ焉ヨリ確實ニシテ便利ナル者アルヲ聞カス歐米各國ノ如キハ夙ニ此會社アルカ爲メニ其利益ヲ世人ニ與フルノ効歴々トシテ明確ナルヨリ世人ノ信用益篤ク會社ノ營業愈大ナリ到ル所ノ各國其設アラサルハナシ獨我日本ノ人衆ハ從來如此ノ利益ヲ有スル事業ニ於テ一般ノ感覺頗ル冷淡ナリシモ世ノ開明ニ隨テ利用經濟ノ說大ヒニ行ハレ今ヤ既ニ生命保險會社ノ必用ニシテ欠クヘカラサルヲ知覺シ競フテ之レカ設立ヲ催促スルノ情勢アルニ至レモ我カ關西ノ地ニハ未タ此設ケアルヲ見ス豈ニ遺憾ナラスヤ是則チ我日本生命保險會社ヲ創設シ世人カ希望ニ應セント欲スル所以ニシテ恰モ彼ノ好時機ニ際會シタル者ト信セサルヲ得サルナリ

如斯保險事業ヲ希望スル者ノ情勢熟シタルノ機會ニ應シテ其設立ヲ謀ルハ容易ナルカ如シト雖モ亦一步ヲ退テ基礎ノ堅實社運ノ永遠ヲ維持スルノ方法ヲ講セント欲スレハ是亦十分ノ計畫ヲ費ササルヘカラス共同ノ事業上尤モ以テ遵守スヘキノ要領ハ乃チ營業執務ノ間ニ於テ知り得ラルヘキ所ノ重厚着實ノ結果タル信ノ一字ヲ表章シテ主義腦髓ト爲スニ若クナキヲ以テ本社ハ此ノ信實主義ヲ永遠不朽ニ守持シ尋常終身保險有限掛金終身保險定期保險養老保險ノ四目的ヲ以テ本業トシテ世人カ寄托ノ精神ヲ保護セント欲スルニ方リ其方法順序ヲ説クニ先チ一言セサルヘカラサル者アリ是他ナシ世人カ生命保險ノ社會ニ必用ナル事ヲ知覺シ會社ノ設立ヲ催促スルノ情勢アルニ乘シ彼ノ深謀遠慮ノ計畫ヲ待スシテ形似ノ小會社ヲ各地ニ群立セシムルハ競新ノ世潮好奇ノ人情蓋シ免ル、能ハサル者アラン夫レ會社既ニ其名ヲ同フシテ齊ク生命保險ヲ目的トスル者ナレハ結社ノ大小ニ嫌ナキカ如シト雖モ其實大ニ然ラサル所ノ弊害アルヲ如何セン請フ小會社群立ノ弊害ヲ概言セン

結社規模ノ小ナルモノハ第一營業上ニ於テ收支相償ハサルノ慮アルヲ保チ難キ而已ナラス各社群立互ニ競争シテ其社勢ヲ張ラント欲スルノ餘リ遂ニハ自ラ目前ノ收利ニ着目シテ眞意却テ姑息ニ陥リ或ハ本業範外ノ事業ニ着手シテ投機ノ僥倖ヲ萬一スルノ不幸ヲ早出スルニ至ルヤ必セ

リ苟モ情勢如斯ニ至レハ其危殆ナルヲ猶老朽ノ汽船ニ度外ノ火力ヲ用フルト一般特ニ彼岸ニ達スルヲ得サルノ憂アルノミナラス破裂顛覆蓋シ航海學者ヲ待スシテ知ルヘキナリ凡ソ共同事業就中生命保險ノ如キニ至ツテハ實ニ信用ヲ主腦トナスヲ以テ一社信用ヲ損スレハ疑念忽チ他ノ數社ニ波及シ其間或ハ堅固忠誠ノ小會社アルモ爲メニ共斃ノ誹リヲ招クノ已ムヲ得サルニ至ラシ

試ニ生命保險事業ノ他ノ諸會社ト其性質ヲ異ニスル所以ヲ見ヨ豈苟モ人ノ生命ヲ期限トシテ之レカ身後ニ安寧ヲ保險スル者ニアラスヤ其業ノ容易ナラサル可知耳抑モ各人終身保カ其生前ニ於テ毎年或ハ毎月ヲ以テ積立タル金圓ハ即チ死後ニ於テ其子ニ與フルノ利益ニシテ其子ノ積立金ハ其孫ノ利益ト謂フカ如ク幾代幾世ノ後ニ連續シテ未曾テ間斷アルナキヲ以テ會社ノ營業ハ恰モ社會ト始終シテ是亦盡クルノ期限アラサレハ被保人ノ年一年ヨリ増加スルハ斷言ヲ憚カラサルモノ、如ク隨テ會社ニ負フ所ノ保險約定ノ責任金高ハ積テ幾千萬圓ノ巨額ニ達スルヤ亦實ニ圖ルヘカラサル者ノ如シ其法ノ善良ニシテ其事ノ利益アルハ昭々乎トシテ見易キカ爲メニ反テ憂フ世人カ希望ノ熱度誤テ規模狹隘資金薄弱ノ小會社ヲ暴信シ其極遂ニ救フヘカラサルノ困厄ニ遭遇センコトヲ其勢如斯ニ至ラハ良法モ却テ流毒ノ具トナリ濟世的會社モ一朝國家ノ大害ヲ

醸生スルノ虞ナキヲ保チ難カラシ

夫レ法ハ善良ニシテ完全無缺ナルモ之ヲ執行スルノ秩序緩急ニシテ其宜キヲ得スハ前弊ヲ免ル、能ハサルヲ以テ本社ハ創始ノ今日ニ方リ謹テ之レカ秩序緩急ヲ研究シ其動カスヘカラサルノ基礎ヲ定メ其疑フヘカラサルノ信ヲ厚フシ始終變セス國家ト共ニ永續スルノ目的ナルヲ以テ彼ノ小會社ノ猶未群立競争セサルニ先タチテ茲ニ各地方一致ノ一大聯合體ヲ團結シ勉メテ會社ノ規模ヲ廣フセント欲スルカ爲メニ先ツ關西ノ中心タル大阪府下ニ於テ銀行會社等ニ從事スルモノ一己人ノ資格ヲ以テ他ノ有志者ト謀リ本社設立ノ發起人ト爲リ今也府廳ノ認可ヲ得タルニ由リ將サニ着々トシテ運歩ヲ計畫ノ前路ニ進メ各府廳ニアル所ノ銀行諸會社ヨリ以テ地方ノ有力者ニ至ルマテ深く相結托シ此等ノ人ヲシテ直チニ株主トナリ或ハ被保人勸諭及引請人トナラシメ而シテ又或ハ支社ヤ代理店ノ營業事務ヲ委托セハ經濟上利用ノ點ニ於テ其便益ヲ得ルノミナラス爲メニ世人ノ信憑ヲ固フシ被保人ノ加盟入社ヲ増加セシムルニ足ラン依テ本社ハ各地ニ株主等ヲ撰定スルト共ニ先ツ豫メ結合區域ヲ畫シテ東ハ愛知ヨリ西ハ九州ニ至ルニ府二十三縣ヲ以テ一大團體ヲ爲シ而シテ本部ヲ大阪府下ニ置キ之レヲ中心トシ是ヨリ漸次四方ノ府縣ニ及ホシ區域内ノ要地ヲトシテ支社及ヒ代理店ヲ散在セシメ以テ營業ノ便ヲ謀ルニアリ

抑モ本社ニ所備ノ資金ハ三拾萬圓ニシテ即チ營業ノ基本財産ナリ其他衆人ヨリ寄托スル所ノ保險金ト共ニ併セテ之レヲ政府ノ公債證書或ハ證券ト引換ヘ日本銀行ノ金庫ヘ保管ヲ托スルモノトスルヲ以テ人或ハ謂ハン其利薄弱ニシテ經濟ノ術ニ疎シト其或ハ然ラン雖然本社營業ノ如キハ專ラ一定ノ量爲法ニ據リ平坦ニシテ危害ナキノ道路ニ就キ以テ世人カ寄托ノ精神ヲシテ微憾ナカラシムルノ保險ヲ勉ムルヲ以テ經濟ノ腦髓トナスカ爲メニ定利外一尺ノ益ヲ得ンヨリハ寧ロ一寸ノ損ヲ招カサルヲ欲スル也豈焉ソ東熱西冷時ニ變動シ易キ競利場頭ニ向テ去就運動ヲ試ンヤ本社創立ノ定款及規則別ニ之レヲ詳ニス請フ參觀セヨ

明治二十二年七月

有限 日本生命保險會社

創立委員

- 川上左七郎
- 土居通夫
- 山口吉郎兵衛
- 岡橋治助
- 田中市兵衛

- 弘世助三郎
- 西田永助
- 竹田忠作
- 井上保次郎
- 熊谷辰太郎
- 難波二良三郎
- 草間貞太郎
- 甲谷權兵衛
- 泉清助

大阪朝日新聞

第三一三七號

明治二十二年七月三十日

●日本生命保險會社 關西地方即ち二府二十三縣を専ら目的として當地に設けし同社は其資金三十萬圓(一株二十五圓づゝ)に對する一万二千株は已に全く滿ちたるに依り一昨日午前八時より平野町の堺卵樓に株主總會を開き社長には鴻池善右衛門、副社長には片岡直温、検査役に

は岡橋治助、西田永助、取締役には弘世助三郎、難波次郎三郎、熊谷辰太郎、草間貞太郎、松本誠直、泉清助の諸氏が當撰し仍右の中の泉氏に當分支配人を囑託し其より定款第二十一條に修正を加へ社長副社長の給料の範圍を擴むる事、取締役検査役とも無給料なるに本條但書を附して更に相當報酬を與ふる事として頓て閉會を告げたり

大阪府ヨリ東京府へ照會 明治二十二年八月十二日

貴府下ニ於テ近頃日本生命保險會社設置許可相成候趣キ就テハ同社出願人ノ姓名資本金ノ高同拂込期限且ツ出願竝ニ許可ノ年月日等承知致度候間乍御手数數夫々御調査至急御即報相煩シ度此段及御照會候也

追而右ノ外近頃設置ノ生命保險會社許可相成候分有之候ハ、本文同様御回報煩シ度候也

東京府ヨリ大阪府へ回答 明治二十二年八月十六日

農商第一三四號ヲ以テ府下設置ノ日本生命保險會社出願人姓名其他資本額及追テ書ノ趣キトモ御照會ノ義了承右生命保險ヲ業務トシテ府下へ現存ノ會社別表ノ通りニ有之候條右ニ御承知相

同名會社
設立ニ付
照會 (428)

右照會ニ
對スル回
答 (429)

成度此段及御回答候也

社名	出願人ノ姓名	資本高	拂込期限	出願年月日	承認年月日
有限明治生命保險會社	小幡篤次郎	拾万円	十三ヶ月目	明治十四年六月十三日	明治十四年六月廿九日
有限帝國生命保險會社	加唐爲重	參拾万円	五ヶ年間	明治二十年十二月五日	明治二十年十二月廿八日
有限日本生命保險會社	中島八三郎	貳拾万円	十回	明治廿二年六月廿七日	明治廿二年七月十七日

御 受 書

一 東京日本生命保險會社設立之出願及御指令之年月日東京府廳へ御照會方出願致候處同應回答之寫書御下附被成下難有奉存候右御受書如斯ニ御座候也

明治廿二年八月十九日

大阪市東區北濱貳丁目三十二番地
日本生命保險會社

社長 鴻池善右衛門代
高 原 久 太 郎

大阪府農商課 御中

第二編 會社資料

右回答ノ
寫御受書 (430)

同會社ノ改稱勸誘方願照
(431)

御 願

本社設立ノ儀去ル六月三日付ヲ以テ願書差出候處不都合ノ廉御示指ノ上願書御下戻ニ相成候ニ付株主共夫々協議ノ上訂正ヲ加ヘ更ニ七月一日付ヲ以テ再出願同四日付ヲ以テ御許可相蒙リ候處此頃東京府下越前堀二丁目ニ我社ト同名稱ノ者出顯致候趣傳聞致候ニ付同營業ニシテ同名ノ者有之候テハ双方不都合ヲ感スル場合不尠ト存シ去月廿九日付ヲ以テ認可ノ前後ニヨリ改稱致候様及照會候得共直ニ承諾ノ通知ヲ得テ却テ出願ノ時日尋越候
右者互ニ廣ク營業致候者ニテ世人ノ疑惑ヲ來スノ掛念モ有之本社ノ如キハ既ニ本月二日株券ニ對スル第一回拂込モ悉皆相濟候儀ニ付何卒東京府下ノ分速ニ改稱候様勸誘方其筋ヘ御照會相蒙リ度此段奉願候也

大阪市東區北濱二丁目三十二番屋敷

有限 日本生命保險會社
責任

社長 鴻池 善 右衛門

明治廿二年八月廿八日

大阪府知事 西 村 捨 三 殿

大阪府ヨリ東京府ヘ
改稱方取計依頼
(432)

按 明治二十二年八月二十九日

日本生命保險會社之義ニ付曩ニ農商課ヨリ及照會候處本月十八日第一五三一號ヲ以テ御回答ニヨリ委曲了知致候然ルニ當府下ニ於テモ同名稱ノ會社設立出願七月四日ヲ以テ許可致シ既ニ株金モ第一回拂込ヲ了シタル次第ニ有之候又貴府ニ於テモ七月十七日ヲ以テ御承認相成候趣元來右會社ノ如キハ本邦全般ニ通シテ汎ク保險依頼ヲ受クルモノナレハ他ニ同名稱ノ會社有之候ハ當ニ双方營業上ノ支障アルノミナラス世人ノ疑惑ヲ生スル場合モ可有之候ニ付許可之前後ヲ以テ區分シ社名改稱セシメ度候間御手数トハ相察候得共貴府下ノ分名稱改正方説示御取計相成度別紙相添此段及御依頼候也

(別 紙)

社 名	出願人ノ姓名	資本金高	拂込期限	出願年月日	承認年月日	社長姓名
有限 日本生命保險會社 責任	泉 橋 清 治 助	參拾萬圓	貳ヶ年内	明治廿二年 六月廿九日	明治廿二年 七月四日	鴻池善右衛門

【出願年月日ハ×印ヲ以テ抹消シアリ】

第二類 人保險之部

役員撰定御届

社長	鴻池善右衛門
副社長	片岡直温
取締役	弘世助三郎
同	難波二郎三郎
同	熊谷辰太郎
同	草間貞太郎
同	松本誠直
同	泉清助
兼支配人	岡橋治助
検査役	西田永助
同	

右之通明治廿二年七月廿八日本社株主總會ニ於テ役員撰定致シ候間此段御届仕候也

大阪市東區北濱貳丁目三十二番屋敷

有限 日本生命保險會社
責任

明治廿二年八月十三日

社長 鴻池善右衛門

大阪府知事 西村捨三殿

〔備考〕役員撰定ハ大阪朝日新聞明治二十二年七月三十一日、八月二日及ビ三日ノ紙上ニ廣告セリ

定款中更正増補御認可願

一 明治廿二年七月廿八日本社株主總會ニ於テ定款第廿一條役員給料表中一等社長、二等副社長俸給範圍更正及同條但書増補等左記之通決議仕候間御認可被成下度此段奉願上候也
定款第廿一條更正及増補

一	等	二	等
社	長	副	社長
自	三十圓	自	二十圓
至	百廿圓	至	百圓

但取締役及検査役ニ相當ノ報酬ヲ給與スルコトアルヘシ

右之通御座候也

明治廿二年八月十四日

第二編 會社資料

大阪市東區北濱貳丁目三十二番屋敷

有限責任 日本生命保險會社

社長 鴻池 善右衛門

前書之通候也

明治廿二年八月十五日

大阪府東區長 宮崎 鏡 幹印

大阪府知事 西村 捨三 殿

按 明治二十二年八月十七日

書面願之趣聞置

右ニ對スル指令案 (435)

大阪朝日新聞 第三一七七號 明治二十二年九月十四日

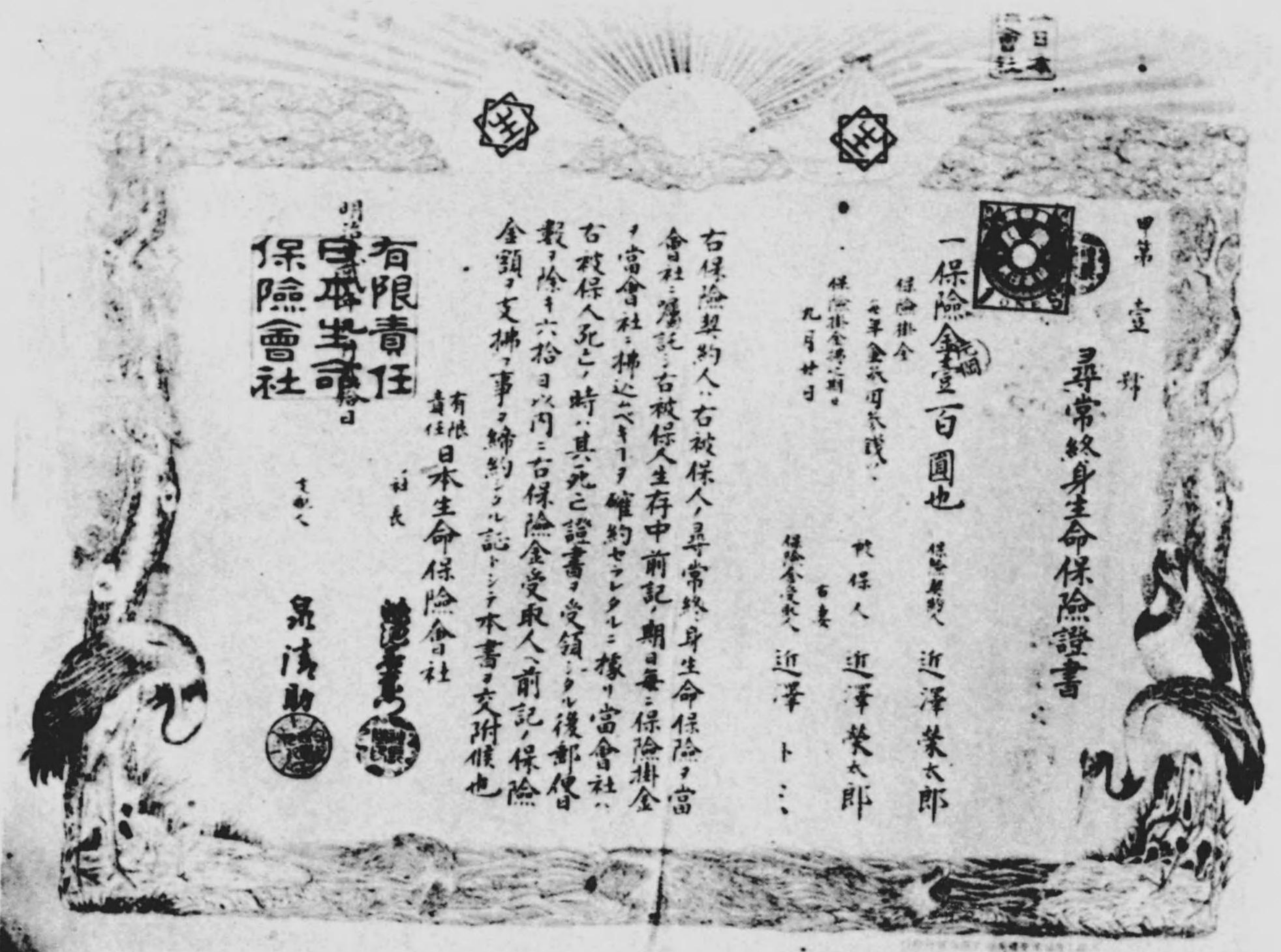
假事務所 (436)

日本生命保險會社廣告

本社ハ東區北濱二丁目假事務所所ヲ九月十七日限リ引拂ヒ九月十八日ヨリ東區今橋二丁目堺筋東へ入ル百十四番屋敷ニ於テ本店ヲ開ク
本社ハ九月二十日ヨリ業務ヲ始メ汎ク生命保險ノ囑托ニ應ズ
本社ハ保險申込人ノ便利ヲ毎日體格ノ診査ヲ行フ
圖リ當分ノ内月曜月ヲ除キ

明治二十二年九月十四日

有限責任 日本生命保險會社



日本生命保險會社第一號保險證書

推薦狀
京都大阪滋賀三知事ノ推薦狀
明治二十二年九月十四日
中井 敬
北垣 國
西村 捨三

京都大阪滋賀三知事ノ推薦狀

【備考】右廣告ハ尙九月十五日、十七日ノ同紙上ニ掲載セラレタリ

大阪朝日新聞 第三一八〇號 明治二十二年九月十八日

營業廣告

營業開始
廣告 (437)

本社ハ九月廿日ヨリ業務ヲ始メ汎ク生命保險ノ囑托ニ應ズ

本社ハ保險申込人ノ便利ヲ圖リ當分ノ内月曜日ヲ除キ毎日體格ノ診査ヲ行

本社ノ診査醫左ノ通り

緒方病院長	緒方	緒方	緒方	緒方
高橋病院長	高橋	高橋	高橋	高橋
吉田病院長	吉田	吉田	吉田	吉田
醫學士	清野	清野	清野	清野
同	菅沼	菅沼	菅沼	菅沼
同	緒方	緒方	緒方	緒方
	太郎	太郎	太郎	太郎
	貞吉	貞吉	貞吉	貞吉
	三純	三純	三純	三純
	惟準	惟準	惟準	惟準

明治廿二年九月

第二編 會社資料

大阪市東區今橋二丁目堺筋東へ入百拾四番屋敷

有限 日本生命保險會社

【備考】本廣告ハ十九、二十、二十一日ノ紙上ニモアリ二十三日ノ紙上ヨリハ本廣告末尾ニ「社長鴻池善右衛門、副社長片岡直温、取締役泉清助」ト列記サレ九月中ハ二十七、二十八日、十月中ハ二、四、六、九、十一、十三日ニ廣告セラレタリ

大阪朝日新聞

第三一九〇號

明治二十二年十月一日

體格診査
日廣告 (438)

日本生命保險會社廣告

本社ハ保險申込人ノ便利ヲ圖リ 毎日體格ノ診査ヲ行 汎ク生命保險ノ囑托ニ應ス

但シ日曜日ハ午前八時ヨリ正午十二時迄

明治廿二年九月

大阪市東區今橋二丁目堺筋東へ入百拾四番屋敷

有限 日本生命保險會社

社長 鴻池 善右衛門
副社長 片岡 直温

取締役 泉 清 助
兼支配人

【備考】本廣告ハ十月四、六、八、九、十一、十三、十七日ノ同紙ニモ掲載セラレタリ

保險之大
要 (439)

日本生命保險會社保險之大要

(明治二十二年九月二十一日印行)

佛蘭西皇帝ナポレオン三世陛下其位に即くの後、英佛其他數ヶ所の生命保險會社に御加盟あり、に當時内外の人民陛下の歡慮をはかす兼ね一人ならば妻子眷族の爲めに保險は効用も去ることながら一天萬乗の尊位を踐み其威勢は全歐洲に輝き渡る御身にして斯る後圖を爲し給ふと合點往かずと人皆怪まざるはなかりしに千八百七十年御運拙くしてセタンセタンの役に囚はれの御身となり英國に客寓して終に異郷の露と消へさせ給ひたり然るに皇后ユーゼーユーゼー陛下は曾て皇帝の生前に約束給ひし會社にて許多の保險金を得て後生を最と安樂に送られたるにぞ嚮きに帝の御心をはより兼ねたる人々は其深慮に服し萬乗の天子さへ榮枯盛衰の定めなき世に況して一の匹夫をや生命保險の要乃ち之れが爲めなりと舌を捲て驚嘆したるは西史に見ゆる所なり、貨物を運搬せむとあらば千萬里の海上も船に托して爲すこと易く只時に暴風起て怒濤船を捲

き折角の荷物全く覆没するの虞あり海上保険の必要爰お起る多分の財産を有する以上は万事不自由なくして世を渡るべし只時に火を失して其勢ひ猛烈財産悉く焼燼するの恐れあり火災保険の起る之が爲めなり然れども荷物の覆没財産の焼失は其損其物にのみ止まるが故他日お恢復の法なしと謂ふべからず其方便宜しきを得るときは東隅の失を桑榆に收るを得るは勿論なれども獨り生命に至つては然らず生者必滅會者定離玉の如き少年もいつか白頭となり花の如き美人も夢の間に白骨となる不死の奇薬は小説家の談柄に止まり不老の仙丹は詩人の材料に過ぎず之を求めて得ざるもの始皇のみにあらず人生七十古來尙且つ稀れなり昨日まで快よく職業を執りたる人も今日は忽ち風前の燈となり朝に旅立ちせしめれも夕お草葉の露と化すかくの如き定めなき浮世なれば是非お一度は生を失ふの時なかるべからず一旦之れを失ふるときは天お哭し地に慟するも最早其詮なかるべし此時一家親族朋友知人の悲嘆お果して如何ぞや況して其人一家の主人公おして而かも家族の活計を宰りたるものならむには妻子は管に團圓の樂しみを欠くのみならず直接お自分の生計にも差支を生ずるに至るべし其極或は一家擧て路頭に迷ふことなると云ふべからずかゝる場合お死者は北邙一片の烟と化さるも亦た已むを得ざるのこととするも跡お残りし妻や子お難義丈は避くるの工夫なかるべからず其工夫や海上財産より一段大切な

るものなり工夫と何ぞ生命保険是れなり若し夫お主人公にして盛んなるの時生命を保險し妻子をして之れに倣はしめ妻子復た之を子々孫々に及ぼさるときは一家は殆んど貧困の厄に陥るの患なうるべし而して此保險の法は管に貧者のみに止まらず富人にも缺くべからず富貴實に浮雲の如し朝に車に乗る人は夕に車を輓く人となり夕に車を輓く人は夜に及んで黄泉の客となるを保せず加之社會貧困の極と禍害を醸して其毒を被るは富者なりされば富者は生命保險を普及せえめ以て國民の貧困に陥るを防がざるべからず生命の保險の起る決して偶然にあらざるなり生命保險會社の主意は世人の寄托を受け死後又は老後の希望安心を保險するものにて凡そ人生の後圖をなすの法之より確實且つ便利なるものあらず彼の貯蓄銀行の法は塵積りて山をなすの理に基くものおして其利益たる固より大あれども今の慾を捨て、後ちけ樂を期するが如きは能く己に克つの勇に富むものにあらざれば之れを爲すこと易からず一年之れを爲す難うらず數年又た難からず十數年亦た難からざらむ然れども一生之れをなして嘗て怠るとなきと甚だ難しとす況んや人生の恃むべからざるに於てをや然るに一たび生命を保險したるものは中途にして之を廢すれば十年十數年の辛苦も（多少の割戻あるもせよ）殆んど水泡に歸することなれば貯蓄心れさほど強からざる者も終には己に克つの勇氣を養成するに至るべし且つ不幸にして一朝

易簣の變に遇ひ僅かなる掛金をなせしものと雖へども一旦契約したる金高は遺族之を受取るものなれば此法を知る人は他人の勸告を俟たず自ら生命保險會社に入り種類に應じて掛金をなすことを要するなり然れども會社其物の中には却て之を奇貨とて利慾を逞ふせむとするものあり現に千八百五十五年より千八百八十一年まで即ち僅か三十年未滿の間に英國のみにて生命保險會社の破産若くは他に合併せしもの一百十社特に有名なる「アルピオン」會社「アルベルト」會社「イウロピアン」會社の破算の如きは英國社會に害惡を残したる甚ましく遂に自由主義の英政府をして已むを得ず生命保險の事業に干渉せしむるに至り我々之決して生命保險會社の陸續興起するを忌むものあらま否却而喜ぶものなまども彼の英國の如く其數の増加に互ひに競争して保險掛金を格外に低くからま無暗に被保人を引込み而して被保人は會社の堅固と否とを問はず只掛金の安きに誘はれて遂に破産の厄難に逢ひ安物買ひの爲めに錢を失なひ跡の後悔を嘯むも及ばざるを恐るゝなり又之れを反し會社の基礎確實なるも高き掛金を爲さしめ被保人の便益を謀らざるものは實義心を欠くものに似たり被保人あつて後會社始めて立つの事實を知らば會社は被保人に對して出來得る限りの便益を盡さざるべからず會社確立して而して被保人の利益萬全あるものあれば會社は一時の姑息手段を以て徒らに被保人を誘ふべからざる

なり其間中庸適度の針路を採り會社敢て容易に假さず然れども又出來る限りの便益を與へ會社決して叨りに貪らま然れども社の基礎の萬全を計り兩々駢行して其維持を講ずるべからざれば真正なる保險の目的は達し難かるべし

創立趣意書に云へる如く本社は是等の弊害ならん事を禱り専ら信實を旨とし創始の今日に能く秩序緩急を定免動すべからざるの基礎を建て疑ふべからざるの信を全ふ始終變なく社會と共に永續するの目的なり然して猿猴の谿を渡るに衆猿相仍り蟻乃米粒を運ぶに群蟻相集り兒童の石を動すに衆兒皆相押す況して此一大目的を達せむに之協力は二字尤も必要なまばとて茲に各地方一致の大聯合體を團結勉めて會社の組織を廣くせむと先づ關西の中心なる大阪府下に於て銀行會社等に從事するもの一己人の資格を以て他の有志者と謀り本社の發起人となり既に設立の許可を得たれば爾來着々運動を始め各府縣の銀行諸會社より地方有志者に至るまで相結托し此等の人をして或は株主或は被保人若くは勸告及引請人とならめ或は支社代理店等の營業事務を委託せんとし現に各地方に多くの株主を得たれば漸時營業の擴張を謀るべし而して本社は保險事業に最も大切にして確實を要する掛金表調製にのみ特に慎重に慎重を加へたり故に低きに失して破産に陥るの患なく高きに過ぎて實義心を欠くことなかるべし然れども

本社は向來の實驗ハ徵之掛金表の根據を精査シ一萬一高きに過ぐることあるを發見せば尋常終身保險、有限掛金終身保險、養老保險の三種類ハ限リ保險金額五百圓以上にして七年以上本社の被保人たるものに對シ八年毎に本社利金の一部分の割戻しをなすことあるべし此場合に於ては其分配金額を契約人へ明示し本社に預リ置き保險金拂渡しの節共に支拂ふべく又た契約人の内一萬一掛金に差支へあるときは契約人の請求により右分配金を掛金に振替へ若しくは其幾分を掛金中に加ふる事ある等只管被保人寄托の精神に背かさらむ事を勉む若し夫れ本社ハ資本被保人掛金運用方法等は創立趣意書定款及保險規則に詳かなる乞ふ參觀の勞を取られんことを

有限日本生命保險會社保險規則

(明治二十二年九月十五日印行)

第一章 資本金

一 本社ハ資本金參拾萬圓ヲ置ク

生命保險會社ハ被保人ノ掛金ヲ積置テ被保人中ニ死者アルハ若クハ滿期ニ達シタルトキハ契約ノ金高ヲ渡スヲ業トス故ニ會社ハ被保人相互ニ災危ヲ救フノ契約ヲ爲ス中間ニ立テ事務ヲ取扱フモノナレハ別ニ資本金ヲ要セサルモ妨ケナキノ理ナリ現ニ海外諸國ニ於テ行ハル、所

保險規則
開業ニ
當リ實施
ノ確定
(440)

ノ生命保險會社ヲ見ルニ其資本金ヲ備ヘサルモノ實ニ尠カラス然レモ死者ニ渡スヘキ金高多クシテ萬一掛金ノミニテハ不足ヲ告クル等ノ場合ヲ慮リ本社ハ特ニ資本金參拾萬圓ヲ備ヘ之レヲ公債證書ニ替ヘ以テ有限ノ責ニ任シ被保人ノ信認ヲ需ムルモノトス

第二章 生命保險ノ種類

一 本社ニ於テ引受タル處ノ保險ノ種類左ノ如シ

(甲) 尋常終身保險

被保人生存中毎年甲號表ニ掲ケタル掛金ヲ保險料トシテ拂込ムヘキ契約ヲ結ヘハ被保人僅カニ一ケ年ノ拂込ヲ爲シタル後直チニ死歿スルモ保險金受取人(遺族又ハ朋友)ニ契約面ノ金額ヲ拂渡シ其後ハ掛金ヲ爲スニ及ハサルノ法ナリ

(乙) 有限掛金終身保險

被保人五年、十年、十五年、廿年ノ内孰レカ隨意ノ年限ヲ定メ乙號表ニ掲ケタル掛金ヲ拂込ミ其年限ヲ過レハ掛金ヲ爲スニ及ハスシテ死後保險金受取人ニ契約面ノ金額ヲ拂渡スノ法ナリ

若シ被保人僅カニ一ケ年ノ拂込ヲ爲シタル後直チニ死歿スルモ保險金受取人ニ契約面ノ金額

ヲ拂渡シ其後ハ掛金ヲ爲スニ及ハサルヲ尋常終身保險ノ如シ

(丙) 定期保險

被保人ハ一年、三年、五年、七年ノ内孰レカ隨意ノ年限ヲ定メ丙號表ニ掲ケタル掛金ヲ拂込
ミ其年限中ニ在テ被保人死歿スルキハ契約面ノ金額ヲ保險金受取人ニ拂渡シ尙ホ契約ノ期限
内ニ殘餘アルモ最早掛金ヲ拂フニ及ハサルノ法ナリ

若シ被保人幸ニ年限中無事生存スレハ本社ヘ拂込ミタル掛金ハ悉皆契約人ノ損失タルヘシ故
ニ保險掛金ハ殊ニ低廉ナリ

(丁) 養老保險

被保人五十歳、五十五歳、六十歳、六十五歳、七十歳ノ内孰レカ隨意ノ受取年齢ヲ定メ丁號
表ニ掲ケタル掛金ヲ拂込ミ其年齢ニ達スレハ契約面ノ金額ヲ受取リテ老後ノ餘生ヲ送ルノ資
トナスノ法ナリ

若シ被保人其年限中ニ在テ死歿シタルトキハ保險金受取人ニ契約面ノ金額ヲ渡シ其年限リニ
テ掛金ヲ爲スニ及ハサル可シ

第三章 生命保險ノ契約

一 生命保險ノ契約ヲ結ハント欲スル者ハ生命保險申込證書用紙ニ氏名、年齢、職業、並ニ保
險ノ種類及ヒ金高等必要ノ箇條ヲ記入シ契約人及ヒ被保人並ニ二名ノ證人記名調印シテ本社
又ハ支社若クハ代理店ヘ差出スヘシ

但シ親族ハ證人トナルヲ得ス

一 本社ハ申込證書ニ據リ醫師ノ體格檢査ヲ經テ契約ヲ取結フ可シ若シ該申込證書ハ勿論醫師
ヘノ陳述ニ詐偽或ハ隱蔽ノ廉アルキハ契約ハ無効ニ屬スルモノトス依テ他日被保人若クハ保
險金受取人其他何人タリト雖モ本社ニ向テ保險金ヲ要求スルコトヲ得サルハ勿論本社ヨリ交付
シタル保險證書ハ廢紙タルヘシ

一 保險申込證書ノ用紙ハ本支社若クハ代理店ニ就テ請求ス可シ其申込證書ノ書式ハ此規則末
葉ニ添付セリ

一 本社又ハ支社若クハ代理店ニ於テハ毎週土曜及日曜ノ兩日被保人ヲ診査ス可シ若シ旅行セ
ントスルカ又ハ旅寓滯在中等ノ人ニシテ診査定日外ニ契約セント欲スルキハ其旨申込ム可シ
然ル時ハ定日ニ拘ハラス其日時ヲ定メ契約ヲ爲スベシ

但シ本文診査定日ヲ變更スルキハ其都度廣告スヘシ

- 一 本支社又ハ代理店ニ來テ診査ヲ受クル者ハ診査料ヲ拂フニ及ハスト雖モ被保人ノ都合ニヨリ來診ヲ請求スル者ハ相當ノ診査料ヲ拂フヘシ
- 一 被保人ノ身體不健康ナリト認ムルキハ契約ヲ斷リ或ハ其望ニ依テハ幾分ノ掛金ヲ増加シテ保險ノ契約ヲ取結フコアル可シ
- 一 本支社又ハ代理店ナキ地方ニ於テ多人數申合セ被保人タランコトヲ申込ムキハ社員ヲ派遣シ契約ヲナスヘシ
- 一 本社ト保險契約人トノ契約ハ保險證書ニ記載スル月日ヨリ始マルモノトス
- 一 保險契約人ハ保險金受取人ヲ定メ置クヘシ
- 一 但シ受取人ハ親戚朋友其他何人ニテモ差支ヘナシ
- 一 保險契約後掛金拂込ミ方及ヒ保險金受取人ヲ替ヘント欲スルキハ其旨ヲ本社ニ通知シテ保險證書ノ書換ヲ請求シ保險金高ノ多少ニ拘ラス保險證書一枚ニ付書換料金五拾錢ヲ拂フ可シ
- 一 被保人ノ年齢ヲ算スルハ六ヶ月ヲ以テ分界ス（例ヘハ二十年六ヶ月迄ハ二十年ト算シ二十年七ヶ月以上ハ二十一年ト算スルカ如シ）
- 一 被保人ハ日本國內何レノ地ニ住居又ハ旅行スルモ妨ケナシ但轉住セシキハ其都度本社ヘ通

知ス可シ

- 一 被保人外國ヘ赴クキハ發足前ニ其旨本社ニ通知スヘシ本社ハ時宜ニ依リ掛金ノ割増ヲ爲サシムルコアルヘシ
- 一 陸海軍人、警察官及ヒ火藥製造、蒸氣汽罐取扱ヒ其他危險ノ業ニ從事シ又ハ軍艦、商船等ニ乗組ミ航海ヲ業トスル被保人ハ多少掛金ノ割増ヲ要ス可シ
- 一 但支那、朝鮮及ヒ亞細亞洲内ノ露西亞領ノ諸港ニ往復スルヲ業トスル者ハ前以テ其諸港ヲ本社ニ通知シ置ケバ其都度通知スルニ及バズ
- 一 被保人其業ヲ轉シテ陸海軍人、警察官トナリ又ハ火藥製造、蒸氣汽罐取扱ヒ及ビ航海等其他危險ノ業務ニ從事スルキハ必ス其旨本社ニ通知シ掛金ノ割増ヲ爲ス可シ

第四章 掛金拂込

- 一 保險掛金ハ保險證書ノ券面ニ從ヒ拂込ムヘキモノトス
- 一 保險掛金ハ毎年ノ始ニ前金ニテ拂込ムヘキモノトス（年ノ始トハ一月一日ヲ謂フニ非スシテ保險證書ニ記シタル月日ノ事ナリ例ヘハ最初保險ノ契約ヲ結ヒタル日十月一日ナレハ十月一日ヲ以テ年ノ始トシ毎年其日迄ニ其年度ノ掛金ヲ拂フヘシ總テ本社ニテ一年ト云フハ最初

約束ヲ結ヒタル日ヨリ翌年ノ同月同日迄ヲ指スモノナリ)

一 掛金ハ前項ノ如ク一年分前金ニテ拂込ムヲ本則トスト雖モ契約人便利ノ爲メ半年或ハ三ヶ月或ハ毎月掛金ヲ拂フコトヲ得故ニ契約人其年ノ掛金皆済ニ至ラスシテ被保人死亡スレハ保險金ヲ渡ス時其中ヨリ掛金ノ不足ヲ引去ル可シ

一 掛金受取證書ニハ本社ノ社長支配人記名調印スト雖モ各地ノ支社或ハ代理店ニ於テ掛金受取ノ取扱ヒヲ爲シタル分ハ其支社或ハ代理店ノ印章ヲ押捺ス可シ

一 掛金ハ期日迄ニ拂込ムヲ本則トスト雖モ若シ止ムヲ得サル事故ノ爲メ期日經過日數六十日迄ハ延滞掛金ニ對スル百分ノ二ノ利子ヲ附加シ拂込ミタルモハ保險ノ契約ヲ繼續スルコトヲ得其日數六十一日ニ及フモハ保險契約ヲ解除セシモノト看做シ既ニ本社ヘ拂込ミタル金額ハ悉ク損失タル可シ

第五章 解約並拂濟證書

一 尋常終身保險ナレハ滿三年以上有限掛金終身保險、養老保險ナレハ三分ノ一以上掛金ヲ拂込ミタル後契約人ノ都合ニ依リ解約ヲ要求セシモハ本社ハ保險ノ種類、掛込ノ金高被保人ノ年齢等ヲ調査シ既ニ拂込タル掛金ノ三分ノ一二下ラサル金額ヲ割戻シ解約ヲナス可シ

一 定期保險ハ解約ノ時掛金ノ割戻ヲ爲サ、ルモノトス

一 保險ノ契約ヲ解ク時契約人ノ都合ニ依リ割戻金ヲ受取ラスシテ其金高限リニテ新タニ相當ノ保險金ヲ得ヘキ契約ヲ結ハント欲スレハ本社ハ拂濟保險證書ヲ渡ス可シ然ルモハ後來掛金ヲ爲サスシテ被保人死亡又ハ滿期ニ至リ若干ノ保險金ヲ受取ルコトヲ得ヘシ

第六章 自殺死刑

一 被保人自殺或ハ裁判所ノ宣告ニ依リ死刑ニ處セラレタルモハ保險契約ハ無効ノモノタル可シ然レモ尋常終身保險ハ滿五年以上有限掛金終身保險養老保險ハ三分ノ一以上掛金ヲ拂込ミタル後ナレハ第五章第一項ニ準シ割戻ヲナスヘシ

一 定期保險ハ掛金ノ割戻ヲ爲サ、ルモノトス

第七章 死亡及滿期報告並保險金交付

一 被保人死亡シタルモハ其旨直チニ本社ヘ報告スヘシ本社ニ於テハ其報告ヲ得レハ直チニ死亡證書用紙ヲ送ルヘキニ付之レニ必要ノ簡條ヲ記入シ醫師及保險金受取人並ニ證人二名記名調印シテ本社ヘ送ル可シ本社ハ之レヲ受取タル後六十日內ニ(遠方ノ地ナレハ郵便日數ヲ除ク)保險證書ト引換ヘ保險金ヲ渡ス可シ

- 一 養老保險契約ノ被保人満期ニ達シタルキハ其旨直チニ本社へ通知スヘシ本社ニ於テハ其通知ヲ得タル後六十日内ニ（遠方ナレハ郵便日數ヲ除ク）保險證書ト引換へ保險金ヲ渡ス可シ
- 一 被保人死後拂渡ス可キ保險金ハ全額一時ニ支拂フヲ本則トス然レモ受取人ノ望ミニヨリ本社ハ定期預リ金トナシ相當ノ利子ヲ附シ若干年間ニ支拂フコアル可シ

第八章 掛金表

- 一 掛金表ハ總テ保險金百圓ニ付テノ割合ヲ示シタルモノナレハ保險金千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ掛金表ニ掲ケタル金高ニ、十倍ノ掛金ヲ拂ヒ五千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ五十倍ノ掛金ヲ拂フ可シ
- 一 保險金高ハ百圓未滿ノ端數ニアラサレハ何程ニテモ契約ヲ爲スヲ得ヘシト雖モ一人ノ被保人ニシテ各種合計五千圓ニ超過スルコトヲ得ス
- 一 掛金表ノ調製ハ生命保險事業ニ最モ大切ニシテ確實ナリト云フ點ニ於テ完全ナランコトヲ期シ慎重ニ慎重ヲ加ヘタリ然レモ向來ノ實驗ニ徴シ此掛金ニシテ万一高キニ過キタルコトヲ發見シタルキハ本社ハ尋常終身保險有限掛金終身保險養老保險ノ三種類ニ限り保險金額五百圓以上ニシテ七年以上本社ノ被保人タル被保人ニ對シ利金ノ一部分ヲ割戻スコアルベシ

- 一 本社ハ八年毎ニ此掛金算定ノ根據ヲ精査シ前項ノ利金ヲ分配スル場合ニハ其分配金ヲ定メ之レヲ契約人へ明示シ本社ニ預リ置キ保險金拂渡シノ節共ニ支拂フヘシ又契約人ノ内万一掛金ニ差支ヘアルキハ契約人ノ請求ニヨリ掛金ニ振替ヘ若クハ其幾分ヲ掛金中へ加フルコアル可シ

尋常終身保險掛金表 保費百圓付

年	年	年
齡	齡	齡
年	年	年
掛	掛	掛
半	半	半
年	年	年
掛	掛	掛
三	三	三
ヶ	ヶ	ヶ
月	月	月
掛	掛	掛
月	月	月
掛	掛	掛
年	年	年
齡	齡	齡
年	年	年
掛	掛	掛
半	半	半
年	年	年
掛	掛	掛
三	三	三
ヶ	ヶ	ヶ
月	月	月
掛	掛	掛

五年拂込有限掛金終身保險掛金表 保費百圓付

年	年	年
齡	齡	齡
年	年	年
掛	掛	掛
半	半	半
年	年	年
掛	掛	掛
三	三	三
ヶ	ヶ	ヶ
月	月	月
掛	掛	掛
月	月	月
掛	掛	掛
年	年	年
齡	齡	齡
年	年	年
掛	掛	掛
半	半	半
年	年	年
掛	掛	掛
三	三	三
ヶ	ヶ	ヶ
月	月	月
掛	掛	掛

甲 號表ノ尋常終身保險被保人ノ存生中ハ何年ナリテモ掛金ヲ拂フモナレバ此乙第一號表ハ契約ノ年限五年間掛金ヲ受取リ其後ハ保費ニ及バズ

付=圓百金險保 表金掛險保身終金掛限有 込拂年五十

Table for page 1051 showing financial data with columns for age (年齢), year (年), 6-month (半年掛), 3-month (三ヶ月掛), month (月), and installment (掛). It includes numerical values for years 1 through 50.

此乙第三號表ハ掛金拂込年限十五ヶ年ノモノヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ乙第一號表ノ解説ニ異ナルヲナシ

乙第二號

付=圓百金險保 表金掛險保身終金掛限有 込拂年十

Table for page 1050 showing financial data with columns for age (年齢), year (年), 6-month (半年掛), 3-month (三ヶ月掛), month (月), and installment (掛). It includes numerical values for years 1 through 10.

此乙第二號表ハ掛金拂込年限十ヶ年ノモノヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ乙第一號表ノ解説ニ異ナルヲナシ

乙第四號

十二年拂込有限掛終身保險掛金表 保費四圓付

年齢	年掛	半年掛	三ヶ月掛	月掛
三三三三三 六五四三二一 〇九八七六五	三三三三三 四七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一六六六六 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	九八八八八 一六六六六 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	三三三三三 四七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
二二二二二 〇九八七六五	二二二二二 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一三三三三 二四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	八七六五四 一五〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	二二二二二 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
一一一一一 〇九八七六五	一一一一一 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇 二四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	七六五四三 一四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一一一一一 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

此乙第四號表ハ掛金拂込年二十ヶ年ノモノヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ乙第一號表ノ解説ニ異ナルヲナシ

丙第一號

一年間定期保險掛金表 保費四圓付

年齢	年掛	半年掛	三ヶ月掛	月掛
三三三三三 六五四三二一 〇九八七六五	三三三三三 四七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一六六六六 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	九八八八八 一六六六六 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	三三三三三 四七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
二二二二二 〇九八七六五	二二二二二 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一三三三三 二四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	八七六五四 一五〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	二二二二二 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
一一一一一 〇九八七六五	一一一一一 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇 二四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	七六五四三 一四〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	一一一一一 二七三三三 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

此丙第一號表ハ一年定期保險契約ノ掛金ヲ示シタルモノニシテ例ヘハ十五歳ノ人壹圓十五錢ヲ拂込ミ一年間ノ契約ヲナセバ其人萬一此一年ノ定期保險契約ノ掛金ハ保險金一百圓ヲ得ルモノトス然レモ被保人幸ヒニ右期限中無事ニ生存スレバ契約ハ自ラ解ケタルモノニテ隨テ掛金ハ其人ノ損失タルヘシ

丙第四號

付=圓百金險保 表金掛險保期定 間年七

年 齡	年 掛	半 年 掛	三ヶ月掛	月 掛
三三三三三三 六五四三二一	三二二二二二 〇九八七六五四三二一	二一一一一一 〇九八七六五		
	三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇 二、七〇〇、〇〇〇 二、六〇〇、〇〇〇 二、五〇〇、〇〇〇 二、四〇〇、〇〇〇 二、三〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 二、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇 二、七〇〇、〇〇〇 二、六〇〇、〇〇〇 二、五〇〇、〇〇〇 二、四〇〇、〇〇〇 二、三〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 二、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇 二、七〇〇、〇〇〇 二、六〇〇、〇〇〇 二、五〇〇、〇〇〇 二、四〇〇、〇〇〇 二、三〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 二、一〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇 二、七〇〇、〇〇〇 二、六〇〇、〇〇〇 二、五〇〇、〇〇〇 二、四〇〇、〇〇〇 二、三〇〇、〇〇〇 二、二〇〇、〇〇〇 二、一〇〇、〇〇〇
五五五五五 五四三二一	五四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三三 〇九八七		
	三、八〇〇、〇〇〇 三、七〇〇、〇〇〇 三、六〇〇、〇〇〇 三、五〇〇、〇〇〇 三、四〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 三、二〇〇、〇〇〇 三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇 三、七〇〇、〇〇〇 三、六〇〇、〇〇〇 三、五〇〇、〇〇〇 三、四〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 三、二〇〇、〇〇〇 三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇 三、七〇〇、〇〇〇 三、六〇〇、〇〇〇 三、五〇〇、〇〇〇 三、四〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 三、二〇〇、〇〇〇 三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇 三、七〇〇、〇〇〇 三、六〇〇、〇〇〇 三、五〇〇、〇〇〇 三、四〇〇、〇〇〇 三、三〇〇、〇〇〇 三、二〇〇、〇〇〇 三、一〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 二、九〇〇、〇〇〇 二、八〇〇、〇〇〇
	二、〇〇〇、〇〇〇 一、九〇〇、〇〇〇 一、八〇〇、〇〇〇 一、七〇〇、〇〇〇 一、六〇〇、〇〇〇 一、五〇〇、〇〇〇 一、四〇〇、〇〇〇 一、三〇〇、〇〇〇 一、二〇〇、〇〇〇 一、一〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇 一、九〇〇、〇〇〇 一、八〇〇、〇〇〇 一、七〇〇、〇〇〇 一、六〇〇、〇〇〇 一、五〇〇、〇〇〇 一、四〇〇、〇〇〇 一、三〇〇、〇〇〇 一、二〇〇、〇〇〇 一、一〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇 一、九〇〇、〇〇〇 一、八〇〇、〇〇〇 一、七〇〇、〇〇〇 一、六〇〇、〇〇〇 一、五〇〇、〇〇〇 一、四〇〇、〇〇〇 一、三〇〇、〇〇〇 一、二〇〇、〇〇〇 一、一〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇 一、九〇〇、〇〇〇 一、八〇〇、〇〇〇 一、七〇〇、〇〇〇 一、六〇〇、〇〇〇 一、五〇〇、〇〇〇 一、四〇〇、〇〇〇 一、三〇〇、〇〇〇 一、二〇〇、〇〇〇 一、一〇〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇

此丙第四號表ハ七年定期保険契約ノ掛金ヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ丙第一號表ノ解説ニ異ナルナリ

付=圓百金險保 表金掛險保老養 取受歳十五

年 齡	年 掛	半 年 掛	三ヶ月掛	月 掛
二五	二四	二三	二二	二一
二〇	一九	一八	一七	一六
一五	一四	一三	一二	一一

丁第一號

前諸表ハ都テ被保人死後契約ノ保険金ヲ受取ルヘキモノナレ此丁第一號表ハ五十歳受取ノ養老保険ニシテ例
 ヘハ十五歳ノ人此表ニヨリ五十歳ニ達スル迄毎年金貳圓三十五錢ノ掛金ヲ拂込メ其人五十歳ニ達セシトキ保
 險金壹百圓ヲ受取リ老後殘年ヲ送ルノ資ニ供スヘク又其人不幸ニシテ萬一右五十歳ニ達スル迄ニ死亡スルトモ
 同様契約ノ保険金ヲ受取リ其死後ハ掛金ヲ拂續クニ及ハス故ニ此養老保險ハ長壽スレハ生前ニ短命ナレハ死後
 ニ孰レニテモ受取ルヘキノ方法ナリ

丁第二號

付=圓百金險保		表金掛險保老養		取受歲五十五	
年	年	年	年	年	年
二八	二七	二六	二五	二四	二三
二二	二一	二〇	一九	一八	一七
一六	一五	一四	一三	一二	一一
一〇	〇九	〇八	〇七	〇六	〇五
三,四〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇
一,七〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇
九〇	八七	八三	八〇	七七	七四
三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇
四〇	三九	三八	三七	三六	三五
六,七〇〇	六,三〇〇	五,八〇〇	五,五〇〇	五,一〇〇	四,八〇〇
三,五〇〇	三,三〇〇	三,一〇〇	二,九〇〇	二,七〇〇	二,五〇〇
一,八〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇
六,三〇〇	五,九〇〇	五,五〇〇	五,一〇〇	四,七〇〇	四,三〇〇

此丁第二號表ハ五十五歳受取養老保險契約ノ掛金ヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ丁第一號表ノ解説ニ異ナルヲナシ

丁第三號

付=圓百金險保		表金掛險保老養		取受歲十六	
年	年	年	年	年	年
一五	一六	一七	一八	一九	二〇
二一	二二	二三	二四	二五	二六
二七	二八	二九	三〇	三一	三二
三三	三四	三五	三六	三七	三八
三九	四〇	四一	四二	四三	四四
四七	四八	四九	五〇	五一	五二
五三	五四	五五	五六	五七	五八
六〇	六一	六二	六三	六四	六五
六九	七〇	七一	七二	七三	七四
七九	八〇	八一	八二	八三	八四
八七	八八	八九	九〇	九一	九二
九七	九八	九九	一〇〇	一〇一	一〇二
一,七〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇
三,四〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇
八七	八四	八〇	七七	七四	七一
三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇
三二	三一	三〇	二九	二八	二七
三,四〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇
一,七〇〇	一,七〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇
三,三〇〇	三,二〇〇	三,一〇〇	三,〇〇〇	二,九〇〇	二,八〇〇
二九	二八	二七	二六	二五	二四
六,七〇〇	六,三〇〇	五,八〇〇	五,五〇〇	五,一〇〇	四,八〇〇
三,五〇〇	三,三〇〇	三,一〇〇	二,九〇〇	二,七〇〇	二,五〇〇
一,八〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇	一,四〇〇	一,三〇〇	一,二〇〇
六,三〇〇	五,九〇〇	五,五〇〇	五,一〇〇	四,七〇〇	四,三〇〇

此丁第三號表ハ六十歳受取養老保險契約ノ掛金ヲ示シタルモノニシテ總テノ旨趣ハ丁第一號表ノ解説ニ異ナルヲナシ

第二類 人保險之部

保險種類四種ノ内左ニ尋常終身保險申込證書記載例ヲ掲ク

一錢
印紙

尋常終身保險申込證書例式

第一 被保人ノ氏名(被保人ト保險契約人ト別人ナレバ其續キ合)

第一例 龜山 萬平

第二例 龜山 萬平妻
鶴山 鶴

第二 被保人ノ現住地

例 大阪市東區北濱二丁目三十二番屋敷寄留

第三 被保人ノ在籍地

例 兵庫縣下播磨國明石郡明石町字相生町一番屋敷

第四 被保人ノ族籍

例 華士族又ハ平民

第五 被保人ノ職業

例 大阪府屬、長命寺住職、又ハ造酒業、又ハ活版印刷職

但シ明細ニ記入シ兼業アルモノハ其兼業ヲモ記入スベシ

第六 被保人當時ノ職業ニ從事シテ以來ノ年數

例 被保人ハ三年以前ヨリ大阪府屬トナル

第七 被保人出生ノ年月日及其場所

例 被保人ハ明治元年一月二日原籍所在地ニテ生ル

第八 被保人ノ年齢

例 被保人ハ當月滿二十一年九ヶ月

第九 保險ノ種類 例 尋常終身保險

第十 保險ノ金高 例 金參千圓

第十一 掛金ノ拂方 例 毎年金何圓何錢ツ、或ハ毎半年毎三ヶ月毎月

第十二 保險金受取人並ニ受取人ト被保人トノ續キ合

例 保險金受取人ハ被保人ノ長男龜山鶴太郎或ハ被保人ノ實弟兵庫縣下攝津國神戸市

榮町五番屋敷龜山福次郎

第十三 被保人配偶ノ有無(配偶アレバ其年齢及結婚ノ年月並ニ血族結婚ナルヤ否)

第一例 被保人ハ未ダ妻ヲ娶ラズ或ハ未ダ嫁セス
第二例 被保人ハ十年前被保人三十歳妻二十五歳ノ時初メテ異族ヨリ婚姻シタレモ三
年前離縁シ現今配偶ナシ

第三例 被保人ハ五年前被保人二十五歳妻十九歳ニシテ初メテ父方血族中ヨリ結婚シ
タレモ昨年妻病死シタルニヨリ本年一月後妻ヲ異族ヨリ娶レリ其年齡當月滿二十歳
第十四 被保人ハ幾年前(或ハ何歳ノキ)種痘ヲ爲シ又ハ天然痘ニ罹ル

第一例 被保人ハ二十五年前天然痘ニ罹リシ
第二例 被保人ハ一歳ノキ種痘シテ善ク感シ其後十歳ノ時再ヒ種痘シタレモ感セサ
リシ

第三例 被保人ハ未ダ種痘セス又天然痘ニモ罹ラス
第十五 被保人飲酒ノ程度及吸烟ノ有無

第一例 被保人ハ飲酒セス又吸烟セズ
第二例 被保人ハ飲酒吸烟共ニ之レヲ好ミ酒量ハ毎夕獨酌凡二合又對酌ノキハ七八合
ヲ飲ムコトアリ

第十六 被保人曾テ其社及他ノ生命保險會社ヘ生命保險ヲ申込ミ諾否ノ有無若シ契約アラバ其
年月竝ニ保險ノ種類同金高同證書ノ番號

第一例 被保人ハ其社及ビ他ノ會社ヘ是迄生命保險ノ申込ミヲナシタルコトナシ

第二例 被保人ハ其社ヘ明治二十二年九月生命保險ヲ申込ミ神戸代理店ニ於テ醫師ノ
診查ヲ受ケタレモ當時身體虛弱ナリシヲ以テ契約ヲ結ハス

第三例 被保人ハ其社ヘ明治二十二年九月生命保險ヲ申込ミ保險金三千圓ノ契約ヲ結
ビ第一〇八二號尋常終身生命保險證書ヲ所持ス

第四例 被保人ハ何々會社ヘ明治二十年五月生命保險ヲ申込ミ保險金千圓ノ契約ヲ結
ビ第五八〇號養老生命保險證書ヲ所持ス

第十七 被保人ノ父方祖父母ノ年齡竝身體ノ景況(若シ既ニ死去シタレバ死去ノ年齡及死去ノ
原因)

第一例 被保人ノ父方祖父ハ肺病ヲ患フルコト五年間年齡六十歳ニシテ十年前死去セリ

第二例 被保人ノ父方祖母ハ年齡二十五歳ニシテ凡四十年前死去シタレモ其病症不詳
第十八 被保人ノ母方祖父母ノ年齡竝身體ノ景況(若シ既ニ死去シタレバ死去ノ年齡及死去ノ

原因)

第一例 被保人ノ母方祖父ノ年齢六十七歳ニシテ三年前ヨリ中風ヲ患フ

第二例 被保人ノ母方祖母ハ年齢六十歳ニシテ健康ナリ

第十九 被保人實父ノ年齢竝身體ノ景況 (若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及死去ノ原因)

例 被保人ノ實父ハ年齢五十五歳ニシテ強壯幼時天然痘ニ罹リタル時ノ外醫治ヲ受ケタルナシ

第二十 被保人實母ノ年齢竝身體ノ景況 (若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及死去ノ原因)

例 被保人ノ實母ハ生來虛弱ニシテ子宮病ニ罹リ年齢三十五歳ニシテ十五年前死去セリ

第二十一 被保人ノ兄弟ノ年齢竝身體ノ景況 (死者アレハ其死去ノ年齢及原因)

第一例 被保人ノ兄一人アリタレモ廿五歳ノ時發狂自殺セリ

第二例 被保人ノ異母弟二人アリ一人ハ十二歳ニシテ健康一人ハ出生後一日ヲ經テ夭死セリ

第二十二 被保人ノ姉妹ノ年齢竝身體ノ景況 (死者アレハ其死去ノ年齢及原因)

第一例 被保人ノ姉一人アリ三十五歳ニシテ虛弱

第二例 被保人ノ妹ナシ

第二十三 被保人ノ子孫ノ年齢竝身體ノ景況 (死者アレハ其死去ノ年齢及原因)

第一例 被保人ノ子ハ男子一人十歳女子一人五歳共ニ健康

第二例 被保人ノ孫ナシ

第二十四 被保人ノ身長 例 幾仙迷 (何尺何寸)

第二十五 被保人ノ胸圍 例 幾仙迷 (何尺何寸)

第二十六 被保人ノ體重 例 幾 基 (何拾何貫何百匁)

第二十七 被保人ノ容貌顔色及身體中異狀

第一例 被保人顔色黒ク頭髮黑色密生少シク白髪ヲ混シ髯毛多ク眼黑色ニシテ大ナリ

第二例 被保人頭髮疎生ニシテ頂部禿シ髯髭少ナク滿面痘痕ヲ存シ眉間ニ小豆大ノ黒子アリ

第二十八 被保人ハ現今健康 (若シ不健康ナレハ其病狀)

第二十九 被保人肺臟病心臟病等ノ胸部ノ病ニ罹リタル有無竝ニ之ニ罹リタル年月及施治醫ノ住

所氏名

第一例 被保人ハ肺臟病心臟病等胸部ノ病ニ罹リタルコナシ

第二例 被保人ハ十年前肋膜炎ニ罹リ大阪市東區伏見町二丁目十八番屋敷菅沼貞吉氏ノ治ヲ受ケ半年餘ニシテ治セリ其他胸部ノ病ヲ患ヒタルコナシ

第三十 被保人其他ノ著シキ病ニ罹リタル有無竝ニ其病ニ罹リタル年月施治醫ノ住所氏名

第一例 被保人ハ常ニ寒冒ニ罹リ易シト雖モ幼時天然痘ニ罹リテ某所某醫ノ治ヲ受ケ又廿歳ノ時麻疹ニ罹リ某醫ノ治ヲ受ケタルノ外醫治ヲ受タル程ノ病ヲ患ヒタルコナシ

第二例 被保人ハ廿五歳ノキ梅毒ニ罹リ府立大阪病院ノ治ヲ乞ヒ一年ヲ經テ治セリ廿八歳ノキヨリ痔瘻ヲ患ヒ三十歳ノトキ大阪市東區今橋三丁目緒方病院ニ入り緒方惟準氏ノ切斷ヲ受ケ一月餘ニシテ治セリ又四年前ヨリ夏季ニ至レハ脚氣ヲ患フ其他著シキ病ニ罹リタルコナシ

右ノ條々聊カ相違無之候間其社ニ於テ被保人何某ノ尋常終身生命保險ノ契約ヲ締ブコトヲ承諾被致候上ハ契約人何某ヨリ被保人存生中毎年(或ハ每半年毎三ヶ月毎月)保險掛金ヲ其社ニ拂

ヒ込ミ被保人死亡致候節ハ其社ヨリ保險金何程ヲ保險金受取人へ拂渡サルベク萬一此保險申込證書及醫師へノ陳述ニ詐偽或ハ隱蔽ノ廉アルカ又ハ拙者共ニ於テ保險證書ニ記載シタル箇條ニ違背スルコアラバ拙者共ハ全ク保險金ヲ要求スルノ權利ヲ失ヒ且ツ其社へ拂ヒ込ミタル保險掛金ハ損失ト相成候其聊カ異議無之候爲後日證書如件

明治何年何月何日

住所族籍

保險契約人 何 某印

同

被保人 何 某印

同

證人 何 某印

同

證人 何 某印

有限 日本生命保險會社 御中

第壹回報告

明治二十二年七月創業以來同十二月三十一日ニ至ルマテ本社ニ於テ實行シタル處務ノ顛末竝ニ諸勘定ノ要領ヲ精査シ株主各位ニ公示スル所ノ件々左ノ如シ

第壹款 創立事務

創立事務

- 一 明治二十二年七月一日發起人總代岡橋治助泉清助ノ兩人ヨリ本社創立ノ義ヲ大阪府知事ヘ稟請シ同日認可ヲ承ク
- 一 同月一日本社事務所ヲ大坂府下大坂市東區北濱二丁目三十二番屋敷ニ設置ノ旨大坂府知事ヘ上申シ爾來同所ニ於テ株主募集等本社創始ニ關スル一切ノ業務ニ從事セリ
- 一 八月二日本社資本金參拾萬圓ノ内第一回拂込金六萬圓ノ募集ヲナス

第二款 株主集會

株主集會

- 一 明治二十二年七月二十八日株主臨時總會ヲ開キ鴻池善右衛門ヲ社長ニ片岡直溫ヲ副社長ニ弘世助三郎難波二郎三郎熊谷辰太郎草間貞太郎松本誠直泉清助ヲ取締役ニ岡橋治助西田永助ヲ検査役ニ撰任シ而シテ泉清助ハ支配人兼務タルヲ承諾シ且ツ川上左七郎ハ顧問ノ任ニ當リ自今重役會議ニ參與スルヲ株主一同議定セリ

- 一 同集會ニ於テ本社定款第二十一條役員給料表中一等社長二等副社長俸給範圍ヲ左ノ如ク更正シ且ツ但書ヲ追加スルヲ決議セリ
- 定款第二十一條更正及増補

社	一	等	社	二	等
自	三	拾	自	二	拾
至	百	二	至	百	二
圓	拾	圓	圓	拾	圓

但取締役及検査役ニ相當ノ報酬ヲ給與スルヲアルヘシ

- 一 又同集會ニ於テ本社定款第二十四條ニ據ルルハ重役在職年限ハ三ヶ年ニシテ即チ明治二十五年七月ヲ以テ改撰期トナス筈ナレモ同月ハ半途ニシテ故ラニ臨時總會ヲ開カザルヲ得ザルヲ以テ二十六年一月定式總會マテ延期スル旨決議セリ

第三款 營業開始

營業開始

本社創立ノ業務全ク整頓セシヲ以テ明治二十二年九月十八日限り從來ノ事務所ヲ閉鎖シ同日ヨリ大阪市東區今橋二丁目百十四番屋敷ニ本社ヲ開設シ爾來營業ノ伸張ニ力ヲ盡クシ大坂府下ハ勿論既ニ京都滋賀奈良福井高知愛媛山口福岡熊本長崎佐賀和歌山兵庫宮崎鹿兒島岡山等ノ

第二類 人保險之部

一〇七二

諸府縣ニ向テハ被保人ヲ募集シ代理店ヲ設置スル等敢テ業域ノ擴張ニ怠ラザリシ結果カ開業日尙ホ淺シト雖モ將來倍々隆盛ヲ來スベキノ兆候アルハ歴々トシテ昭ラカナリ然レモ本社ハ固ヨリ慎重着實ヲ主トシ苟クモ急激ノ動作ヲ避ケ秩序ヲ亂サス方針ヲ誤ラス徐々トシテ其歩ヲ進メ彼ノ内空虛ニシテ外邊幅ヲ修シ紛雜ヲ顧ミサルカ如キ弊ニ傲ハス又タ徒ラニ他ト競争ヲ試ムルコトナク本社ハ唯ダ本社ノ方針ニ從テ着々保險事業ノ普及ヲ謀ラント欲スルナリ

第四款 保險契約

保險契約

明治二十二年九月二十日ヨリ同十二月三十一日ニ至ルマテ保險契約ノ景況左ノ如シ

一 保險申込人 六百六十七名 但シ代理店ヨリ書類未達ノ分ハ除ク

此保險金額三拾六万三千圓

内

三百九人

保險證書交付未済

此金額拾三万七千二百圓

差引三百五拾八人

保險證書交付済

此金額二拾二万五千八百圓

内譯

尋常終身保險

二百八十八人

此金額拾九万五千四百圓

有限掛金終身保險 二拾九人

此金額壹万五千三百圓

定期保險

一人

此金額一千圓

養老保險

四拾人

此金額一万四千百圓

右保險證書交付済四種ノ内有限掛金終身保險定期保險養老保險ヲ各細別スレハ左ノ如シ

有限掛金終身保險

掛金拂込年限	人	員	保	險	金	額
五年 拂込		五			二、〇〇〇	
十年 拂込		九			三、七〇〇	
十五年 拂込		三			一、五〇〇	

二十年拂込	一二	八、一〇〇
合計	二九	一五、三〇〇

定期保險

契約年限	人員	保險金額
七年間定期	一	一、〇〇〇

養老保險

保險金受取年齡	人員	保險金額
五十歲受取	一二	三、八〇〇
五十五歲受取	一〇	二、〇〇〇
六十歲受取	一六	七、一〇〇
六十五歲受取	四	一、二〇〇
合計	四二	一四、一〇〇

右保險契約ニヨリ收入シタル掛金高ハ左ノ如シ

尋常終身保險掛金五千三百拾七圓三錢四厘

五年拂込有限掛金終身保險掛金百四拾四圓三拾貳錢貳厘

十年拂込同掛金貳百拾三圓六拾九錢四厘

十五年拂込同掛金三拾壹圓六拾四錢

二十年拂込同掛金二百四拾貳圓三拾四錢二厘

七年間定期保險掛金八圓二拾錢

五十歲受取養老保險掛金五拾八圓七拾二錢

五十五歲受取同掛金五拾三圓八拾三錢

六拾歲受取同掛金二百二拾五圓六拾二錢

六十五歲受取同掛金三拾六圓拾四錢

合計金六千三百三拾壹圓五拾四錢二厘

第五款 公債證書

明治二十二年九月ヨリ同十二月ニ至ルマテ本社資本金ヲ以テ買入レタル公債證書ハ左ノ如シ

一 整理公債證書券面四万八千五百圓

此代價金四万八千四百四拾七圓貳拾七錢三厘

右公債證書ハ定款第五條ニヨリ悉ク日本銀行へ保護預ケトナセリ

第六款 代理店設置

代理店設置

明治二十二年九月ヨリ同十二月ニ至ルマテ代理店設置ノ箇所左ノ如シ

京都	第壹國立銀行支店內	三木安三郎
彦根	第百三十三國立銀行內	弘世助三郎
大津	第百三十三國立銀行支店內	中村吉太郎
八幡	八幡銀行頭取	西川貞二郎
長濱	第二十一國立銀行取締役	河路重平
奈良	第三十四國立銀行支店支配人	岡幸次郎
同堺	第六十八國立銀行支店副支配人	米田吉三郎
岸和田	第三十二國立銀行取締役	宅徳平
郡山	第五十一國立銀行頭取	川井爲己
小濱	第六十八國立銀行頭取	三木與藏
	第二十五國立銀行頭取	山川貞藏

高知	第七國立銀行內	由比直技
松山	第五十二國立銀行內	加藤彰
山口	第百十國立銀行支店內	武田峻助
赤間關	第百十國立銀行內	草刈隆一
福岡	第十七國立銀行內	小河久四郎
熊本	第九國立銀行頭取	三淵靜逸
久留米	第六十一國立銀行頭取	有馬元長
小倉	第八十七國立銀行頭取	清水可正
和歌山	第四十三國立銀行頭取	宮本吉右衛門
姫路	第三十八國立銀行頭取	岡崎眞鶴
福知山	第百三十國立銀行支店內	井上善助
王島	有信銀行內	三宅最平
岡山	第二十二國立銀行內	高崎勝可
神戸	第一國立銀行支店內	田中元三郎
鹿兒島	第百四十七國立銀行頭取	福山健偉

第二類 人保險之部

一〇七八

宮崎 第四百十七國立銀行支店支配人 大和田傳藏
 柄崎 柄崎銀行頭取 澁谷清六
 合計二十八ヶ所

第七款 役員及醫員

一 現今本社役員ノ總數ハ左ノ如シ

等級	本社	月俸	總計
一	社長 壹人	無給	壹人
二	副社長 壹人	百圓	壹人
三	取締役五人 檢査役二人	無給	七人
七	取締役兼支配人 壹人	三拾圓	壹人
八	手代 三人	拾八圓	三人
十	雇 三人	自十二圓至十五圓 自二圓五拾錢至五圓	三人
總計	十七人		十七人

一 現今本社及代理店ノ診査醫ハ三十名ニシテ其姓名ハ左ノ如シ

大阪高橋病院長 高橋正純 大阪緒方病院長 緒方惟準
 大阪吉田病院長 吉田顯三 醫學士 清野勇
 醫學士 菅沼貞吉 醫學士 緒方太郎

京都東山醫院長 半井澄 京都療病院長 猪子止戈之助
 醫學士 佐藤廉 醫學士 齋藤仙也
 醫學士 新宮涼亭 大津病院長 野並魯吉
 彦根中島診療所長 中島宗達 長濱病院長 桐田謙吉
 奈良病院長 常持爲治 大和櫻井病院長 八木逸郎
 醫學士 高知病院長 水野廉平 醫學士 楠正任
 醫學士 松山病院長 鳥居春洋 山口病院長 奧田道有
 醫學士 吉田與三 福岡病院長 大森治豊
 醫學士 熊谷玄旦 醫學士 魚住完治
 醫學士 桑原丘爲 醫學士 三田久泰
 久留米私立病院長 齋藤武英 醫學士 澄川德
 醫學士 坂田雅夫 醫學士 中原泰彌

第八款 株式記名變換

明治二十二年八月ヨリ同十二月ニ至ルマテ本社假株式券狀ヲ豫定ノ方法ニヨリ各地ヘ分配ニ付

第二編 會社資料

一〇七九

株式記名
變換

第二類 人保險之部

一〇八〇

記名變換シタル口數ハ總計百二十六口ニシテ此株數ハ千百四十一株ナリ而シテ現在株主姓名表ハ後葉ニ添付スル所ノ如シ

第九款 諸勘定結算

諸勘定結算

明治二十二年十二月三十一日ニ於テ諸勘定ノ結算左ノ如シ

借方

負債義務ニ屬スル分

- 一金六万圓
- 一金六千三百三拾壹圓五拾四錢貳厘
- 一金百貳拾圓五錢六厘
- 一金千貳百四拾壹圓九錢六厘
- 一金貳百七拾三圓四拾錢三厘
- 總計金六万七千九百六拾六圓九錢七厘

- 第一回募集株金
- 保險掛金
- 假預リ金
- 資本部損益勘定
- 保險部損益勘定

貸方

資產權利ニ屬スル分

- 一金四万八千四百四拾七圓貳拾七錢三厘
- 一金千八百拾圓
- 一金壹万六百三拾壹圓九厘

- 株金買入公債證書
- 公債買入元金
- 預ケ金

- 一金八百拾六圓壹錢七厘
- 一金六千四拾九圓拾五錢七厘
- 一金貳百拾二圓六拾四錢壹厘
- 總計金六万七千九百六拾六圓九錢七厘

- 各地代理店勘定
- 創立入費
- 未收入利息

第十款 損益精算

損益精算

第九款諸勘定結算ニヨリ損益ヲ精算スル左ノ如シ

- 一金千貳百四拾壹圓九錢六厘

資本部利益金

内譯

- 金壹千圓
- 金貳百四拾壹圓九錢六厘
- 一金貳百七拾三圓四拾錢三厘

- 公債證書利息
- 預ケ金利息
- 保險部利益金

内譯

- 金貳百三圓九拾錢三厘
- 金拾壹圓五拾錢
- 金五拾八圓

- 預ケ金利息
- 手數料
- 雜益

第二類 人保險之部

一〇八二

合計金千五百拾四圓四拾九錢九厘
 内金貳百七拾三圓四拾錢三厘
 差引
 金千貳百四拾壹圓九錢六厘
 内

本年利益金
 保險部利益ハ後年へ繰込
 資本部利益金

金千貳百圓
 金四拾壹圓九錢六厘

割賦金但壹株ニ付金拾錢ノ
割年五分弱ニ當ス
 後年へ繰込高

右ハ創業以來明治二十二年十二月三十一日ニ至ル第一回報告前書ノ通り相違無之候也
 明治二十三年一月二十六日

有限 日本生命保險會社

社長 鴻池善右衛門
 副社長 片岡直溫
 取締役 弘世助三郎
 同 難波二郎三郎
 同 熊谷辰太郎

株主各位御中

同 草間貞太郎
 同 松本誠直
 同 兼 泉清助
 同 支配人 岡橋治助
 同 檢査役 西田永助
 同 顧問 川上左七郎

日本生命保險會社株主姓名表

府縣名	姓名	株數	府縣名	姓名	株數
大阪	岡橋治助	二、二一六	大阪	甲谷權兵衛	一三〇
同	鴻池善右衛門	一三〇	同	山口吉郎兵衛	一三〇
同	川上左七郎	一三〇	同	西田永助	一三〇
同	泉清助	一三〇	同	井上保次郎	一三〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
村	渡	益	大	肥	高	森	西	高	九	長	前	平	宮	貴
上	邊	田	三	塚	安	鼻	澤	木	里	谷	川	田	崎	田
嘉	庄	太	輪	與	道	宗	武	善	庄	川	平	正	彌	孫
兵	助	三	長	八	純	次	助	兵	次	千	六	之	三	次
衛		郎	兵	郎				衛	郎	藏			郎	郎

五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 大
阪

谷	芝	平	平	加	米	堀	藤	藤	原	瀨	前	野	紅	加	山
村	川	瀨	瀨	藤	谷	江	田	田	原	尾	田	田	谷	藤	口
伊	又	龜	市	權	重	猪	組	組	正	喜	伊	吉	宇	甚	善
右	右	之	五	左	之	猪	取	取	次	兵	之	兵	兵	助	五
衛	衛	助	郎	衛	助	輔	締	締	郎	衛	助	衛	衛		郎
門	門			門		輔	役	役							

五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇

同	同	同	同	同	同	同	同	大	滋	同	同	同	同	大
進	緒	緒	緒	伊	浮	福	安	草	弘	熊	難	田	竹	土
藤	方	方	方	丹	田	田	田	間	世	谷	波	中	田	居
嘉	惟	太	拙	嘉	桂	吉	源	貞	助	辰	二	市	忠	通
一	準	郎	齋	兵	造	兵	三	太	三	太	郎	兵	作	夫
郎				衛		衛	朗	郎	郎	郎	郎	衛		

五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 七〇 一三〇 一三〇 一三〇 一三〇 一三〇 一三〇

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 大
阪

淡	吉	馬	大	天	川	越	田	河	殿	辻	高	田	井	辻
野	田	瀨	井	野	上	野	邊	野	村	龍	砂	尻	谷	忠
權	顯	清	卜	熊	利	嘉	貞	仁	エ	助	長	逆	安	右
四	三	三	新	次	助	助	吉	三	ツ	三	三	逆	次	衛
郎	郎	郎	郎	郎	助	助	郎	郎	郎	助	郎	郎	郎	門

五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇 五〇

同	大	和	靜	東	同	京	和	同	同	同	同	同	同	同	大
同	阪	歌	岡	京	同	都	歌	同	同	同	同	同	同	同	阪
岡田嘉右衛門	武田長兵衛	宮本吉右衛門	清野勇	村田保	西村五三郎	竹村彌兵衛	瀧川淺一郎	阿部彦太郎	古畑寅造	生島嘉藏	田中治郎八	房田九兵衛	糸谷忠藏	和田保兵衛	

二〇	二〇	二五	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
渡邊秀三	椿本庄助	小寺幸次郎	三澤元衡	山本洪輔	田邊五兵衛	白井松之助	小野市兵衛	島田覺人	山口樽三郎	矢野享	生駒權七	小西熊吉	安登仁兵衛	高砂長兵衛	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	阪
岡幸次郎	瀧山瑄	長谷川猶助	山崎隆叔	澁谷庄三郎	高橋守太郎	菅沼貞吉	菅野仙左衛門	鹽野義三郎	吉田喜三郎	田畑利兵衛	前田榮次郎	岩崎米次郎	黒田卯兵衛	河合榮七	

二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
同	同	同	同	京	兵	同	同	同	同	同	同	同	同	同	滋
片山茂十郎	加納作之助	山田定兵衛	三木安三郎	安盛善兵衛	辰馬與平	西川金治郎	古望仁兵衛	石居四郎平	千田保治	河路重平	阿知波勘次郎	竹村伊平	鶴川與次兵衛	西村季知	

同	大	福	和	同	同	奈	兵	大	和	三	島	香	福	高
同	阪	井	歌	同	同	良	庫	阪	歌	重	根	川	岡	知
福	香	木	北	田	片	三	伊	西	林	富	太	鎌	森	中
貴	川	下	島	原	岸	木	達	川	喜	岡	野	田	信	澤
政	貴	是	七	口	福	與	尊	市	兵	太	直	房	夫	打
吉	一		兵	赴	太		親	造	衛	郎	和	次	夫	作

一〇 一〇 一二 一五 一五 一五 一五 一五 一五 二〇 二〇 二〇 二〇 二〇 二〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
														阪

小	米	劉	山	田	田	井	佃	末	伊	加	吉	植	米	岡
野	谷	臨	下	中	中	上	萬	野	川	藤	田	田	澤	部
由	庄	吉	和	平	定	清	兵	熊	良	佐	仁	庄	源	則
次	七		助	三	次	兵	衛	七	之	右	兵	三	兵	光
郎				郎	郎	衛			助	衛	郎	郎	衛	

一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	阪
前	橋	鎌	瀧	中	黒	岩	長	磯	和	殿	森	酒	岡
田	本	田	彌	川	田	田	谷	林	田	井	井	井	田
長	壽	武	助	熊	久	常	川	治	良	ラ	常	千	嘉
平	一	兵	七	七	太	成	成	三	之	ク	次	代	兵
	郎	衛			郎	一	一	郎	輔		郎	太	衛

一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大
													阪

山	增	三	小	山	若	河	東	南	駒	松	杉	磯	吉
村	田	谷	林	本	宮	野	元	方	井	村	之	林	原
新	治	岩	林	德	佐	一	太	平	庄	辰	原	勘	政
助	助	藏	之	五	吉	造	郎	助	太	次	盛	次	造
			助	郎					郎	郎	重	郎	

一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇 一〇

岐	宮	香	佐	岡	大	同	同	同	岡	福	同	滋	同	京
阜	崎	川	賀	山	阪				山	井		賀		都
上	谷	鎌	古	福	佐	吉	坂	三	安	武	中	小	岸	平
田	仲	田	賀	武	々	田	田	宅	藤	田	村	幡	本	野
清	吉	勝	善	豊	木	清	雅	貫	輛	英	吉	益	傳	恭
藏		太郎	兵衛	太郎	政	次	夫	一	彦	藏	太郎	一	吉	藏
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
同	同	同	同	大	同	同	福	同	高	德	同	同	高	岐
				阪			井		知	島			知	阜
吉	山	生	岸	高	畑	井	池	中	安	延	櫻	川	由	戸
田	下	駒	田	原	守	汲	田	澤	岡	原	木	崎	比	田
宗	錢	ア	賢	久	慎		信	恒	右	勝	嘉	幾	直	氏
兵	之	サ	吉	太	三	収	好	三	馬	榮	右	三	枝	寬
衛	助			郎	郎			郎	吉		衛	郎		
五	五	五	五	五	六	六	六	八	八	〇	〇	〇	〇	〇

同	同	同	同	同	同	同	同	奈	同	同	同	同	同	大
								良						阪
米	中	山	深	大	豐	印	吉	金	山	島	西	田	山	都
田	村	本	井	山	田	藤	田	丸	田	津	村	中	內	市
吉	直	直	高	喜	新	政	方	宇	伊	傳	勘	吉	半	吉
三	馬	正	義	七	八	美	正	一	兵	二	兵	三	兵	兵
郎				郎				郎	衛	郎	衛	郎	衛	衛
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	京	兵	奈
												都	庫	良
小	西	初	西	松	平	小	桂	辻	高	長	內	上	市	藪
島	阪	田	川	永	田	西	正	重	野	島	藤	島	河	田
純	熊	平	幸	恒	職	有	芳	義	松	直	德	安	長	兼
一	太	右	助	久	教	定			次	七	兵	兵	風	五
	郎	衛							郎		衛	衛		郎
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

第二類 人保險之部

同	愛媛	京都
上原	清家	井上善助
同	同	愛媛
兵頭長三郎	和田佐八郎	上田京年
合計三百七十四人		
一三、〇〇〇		

一〇九六

第壹回統計

保險種類	本年契約高		本年死亡高		本年解約高		差引現契約高	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
尋常終身	二六人	一五、四〇〇					二六人	一五、四〇〇
有終身	一元	一五、三〇〇					一元	一五、三〇〇
定期	四〇	一、〇〇〇					四〇	一、〇〇〇
養老	三六	一四、一〇〇					三六	一四、一〇〇
合計	一〇三	三五、八〇〇					一〇三	三五、八〇〇

各種保險契約高増減表

右保險金額ヲ現在被保人ニ平均スルハ壹人ニ付六百參拾壹圓弱ニ當ル

有限掛金終身保險契約高年限別増減表

拂込年限	本年契約高		本年死亡高		本年解約高		差引現契約高	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
壹年拂込	一						一	
五年拂込	五	二、〇〇〇					五	二、〇〇〇
十年拂込	九	三、七〇〇					九	三、七〇〇
十五年拂込	三	一、五〇〇					三	一、五〇〇
二十年拂込	三	八、一〇〇					三	八、一〇〇
合計	二〇	一五、三〇〇					二〇	一五、三〇〇

定期保險契約高年限別増減表

有効年限	本年契約高		本年死亡高		本年解約高		差引現契約高	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
壹年間	一						一	

第二編 會社資料

一〇九七

合 計	三 年 間	五 年 間	七 年 間	本年契約高		本年死亡高		本年解約高		差引現契約高	
				人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一	一	一	一	一	1,000	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	1,000	一	一	一	一	一	一

養老保險契約高年限類別増減表

合 計	七十歳受取	六十五歳受取	六十歳受取	五十五歳受取	五十歳受取	本年契約高		本年死亡高		本年解約高		差引現契約高	
						人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
四三	一	四	一六	一〇	三	一四,100	一	一	一	一	一	一	一
四三	一	四	一六	一〇	三	一四,100	一	一	一	一	一	一	一

首表ノ總額ニ比シ人員ノ超過セルハ壹人ノ被保人ニシテ滿期年限二種以上ニ跨ルモノヲ契約セルニヨル

現契約被保人兩性別別表

合 計	女 子	男 子	保險種類		定 期	養 老	合 計	
			尋常終身	有限掛金終身				
三六	三	三三	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一九,400	七,100	一八,300	一	一	一	一	一	一
二元	四	二五	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一五,100	八〇〇	一四,500	一	一	一	一	一	一
一	一	一	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一,000	一,000	一,000	一	一	一	一	一	一
四	三	六	人員	金額	人員	金額	人員	金額
四,100	二,500	一,600	一	一	一	一	一	一
三六	五	三三	人員	金額	人員	金額	人員	金額
三三,600	一〇,500	二五,100	一	一	一	一	一	一

現契約被保人族籍類別表

合 計	平 民	士 族	保險種類		定 期	養 老	合 計	
			尋常終身	有限掛金終身				
二六	三	三	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一五,400	一六,600	三〇,200	一	一	一	一	一	一
二元	三	九	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一五,300	一一,100	四,100	一	一	一	一	一	一
一	一	一	人員	金額	人員	金額	人員	金額
一,000	一,000	一,000	一	一	一	一	一	一
四	三	八	人員	金額	人員	金額	人員	金額
四,100	九,200	四,100	一	一	一	一	一	一
三六	三	三	人員	金額	人員	金額	人員	金額
三三,600	一六,600	一七,000	一	一	一	一	一	一

現契約被保人掛金拂込方類別表

掛金拂込方	保險種類		人員金額		養老		合計	
	尋常終身	有限掛金終身	人員	金額	人員	金額	人員	金額
年掛	15人	1人	13	10,800	14	4,500	27	15,300
半年掛	8人	6人	14	2,700	15	4,600	29	7,300
三ヶ月掛	3人	4人	7	1,400	9	3,700	16	5,100
月掛	2人	3人	5	400	2	1,300	7	1,700
合計	28人	4人	32	15,300	40	14,100	72	29,400

首表ノ總額ニ比シ人員ノ超過セルハ壹人ノ被保人ニシテ掛金拂込方二種以上ニ跨ルモノヲ契約セルニヨル

現契約被保人年齢類別表

申込當時年齢	保險種類		人員金額		養老		合計	
	尋常終身	有限掛金終身	人員	金額	人員	金額	人員	金額
10歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
11歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
12歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
13歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
14歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
15歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
16歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
17歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
18歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
19歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
20歳	1人	1人	2	100	1	100	3	200
合計	10人	10人	20	2,000	10	1,000	30	3,000

年齢	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
10歳	1	100	1	100	1	100	1	100
11歳	1	100	1	100	1	100	1	100
12歳	1	100	1	100	1	100	1	100
13歳	1	100	1	100	1	100	1	100
14歳	1	100	1	100	1	100	1	100
15歳	1	100	1	100	1	100	1	100
16歳	1	100	1	100	1	100	1	100
17歳	1	100	1	100	1	100	1	100
18歳	1	100	1	100	1	100	1	100
19歳	1	100	1	100	1	100	1	100
20歳	1	100	1	100	1	100	1	100
合計	10	1,000	10	1,000	10	1,000	10	1,000

職業	保險種類		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	合計
	尋常終身	有限掛金終身											
陸軍官人	1	1	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
文官	8	1	1	7,600	1	100	1	600	2	600	1	1,000	1
裁判官	1	1	1	2,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
警察官	4	1	1	1,300	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
市吏	4	1	1	1,300	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
會社役員	4	1	1	1,300	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
銀行員	4	1	1	1,300	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
代辦所	4	1	1	1,300	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
醫師	6	1	1	5,700	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
機關手	1	1	1	6,500	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
教員	1	1	1	3,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
商業	106	1	1	49,900	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
農業	7	1	1	3,200	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
工業	3	1	1	1,700	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1	1,000	1
藝業	3	1	1	500	1	100	1	100	1	100	1	100	1
合計	268	1	1	195,400	1	15,300	1	14,100	4	14,100	356	356,800	356

現契約被保人職業類別表

年齡	人員	金額	合計
卅九歲	2	2,000	2,000
卅八歲	2	2,000	2,000
卅七歲	2	2,000	2,000
卅六歲	2	2,000	2,000
卅五歲	2	2,000	2,000
卅四歲	2	2,000	2,000
卅三歲	2	2,000	2,000
卅二歲	2	2,000	2,000
卅一歲	2	2,000	2,000
卅歲	2	2,000	2,000
廿九歲	2	2,000	2,000
廿八歲	2	2,000	2,000
廿七歲	2	2,000	2,000
廿六歲	2	2,000	2,000
廿五歲	2	2,000	2,000
廿四歲	2	2,000	2,000
廿三歲	2	2,000	2,000
廿二歲	2	2,000	2,000
廿一歲	2	2,000	2,000
廿歲	2	2,000	2,000
十九歲	2	2,000	2,000
十八歲	2	2,000	2,000
十七歲	2	2,000	2,000
十六歲	2	2,000	2,000
十五歲	2	2,000	2,000
十四歲	2	2,000	2,000
十三歲	2	2,000	2,000
十二歲	2	2,000	2,000
十一歲	2	2,000	2,000
十歲	2	2,000	2,000
九歲	2	2,000	2,000
八歲	2	2,000	2,000
七歲	2	2,000	2,000
六歲	2	2,000	2,000
五歲	2	2,000	2,000
四歲	2	2,000	2,000
三歲	2	2,000	2,000
二歲	2	2,000	2,000
一歲	2	2,000	2,000
合計	356	356,800	356,800

合	無職	雜業
計	業	業
二八	二	三
一九五,四〇〇	四,八〇〇	二,〇〇〇
元	三	一
一五,三〇〇	七〇〇	一
一	一	一
一,〇〇〇	一	一
四〇	四	四
一四,一〇〇	二,〇〇〇	五〇〇
三五六	三	六
三五,八〇〇	七,五〇〇	二,五〇〇

現契約被保人保險證書券面類別表

證書券面	保險種類		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
	尋常終身	有限掛金終身																
壹百圓	八	五	八	六〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
貳百圓	三	三	六	一,四〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
參百圓	一	一	二	三,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
肆百圓	一	一	二	四,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
伍百圓	一	一	二	五,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
陸百圓	一	一	二	六,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
柒百圓	一	一	二	七,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
捌百圓	一	一	二	八,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
玖百圓	一	一	二	九,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
壹千圓	一	一	二	一〇,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
合計	二九	二九	五八	一五五,四〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇

首表ノ總額ニ比シ人員ノ超過セルハ壹人ノ被保人ニシテ證書券面二種以上ニ跨ルモノヲ契約セルニヨル

現契約被保人現住國名類別表

國名	保險種類		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
	尋常終身	有限掛金終身												
山城	三	二	五	一〇,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇
大河	一	一	二	八,九〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇	一	一,五〇〇
和泉	一	一	二	三,三〇〇	一	九,四〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇
伊勢	一	一	二	三,三〇〇	一	九,四〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇	一	一,七〇〇
武藏	一	一	二	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇
近江	一	一	二	一五,四〇〇	一	一,九〇〇	一	三,五〇〇	一	三,五〇〇	一	三,五〇〇	一	三,五〇〇
美濃	一	一	二	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇
播磨	一	一	二	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇
備前	一	一	二	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇
備中	一	一	二	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇
合計	二九	二九	五八	一五五,四〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇	一	一,〇〇〇

第二類 人保險之部

合 計	安 藝	紀 伊	土 佐	筑 前
三六	一	二	三	一
一五、四〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二九	一	四	一	一
一五、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一	一	一	一	一
一、〇〇〇	一	一	一	一
四	一	九	一	一
一四、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三六	一	二	三	一
三三、八〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

大日本生命保險會社

明治二十二年

日本生命保險會社設立願

今般別冊定款及ヒ規則ニ基キ資本金貳拾萬圓ヲ以テ日本生命保險會社設立仕度候間御允可被成
下度此段發起人物代連署ヲ以テ奉願上候以上

發起人物代

神奈川縣相模國高坐郡藤澤大阪町

千八百五拾三番地平民醫

角 倉 賀 道 印

同縣同國鎌倉郡村岡村彌勤寺

五百二十八番地平民農

山 下 八 藏

神奈川縣相模國鎌倉郡瀬谷村

四百四拾六番地平民商

露 木 昌 平 印

明治廿二年六月七日

設立願 (443)

東京府神田區東紺屋町四拾八番地
平民醫

原 田 貞 吉印

東京府下神田區表神保町貳番地

平民醫

清 水 近 藏印

東京府下京橋區越前堀貳丁目四番地

平民商

中 嶋 八 三 郎印

東京府知事 男爵 高 崎 五 六 殿

前書之通願出ニ付奥印候也

元東京府京橋區長

林

厚

徳印

有限大日本
責任日本生命保險會社定款

〔本定款ハ明治二十二年九月十四日及ビ同年九月二十六日ノ兩度届出改正ス、傍線ノ文字削除、小字ノ通り追加訂正〕

第壹章 總 則

第壹條 當會社ノ名稱ハ日本生命保險會社ト稱シ生命保險ノ業ヲ營ムモノトス

第貳條 當會社ハ本社ヲ東京府京橋區北新地五番地東京府京橋區越前堀貳丁目四番地ニ設置シ追テ各地ニ支社又ハ代理店

ヲ設クルモノトス

第三條 當會社ハ有限責任ニシテ會社負債辨償ノ爲メ株主ニ負擔スヘキ義務ハ株金拂込金額ニ

止マルモノトス

第四條 會社營業年限ハ認可ノ日ヨリ滿五拾ケ年トス

但シ滿期ニ至リ株主ノ決議ヲ經且ツ府廳ノ承認ヲ得ルニ於テハ猶繼續スルコトアルヘシ

第五條 當會社ノ業務ハ此定款ニヨリ正副社長及ビ取締ニ任シテ管理セシムヘシ

第貳章 資 本 金

第六條 當會社ノ資本金ハ三拾五萬圓貳拾萬圓ト定メ之ヲ七千株四千株ニ分チ則五拾圓ヲ以テ壹株トシ發起人ニ

於テ四分ノ一ヲ負擔シ其餘ハ募集スヘシ

第七條 株金ハ壹株ニ付最初金五圓ヲ拂込ミ自後毎年金五圓宛都合拾回ヲ以テ完納トス

但シ次回ノ拂込ハ社長ニ於テ期日ヲ定メ各株主ニ報告ス可シ最モ營業ノ景況ニヨリ例式總

會ノ決議ヲ經テ拂込年限ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六條 當會社株券ハ最初金五圓ヲ拂込タル時交附ス而シテ第二回以後ノ拂込金額モ總テ本株券ニ記入スルモノトス

但シ株券ニハ正副社長及ヒ検査員記名調印スルモノトス

第七條 株主若シ株金ノ拂込ヲ延滞スルキハ其金高ニ對シ日歩利息ヲ徵收スベシ最モ其日數六十日以上ニ及フ時ハ當會社ニ於テ該株式ヲ公賣ニ付スヘシ

但シ本條ノ場合ニ於テハ其賣却ニ關スル諸入費及ヒ延滞日歩ヲ計算シ餘剩アレハ之ヲ還付シ不足アレハ之ヲ追徵スヘシ

第八條 本邦在籍人ニシテ此定款ヲ確守シ當會社ノ株券ヲ引受クルモノハ何人タリモ株主タルノ權利ヲ得

第九條 資本金及ヒ保險準備金ハ其拂込金高ノ十分ノ三以上ヲ公債證書或ハ通貨ヲ以テ當會社ニ備置キ其他ノ金圓ハ確實ナル方法ニ依リ利息ヲ收入スルノ方法ヲ設クヘシ

第三章 營業

第十二條 當會社ノ營業ハ尋常終身保險、養老保險、定期保險、子女教育資ノ四種類ヨリ着手シ漸次其他ノ生命保險事業ヲ營ムモノトス

第十三條 當會社ノ營業時間ハ毎日午前八時ヨリ午後四時迄トス最モ日ノ長短ニ依リ伸縮スルヲアルヘシ

但シ日曜日大祭日祝日ハ休業トス

第四章 役員

第十四條 當會社ハ左ノ役員ヲ置ク

社長 壹名

副社長 壹名

取締役 五名以上拾五名以下

検査員 貳名

支配人 未定員

職員 貳名以上 貳名乃至三名

會計 未定員

書記 未定員

第十五條 取締役ハ當會社株式三拾株以上ヲ所有スル株主中ヨリ投票ヲ以テ五名以上拾五名以

下ヲ撰舉シ而シテ取締ノ互撰ヲ以テ社長壹名副社長壹名検査員（役）貳名ヲ定ムヘシ

第十六條 正副社長取締役及検査役ノ任期ハ滿壹ケ年トシ滿期ニ至レハ再撰重任スルヲ得

第十七條 取締及ヒ検査員ハ毎年一月例式總會ニ於テ其半數ヲ改選ス可シ

但シ再撰スルヲ得

第十八條 正副社長ハ所有ノ株券五拾株取締及ヒ検査員（役）ハ三拾株ヲ當會社ニ預ケ置キ當會社ハ其賣買ヲ禁シ之ヲ保護ス可シ

第五章 會 議

第十九條 會議ハ例式總會臨時會及ヒ協議會ノ三種トシ毎年一月七月ノ兩度ニ開クヲ例式總會

臨時ニ開クヲ臨時會正副社長及ヒ取締検査員（役）ノ會スルヲ協議會トス

第二十條 例式總會ハ前半年度ニ係ル本社ノ事績及ヒ損益精算ヲ報告シ役員改撰利益配當其他

諸般ノ事ヲ商議スルモノトス

第二十一條 臨時會ハ株主三分ノ一（第四十六條ノ投票權ニ依ル）以上ノ請求アルカ又ハ役員ニ於テ必要ト認ム

ル事情アル時ハ協議會ノ決議ヲ經テ之ヲ開クモノトス

但シ株主ヨリ請求アリシ場合社長ニ於テ申込ミノ日ヨリ二週間無謂開會セザルハ請求者

自ラ招集開會スルヲ得ヘシ

第二十二條 協議會ハ毎月一回本社ニ開キ營業上利害得失及ヒ事務上ニ係ル一切ノ事柄ヲ議ス

ルモノトス

第二十三條 例式總會ハ株主半數（第四十六條ノ投票權ニ依ル）以上出席スルニアラサレハ之ヲ開クヲ得ス

第二十四條 總テ會議ハ報告ヲナシ期日ニ至リ半數ニ滿タサル時ハ之ヲ解散シ再ヒ報告シテ臨

席セサル時ハ出席員丈ケニテ議決ヲ取ルヲ得

但シ株主請求ノ臨時會ハ招集再度ニ及フモ尙出席員定數ニ滿タサルハ其議按ハ廢棄スヘシ

第二十五條 會議長ハ社長之ニ充ツ若シ事故アルハ副社長之ヲ勤ム可シ

第二十六條 會議ノ議決ハ同意ノ多數ニ依ル意見同數ニ分ル、時ハ議長之ヲ決ス

第二十七條 會議ニ出席シ難キ者ハ（當會社ノ株式ヲ有スル者ヲ代人トシ差出ス可シ）相當ノ手續キテ經テ代人ヲ差出ス可シ若シ然ラサレハ當日

議決ノ件ニ付後日異議ヲ唱フルヲ得ス

第六章 役員職務上ノ責任權限

第二十八條 社長ハ當社諸般ノ事ヲ總理シ營業上一切ノ責ニ任ス

第二十九條 副社長ハ社長ヲ補佐シ社長事故アルハ之レカ代理ヲ勤ムヘシ

第三十條 社長ハ協議會ノ決議ヲ經テ支配人以下ノ役員ヲ任免シ其俸給ヲ定メ及ヒ毎期役員賞

譽金ヲ附與スル權ヲ有ス

第三十一條 社長ハ保險申込ヲ許諾シ保險料ノ割増ヲ定メ保險解約ヲ處分シ保險證書買上ノ請求ヲ受理シ犯則者

ノ保險料ヲ沒收シ支社代理店ノ廢置ヲ決定シ既ニ領收シタル保險料増殖ノ方法ヲ圖ルノ權ア

ル可シ

第三十二條 取締役及ヒ検査員ハ正副社長又ハ同僚中ニ於テ本社ニ對シ不當ノ行爲アリト認ム

ルハ株主臨時會ヲ開キ出席株主(第四十六條ノ投票權ニ依リ)ノ決議ニ依リ之ヲ退職セシムルヲ得

第三十三條 取締役ハ會社一切ノ業務ヲ監察シ且ツ營業上ノ事ニ付意見ヲ社長ニ陳ヘ同僚ノ衆

議ヲ以テ臨時會ヲ催スノ權アルモノトス

第三十四條 検査員ハ本社ノ會計ニ注意シ簿記計算及ヒ金錢物品ノ出納ヲ證明スルノ責ニ任ス

第三十五條 支配人ハ正副社長ノ指揮ニ從ヒ職員ノ勤怠ヲ監督シ取締及ヒ検査員ニ意見ヲ陳ヘ

且ツ保險事務一切ノ責ニ任ス

第三十六條 醫員ハ保險申込人ヲ診査シ意見ヲ付シテ社長ニ報告シ其他醫事諸般ノ事務ヲ擔任

ス

第三十七條 會計員ハ本社金錢出納ノ事ヲ擔任ス

第三十八條 書記ハ諸帳簿ヲ整頓シ支配人ノ指揮ニ從ヒ保險事務ヲ取扱フモノトス

第三十九條 社長正副社長取締役検査員ハ名譽職トシ報酬金ヲ給ス

但シ報酬金ハ協議會ノ決議ニ依テ之ヲ定ム

第四十條 名譽職ヲ除ク他役員ノ給料ハ協議會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 役員禁例

第四十一條 當會社役員ハ會社ノ金錢物品ヲ規定外ニ使用スヘカラス又當社ノ爲會社印章ナキ

各自一己ノ證書ヲ用ユ可ラス若シ不當ノ行爲ヨリ損害ヲ生シタルハ之ヲ辨償スルノ義務ア

ルモノトス

第四十二條 支配人以下役員万一不正ノ行爲アリテ本社ノ損失ヲ生スルハ本人ヲシテ賠償セ

シメ本人其義務ヲ果ス能ハサルハ身元保證人ヲシテ辨償セシム可シ

第八章 株主ノ權利

第四十三條 株主ハ本社營業時間何時ニテモ本社ニ來リ諸帳簿ヲ閱覽スルノ權アル可シ

第四十四條 株主ハ常ニ營業ノ景況ニ注目シ當社ノ利害ニ關スル意見アルハ何時タリモ協議

會ニ建議ス可シ

第四十五條^二 株主ハ當社役員ニ於テ不適當ノ行爲アリト認ムルキハ第^{十八}貳拾條ノ手續キテ經テ臨時會ヲ開キ責問シ且退職セシムルノ權アルベシ

第四十六條^三 株主ハ總テ會議ニ於テ投票ヲ爲スニ當リ其所有ノ株數五株以上拾株迄ハ壹個ノ投票權ヲ有シ拾株以上拾株毎ニ壹個ノ發言投票權ヲ有スルモノトス

但シ數人集テ五株以上ニ至ルキハ一名ノ總代人ヲ選出シ壹個ノ發言投票權ヲ有サシムルモノトス

第四十七條 株主ハ所有ノ株券ヲ抵當トシ本社ヨリ金圓ヲ借用スルコトヲ得然レモ場合ニ依リ之ヲ制限スルコトアルヘシ

但シ本社ヨリ貸與スル金額ハ株金拂込金額ニ止メ相當ノ利子ヲ拂ハシムヘシ

第四十八條^四 株主ハ第九章第五拾條ノ手續ヲ經ルニ於テハ其所有株式ヲ賣買讓與スルコトヲ得

第四十九條^五 株券磨滅敗裂等ノコトアルキハ其趣ヲ書面ニ認メ書換ヲ請フベシ又燒亡紛失等ノコトアルキハ其事實ヲ明瞭ニ認メ證人貳名以上ノ連署ヲ以テ更ニ株券ノ交付ヲ請フ可シ

但シ書換手数料トシテ壹株ニ付金參拾錢宛徴收スヘシ

第五拾條^{四十六} 株券ノ燒亡又ハ紛失等ノ場合ニ於テハ本社ハ之ヲ新聞紙ニ廣告シ三十日ヲ經テ新株券ヲ交付スヘシ

但シ廣告料ハ其株主ヨリ本社ニ支辨スルモノトス

第九章 株式賣買讓與

第五十一條^{四十七} 本社ノ株式ヲ賣買セント欲スル者ハ雙方連署ニ書面ヲ添ヘ本社ニ差出ス可シ本社ハ帳簿ニ照合シタル上姓名ヲ書改メ賣買讓與ヲ承認ス可シ若シ本條ノ手續ヲ爲サザル者ハ會社ニ對シ賣買讓與ノ効ナキ者トス

但シ書換手数料ハ壹株ニ付金五錢宛徴收スヘシ

第五十二條^{四十八} 例式總會前二十日間ハ株券ノ書換ヲ停止スヘシ

第十章 會計

第五十三條^{四十九} 本社ハ毎年一月七月ノ兩度ニ於テ前六ヶ月間出納損益ノ精算ヲ株主ニ報告スヘシ

第五十四條^{五十} 利益金配當ノ割合ハ左ノ定款ニ準ス可シ

其一 資本金ヨリ生スル利子ハ毎年兩度之ヲ株主ニ配當スヘシ

第二類 人保險之部

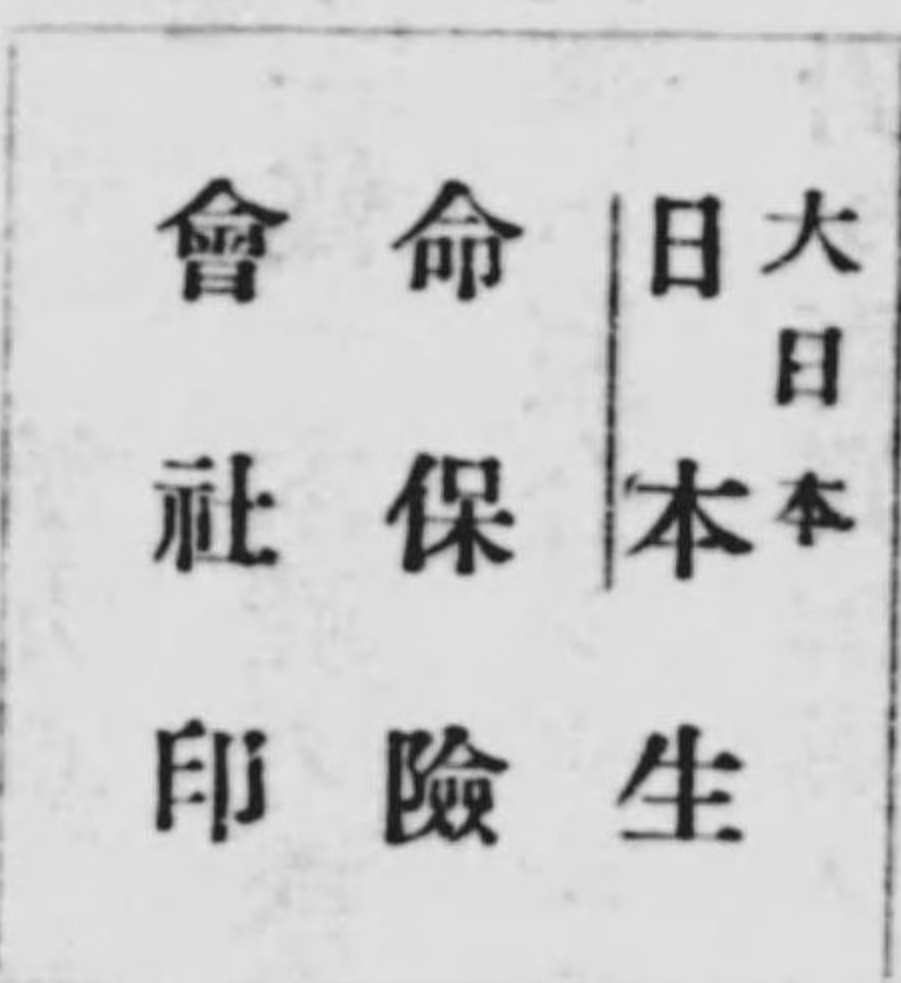
一一八

其二 被保人ヨリ徴收スル保険料及ヒ之ヨリ生スル利子ヲ計算シ後年支出スヘキ保険金ヲ豫定シ充分ナル保險準備金ヲ積立然ル後其殘額ヲ株主ニ配當ス可シ
但シ死亡人又ハ滿期ノ被保人ヘ交付スヘキ保險金ハ勿論當會社諸般ノ經費ハ一切收入セシ保險料及ヒ之レヨリ生スル利子ヲ以テ支弁スルモノトス

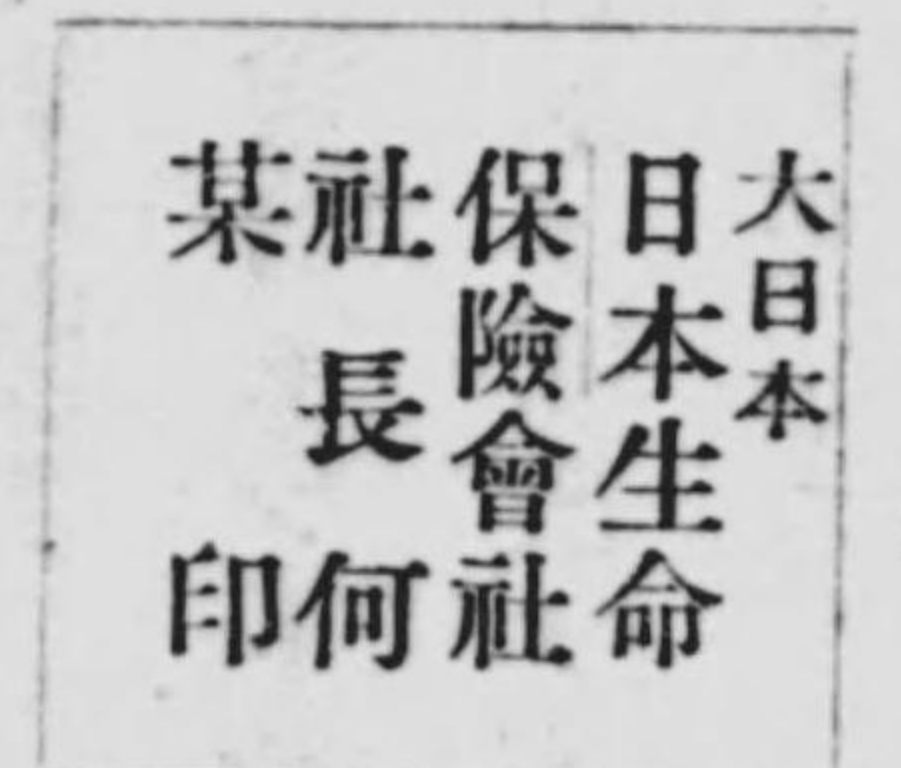
第十壹章 印章

第五十五條 當會社ニ於テ使用スル印章ハ左ノ如シ

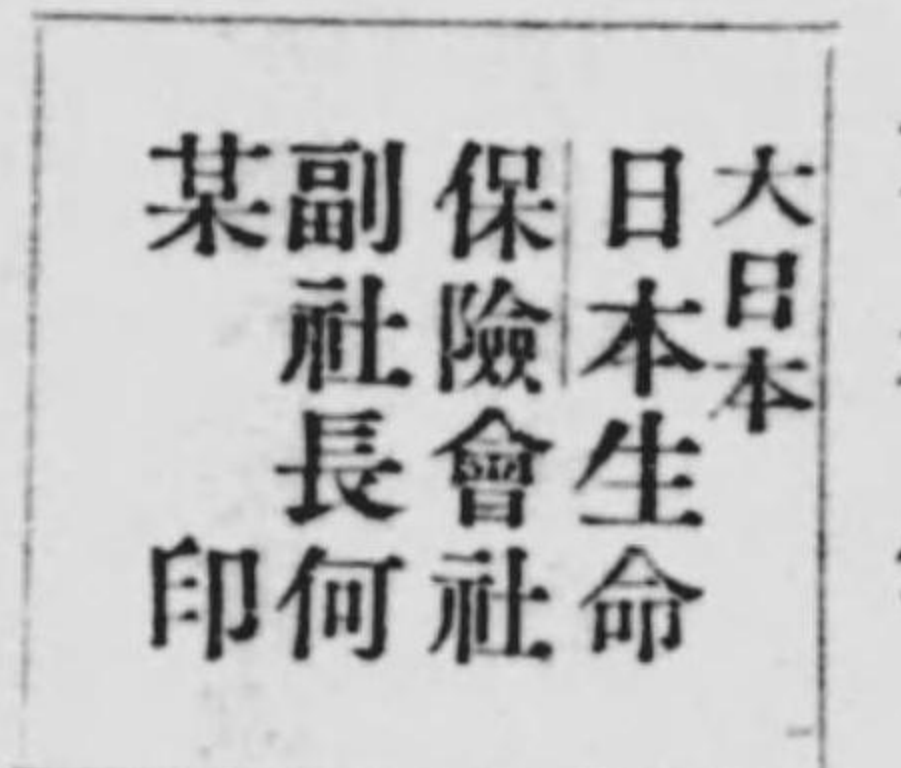
方一寸五分



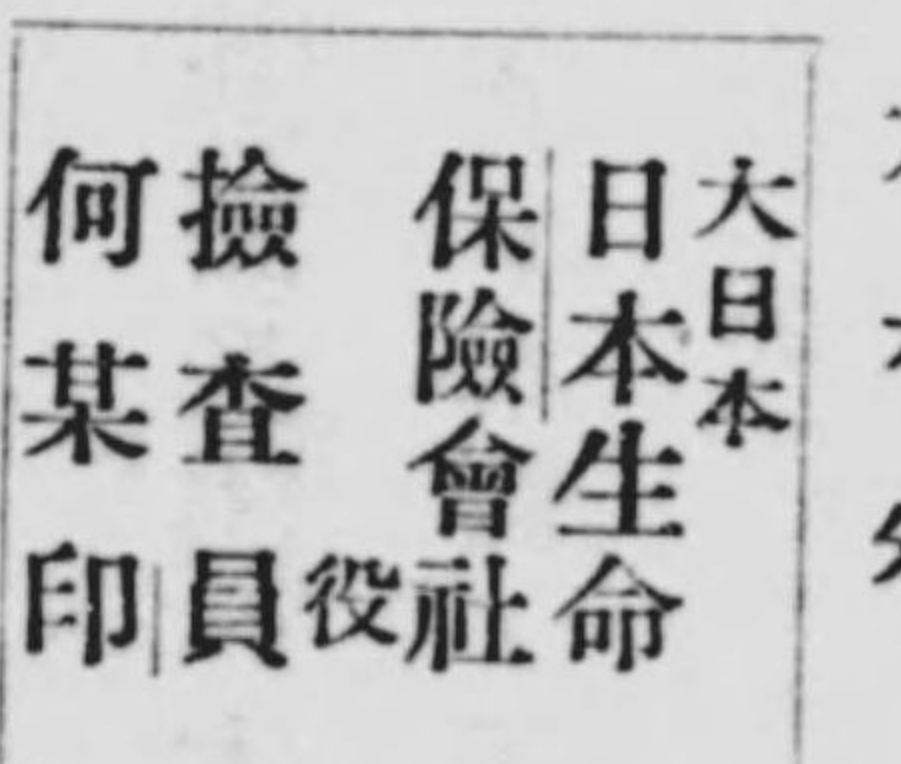
方六分



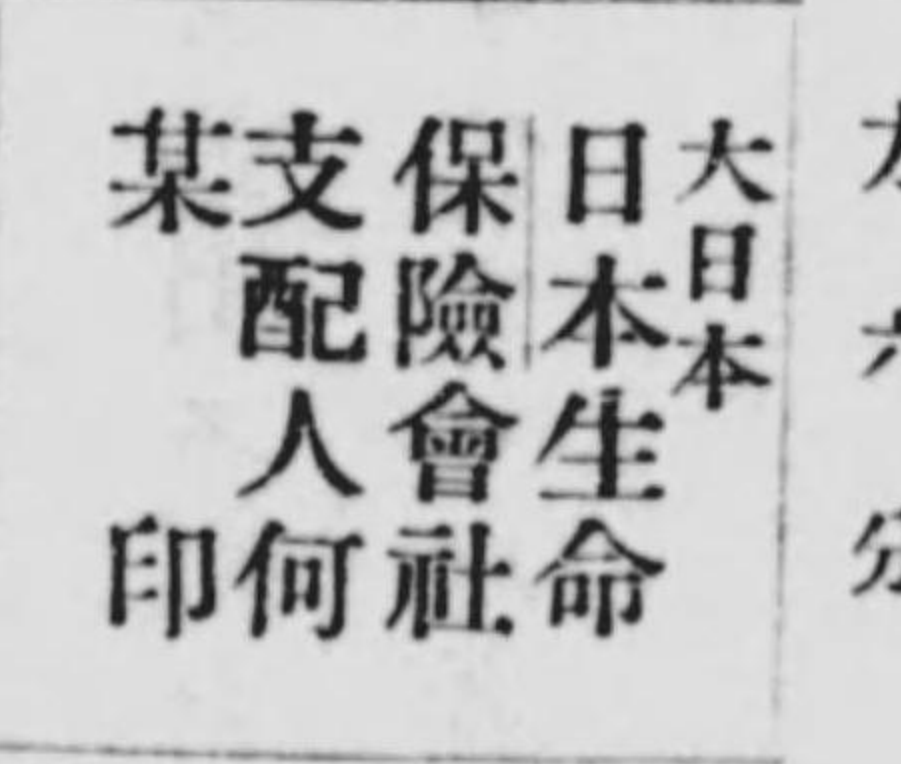
方六分



方六分



方六分



大日本 日本生命 保險會社 印

壹寸

第五十六條 本社ノ印章及ヒ社長以下前項ニ登載スル印章ハ其印鑑帳ヲ造リ之ヲ其筋ヘ届ケ置

キ若シ改刻スル片モ亦速ニ之ヲ届ケ置クヘシ

第五十七條 營業上契約ノ諸證書類又ハ重要ナル文書等ハ本社ノ名ヲ以テシ會社印ヲ押捺シ正

副社長之ニ調印シタル上檢査員及ヒ支配人連署スル者トス

但シ契約書ニハ必ス實印ヲ押捺スルモノトス

第五十八條 營業諸規則及ヒ會議ノ錄事ハ社長或ハ副社長及ヒ檢査員取締各之ニ調印シテ保存

ス可シ

第五十九條 此定款ハ例式總會ノ決議ニ依リ増減改正スルコトヲ得此場合ニ於テハ府廳ノ承認ヲ

得テ實施スルモノトス

右之條々議定シタル證據トシテ各記名調印スル者也

發起人物代

神奈川縣相模國高坐郡藤澤大阪町

千八百五十三番地平民醫

角倉賀道印

明治二十二年六月七日

第二編 會社資料

一一九

- 同縣同國鎌倉郡村岡村彌勤寺
五百二十八番地平民農
山下八藏印
- 同縣同國同郡瀬谷村四百四十六番地
露木昌平印
- 東京府下神田區東紺屋町四拾八番地
平民醫
原田貞吉印
- 東京府下神田區表神保町二番地
平民醫
清水近造印
- 東京府下京橋區越前堀貳丁目四番地
平民商
中嶋八三郎印

保險規則

第一條 會社資金

一 本社ハ資本金貳拾萬圓ヲ置キ非常ノ損失ニ備フルモノトス
但シ其責任ハ資本金限リトス

第二條 生命保險ノ種類

- 第一 尋常終身保險 被保人其存命中別紙第一表ニ定メタル保險料ヲ拂込ノ契約ヲ結ヘハ僅カニ壹度ノ拂込ヲナシタル後直ニ死去スルモ遺族ニ契約ノ金高ヲ渡スノ法ナリ
- 第二 養老保險 第二表ニ示スカ如ク五十歲五十五歲六十歲六十五歲等ノ年齢ニ至レハ被保人契約面ノ金額ヲ請取リ老後餘生ヲ送ルノ資トナスノ法ナリ若シ被保人約束ノ期限ニ至ラスシテ死去スル時ハ直チニ遺族ニ契約ノ金高ヲ拂ヒ渡シ其時限リ保險料ヲ拂ヒ込ムニ及ハス
- 第三 定期終身保險 尋常終身保險ハ被保人存命中ハ幾年ニテモ保險料ヲ拂ヒ込ムノ法ナレモ此保險ハ三年五年十年ノ年期ヲ限リ保險料ヲ拂込ムノ法ニシテ其年期過クレハ保險料ヲ拂ヒ込ムニ及ハス死後遺族ニ契約面ノ金高ヲ渡スヲ尋常終身保險ノ如シ若シ拂込年限中被保人死去スルモ契約面ノ保險金ヲ渡スモノトス其拂込割合第三表ニ示スカ如シ

第四 子女教育資 子女ノ教育資費又ハ婚姻費等ニ供スル積立金ニシテ子女十四歳或ハ十八歳等約束ノ年限ニ至リ契約ノ金高ヲ渡スモノナリ若シ中途ニシテ子女死去スルカ又ハ掛金拂込ヲ爲シ能ハサル時ハ拂込ミタル元金ヲ戻ス可シ其掛金表第四ニ示スカ如シ

第三條 保險ノ契約

一 會社ト生命保險ノ契約ヲ結ハント欲スル者ハ東京ハ本社各地ハ支社或ハ代理店ニ來ル可シ
本支社或ハ代理店ハ下葉ニ掲載スル保險申込證書ヲ差出サシメ醫師ヲシテ其被保人ノ体格ヲ
検査セシメ然後保險ノ契約ヲ結フヘシ若シ其保險申込證書ニ記載シタル箇條中詐偽或ハ隱蔽
ノ廉アレハ其契約ハ無効タルヲ以テ他日被保人若クハ保險金受取人若クハ何人タリモ會社ニ
向テ保險金ヲ要求スルヲ得ス其保險證書ハ全ク無効ノ廢紙タル可シ

一 保險申込證書用紙ハ本社支社及ヒ代理店ニ備ヘ置ク可シ若シ自宅ニテ申込證書ヲ作り持參
セント欲スル人ニハ用紙ヲ送附スヘシ

一 被保人ノ体格虛弱ナルキハ醫師ノ診査ニ由リ其保險ヲ斷リ或ハ保險料ヲ割増シテ契約ヲ結
フ可シ

一 支社或ハ代理店ヲ設ケサル地方ニ於テ數多ノ被保人アルキハ社員出張シテ保險契約ヲ結フ

可シ

一 本社支社代理店ニ來テ醫師ノ診査ヲ受クル者ハ診査料ヲ要セスト雖モ來診ヲ請求スル者ハ
相當ノ診査料ヲ拂フ可シ

但シ子女教育資ニ限り醫師ノ診査ヲ要セス

一 被保人ハ豫メ保險金請取人ヲ定メ置ク可シ

但シ請取人ハ其父母妻子兄弟朋友何人ニテモ差支ナシ

一 被保人保險契約ヲ結ヒシ後事故アリテ保險金請取人ヲ替ヘント欲スレハ其旨ヲ會社ニ通知
シテ保險證書ノ書替ヲ請求ス可シ然ルキハ會社ハ印紙税ノ外保險證書壹枚ニ付金五拾錢ノ書
替料ヲ拂ハシム可シ

一 教育資ハ滿年ヲ以テ年數ヲ計算スルヲ以テ生後直チニ(十四年請取)ノ契約ヲ結フキハ滿十
四歳ニシテ契約ノ金額ヲ拂ヒ渡シ(十八年請取)ノ契約ヲ結フキハ滿十八年ニシテ契約ノ金額
ヲ拂ヒ渡ス者トス

一 壹人ニテ數種ノ保險ヲ契約スルハ妨ケナシト雖モ其種類ヲ合シテ金五千圓ヲ限リトス

一 被保人ノ年齢ハ最近ノ月數ニ從フモノトス例ヘハ二十年六ヶ月迄ヲ二十年トシ二十年七ヶ

月以上ヲ二十一年ト算スルモノトス

一 被保人住所ヲ轉セシキハ其都度會社ニ通知スヘシ

第四條 保險申込證書式

第一 被保人ノ原籍住所族籍姓名被保人ト保險契約人ト別人ナレハ其理由

第二 被保人ノ職業

第三 被保人誕生ノ年月日及ヒ場所

第四 被保人ノ年齢

第五 被保人配偶ノ有無及ヒ結婚ノ年齢月日

第六 被保人ハ天然痘ニ罹リシヤ又種痘ハ幾年ニ幾回ナセシヤ

第七 被保人ハ飲酒吸烟癖ノ有無並ニ嗜好ノ度

第八 被保人ノ保險ノ種類

第九 保險金ノ高

第十 保險料ハ毎年一回半年三ヶ月又一ヶ月拂ナルヤ

第十一 保險金請取人並ニ請取人ト被保人トノ關係

第十二 被保人ハ嘗テ本社ニ生命保險ノ契約ヲ結ヒシコトノ有無若シ有ラハ其年月並ニ保險ノ種類金高保險證書ノ番號

第十三 被保人ハ他ノ生命保險會社ニ生命保險ノ契約ヲ結ヒシコトノ有無、若シ有ルキハ其年月日保險ノ種類保險金高保險證書ノ番號

第十四 被保人ハ海外ニ渡行スルノ目的アルヤ否ヤ若シ有ルキハ何國ニ至リ何業ニ從事スルヤ

第十五 被保人ノ實父母ノ存不存及ヒ年齢若シ既ニ死去シタレハ死去ノ年齢及ヒ病名

第十六 被保人ノ兄弟幾人内生死何人並ニ死去ノ年齢病名

第十七 被保人ノ姉妹幾人内生死何人並ニ死去ノ年齢病名

第十八 被保人ノ容貌顔色性質及ヒ身體中異狀ノアルヘキ廉

第十九 被保人現今疾病ノ有無

第二十 被保人ノ軀重

第二十一 被保人身ノ丈ケ

第二十二 被保人ハ肺臟病心臟病其他胸部ノ病ニ罹リタルコトナキヤ若シ罹リタルコトアルキハ其年月日病狀主治醫ノ住所姓名

第廿三 被保人ノ血族ニ遺傳ノ諸病ナキヤ若シ有ルハ其病狀

第廿四 被保人ノ血族ニ請神病ナキヤ

第廿五 被保人ハ幼年ヨリ病ニ罹リ醫師ノ治療ヲ受ケタル有無、若シ有ルハ其年月日主治醫
ノ住所姓名

右ノ條々聊カ相違無之候間貴社ニ於テ被保人何某ノ生命保險ノ契約ヲ取結ブ事ヲ承諾被致候上
ハ契約人何某ヨリ毎年(或ハ每半年或ハ每三ヶ月或ハ毎月)保險料金何圓ヲ貴社ヘ拂込ミ被保人
死去候節ハ貴社ヨリ保險金何千何百圓ヲ保險金請取人ヘ拂渡サレ度候万一此保險申込書中詐偽
又ハ隱蔽ノ廉アルカ又ハ拙者共ニ於テ貴社ノ保險規則ニ記載シタル箇條ニ違背スル事アラバ拙
者共ハ保險金ヲ要求スルノ權利ヲ失ヒ且ツ貴社ヘ拂込タル保險料ハ全ク損失ト相成候共決シテ
故障等申間敷爲後證依テ如件

明治 年 月 日

住所 族籍
保險契約人 姓名 名印

同 被保人 姓名 名印

同 證人 姓名 名印

證人 姓名 名印

有限 日本生命保險會社
責任 御中

第五條 保險料拂込ノ事

- 一 保險料ハ保險證書ノ券面ニ從ヒ拂ヒ込ム可キ者トス若シ後來本社ニ於テ營業ノ景況ニ依リ
保險料ヲ改正スル事アルモ一旦契約セシ被保人ハ該證書ノ券面ニ從ヒ變更スルコトナシ
- 一 保險料ハ毎年ノ始メニ前金ニテ拂込ムヘキ者トス
- 一 當會社ニテ年ノ始メト云フハ一月一日ヲ云フニ非ス最初保險ノ契約ヲ結ヒタル時保險證書
ニ記シタル月日ノ事ニシテ例ヘハ最初保險ノ契約ヲ結ヒタル日五月一日ナレハ五月一日ヲ
以テ年ノ始メトシ毎年其日迄ニ其年度ノ保險料ヲ拂フヘシ總テ當會社ニテ壹年ト云フハ最
初契約ヲ結ヒタル日ヨリ翌年ノ其日迄ヲ示スモノナリ

一 被保人便利ノ爲メ半年或ハ三ヶ月或ハ毎月保険料ヲ拂込ムノ法ヲ設クレ右ニ謂フカ如ク
保険料ハ壹ケ年分前年ニテ拂込ムヲ規則トスルニ依リ半年三ヶ月毎月等ニテ保険料ヲ拂込ム
被保人其年度ノ保険料皆済ニ至ラスシテ死去スルキハ保險金ヲ渡ス時其中ヨリ保險料拂込不
足ノ分ヲ引去ル可シ

一 保險料領收證書ハ會社ノ社長或ハ副社長支配人記名調印スヘシト雖モ各地支社或ハ代理店
ニテ保險料請取ノ取次ヲ爲スルハ其支社或ハ代理店ノ印章ヲ捺シタル領收證書ヲ渡ス可シ

第六條 保險料拂込延滞ノ事

一 保險料ハ期日迄ニ拂込ム可者トス若シ止ムヲ得サル事故アリテ其拂込延滞スル時ハ其日數
九十日以内ハ相當ノ利子ヲ拂ハシメ保險ノ契約ヲ繼續スト雖モ若シ九十一日以上ニ及フ者ハ
本社ニ於テハ保險契約ヲ解除セシ者ト看做シ既ニ本社ヘ拂込ミタル金額ハ被保人ノ損失タル
可シ

第七條 解約並ニ拂濟證書ノ事

一 滿三年以上保險料ヲ拂込ミタル後被保人ノ都合ニ依リ解約ヲ要求スル時ハ保險料拂込額ノ
二分ノ一ヲ割戻シ契約ヲ解ク可シ若シ右保險ノ契約ヲ解ク時被保人割戻金ヲ請取ラスシテ其

拂込金高限リニテ更ニ相當ノ保險金ヲ得キ契約ヲ結ハント欲スル者ハ會社ハ拂濟保險證書
ヲ渡ス可シ然ル時ハ保險料ノ拂込ミヲ爲サスシテ契約ノ時ニ至リ約束ノ保險金ヲ請取ル事ヲ
得可シ

第八條 死去ノ報告並ニ保險金交付ノ事

一 被保人死去スル時ハ其旨ヲ本社ニ報告ス可シ本社ハ其報告ヲ得次第直チニ死亡報告書用
紙ヲ送附スヘキニ付之ニ必要ノ箇條ヲ記入シ醫師保險金請取人並ニ最初保險申込ノ時證人ト
ナリタル者貳名(若シ其證人死去スルカ或ハ遠方ニ旅行シテ不在ノ時ハ別ニ貳名ノ證人ヲ設
クルモノトス)記名調印シテ本社ニ送ル可シ本社ハ之レヲ受取リタル後五十日以内ニ(遠方
ノ地ハ郵便往復日數ヲ除ク)保險證書ト引替ヘ保險金ヲ渡ス可シ

第九條 自殺、死刑ノ事

一 被保人自殺シ若クハ裁判所ノ宣告ニ依テ死刑ニ處セラレ又ハ不正ノ所業ヨリ自ラ死ヲ招キ
タル者ニシテ滿三年以上保險料ヲ拂込ミシ者ハ其保險契約無効ニ屬シ只タ拂込金高二分一ヲ
拂戻ス可シ

第十條 住所旅行及ヒ職業ノ事

- 一 當會社ノ被保人ハ日本國內何レノ地ニ住居又ハ旅行スルモ妨ケナシト雖モ若シ外國ニ渡航セント欲スル者ハ發足前ニ其旨ヲ會社ニ通知ス可シ會社ハ保險料ノ割増ヲ出サシムヘシ
- 一 陸海軍々人警察官ハ通常ノ保險料ニテ保險ノ約束ヲ結フト雖モ若シ戰場ニ臨マル、時ハ保險料ノ割増ヲ要スルヲ以テ其前會社ニ通知ス可シ
- 一 蒸汽機關ヲ取扱ヒ又ハ火藥製造ニ從事シ又ハ軍艦商船等ニ乗組ミ航海ヲ業トスル人々ハ些少ノ保險料割増ヲ要ス可シ

但シ支那朝鮮及ヒ亞西亞洲内ナル露西亞領ノ諸港ニ往復スルヲ業トスル者ハ前以テ往復ノ諸港ヲ會社ニ通知シ置ケハ其都度通知スルニ及ハス

- 一 被保人其職業ヲ轉シテ陸海軍々人トナリ又ハ蒸汽機關取扱ヒ又ハ火藥製造及ヒ航海等危險ノ業ヲ營ムルハ必ス其轉業ノ旨ヲ會社ニ通知スヘシ時宜ニ依リ保險料ノ割増ヲ要ス可シ

第拾壹條 保險料拂込表ノ事

- 一 下葉ニ記シタル尋常終身保險金拂込表中年齡ノ所ニ一五トアルハ十五歳ノ事ニシテ其下ニ一、五三トアルハ壹圓五拾三錢ノ事ナリ故ニ被保人存命中毎年壹圓五拾三錢ヲ拂込メハ死後百圓ノ保險金ヲ得ル者トス

但シ半年三ヶ月毎月拂込等ニテモ保險金ヲ得ルハ本文ニ同シ

- 一 右ノ如ク保險金ハ總テ百圓ニ付テノ割合ヲ示シタル者ナレハ保險金千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ右ニ準シ保險金拂込表ニ記載シタル額ニ十倍ヲ拂ヒ五千圓ヲ得ルノ契約ヲ結フニハ五十倍ノ拂込ヲ爲スヘシ

六五五五五五五五五 〇九八七六五四三二一	五四四四四四四四四 〇九八七六五四三二一	四三三三三 〇九八七六
六六六五五五四四四 五二〇六四二九七五三 一九〇二六一七四四五	四四三三三三三三三 一〇八七五四三二一〇 七二六二九七五三四四	二二二二二 九八七六六 四六七九一
三三三二二二二二二 三二一九八七五四三二 八七二二三〇八六六六 五一〇二九九四五一二	二二二一一一一一一 一〇〇九八八七六六五 六九〇三六〇四八三八 八〇七四七四二〇三一	一一一一一 五四四三三 二八四九五 九七〇九七
七六六五四三三二二一 四八〇〇六九二六一六 一三五三一四九八四四	一〇〇九九八八八八 一七三九六二九六四一 五五三五〇八六四〇三	七七七七六 八六四二九 六五一〇八
五五五五五五五五五 九七五一〇七五三一九 七七〇五一八六五六九	三三三三三三三三三 八六五四二一〇九八七 二九四一九八七六八九	二二二二三 七六五四三 〇二四七九

三三三三三 五四三二一	三二二二二二二二二二二 〇九八七六五四三二一	二一一一一一 〇九八七六五	年 齡
二二二二二 五四四三二 三七〇三七	二二二二二一一一一一 二一〇〇九九八七七 一六〇五〇四〇四九六	一一一一一 七六六六五五 一八三〇五三	年 掛
一一一一一 三二二二一 一八四一八 六四八二〇	一一一一一 一〇〇〇九九九九 四二九六四〇八五三一 九三二六〇九八七一五	八八八八七 八七四三〇九 九四八二六六	年 掛
六六六六六 六六六六六 七一二三七	五五五五五五五五五 九七六四三一〇九七七 一八二八五九八二九一	四四四四四 五四三二一〇 七九六八五九	三 ヶ 月 掛
二二二二二 三二二一〇 二六〇四八	二一一一一一一一一一 〇九九八八七七六六六 三八三三八四九四一	一一一一一 五五四四四四 七四九七二〇	月 掛

定期保險料掛金表

保險料百圓ニ付

年 齡	五 年	十 年	十 五 年	二 十 年
二〇	六、六八	三、八五	二、八八	二、四一
二一	六、八九	三、九二	二、九三	二、四四
二二	七、二〇	三、九九	二、九七	二、五〇
二三	七、三三	四、〇五	三、〇三	二、五四
二四	七、四四	四、一〇	三、〇八	二、五九
二五	七、五九	四、一七	三、一四	二、六四
二六	七、七四	四、二六	三、一九	二、六八
二七	七、八二	四、三三	三、二三	二、七四
二八	七、九四	四、四〇	三、三〇	二、七八
二九	八、〇七	四、四八	三、三六	二、八三
三〇	八、二〇	四、五五	三、四二	二、八九
三一	八、三三	四、六三	三、四八	二、九四
三二			三、五四	二、九九
三三				

三三	八、四七	四、七九	三、六四	三、〇四
三二	八、五九	四、八八	三、六七	三、一〇
三一	八、七五	四、九五	三、七三	三、一六
三〇	八、八九	五、〇四	三、八〇	三、二二
二九	九、〇四	五、一三	三、八七	三、二八
二八	九、一九	五、二一	三、九四	三、三四
二七	九、三五	五、三一	四、〇一	三、三九
二六	九、四八	五、四〇	四、〇八	三、四七
二五	九、六五	五、四九	四、一六	三、五五
二四	九、八二	五、六〇	四、二四	三、六二
二三	九、九九	五、六九	四、三二	三、七〇
二二	一〇、一六	五、七八	四、四〇	三、七八
二一	一〇、三三	五、九〇	四、五〇	三、八六
二〇	一〇、五一	六、〇一	四、五八	三、九五
一九	一〇、七一	六、一三	四、六九	四、〇五
一八	一〇、八九	六、二四	四、七九	四、一五
一七	一一、〇九	六、三七	四、八四	四、二七
一六	一一、二九	六、四九	四、九四	四、三八

第二類 人保險之部

子女教育資掛金表

資金百圓ニ付

一一三八

年齢	拾 年				拾 八 年			
	年掛	半年掛	三ヶ月掛	月掛	年掛	半年掛	三ヶ月掛	月掛
一	五、〇〇	二、五三	一、〇三	四〇	三、三四	一、七三	八六九	二、四
二	五、五	二、八五	一、四二	四九	三、六六	一、八六	九六	三、四
三	六、三〇	三、二九	一、八〇	五五	四、〇五	二、〇六	一、〇五	三、五
四	七、二六	三、七〇	二、一八	六二	四、四九	二、二六	一、一六	三、六
五	八、二二	四、一〇	二、五七	七〇	五、〇〇	二、四七	一、二七	三、七
六	九、一七	四、五二	三、〇四	七九	五、五五	二、六八	一、三九	三、八
七	一、〇一七〇	五、〇六	三、四六	八七	六、〇九	二、八九	一、五一	三、九
八	一、一〇〇	五、六〇	三、八八	九六	六、六四	三、一〇	一、六二	四、〇
九	一、一七〇	六、一五	四、三〇	一、〇三	七、二〇	三、三二	一、七四	四、一
〇	一、二四〇	六、七〇	四、七二	一、一〇	七、七五	三、五三	一、八六	四、二
一	一、三一〇	七、二五	五、一四	一、一七	八、三〇	三、七四	一、九八	四、三
二	一、三八〇	七、八〇	五、五六	一、二四	八、八五	三、九五	二、一〇	四、四
三	一、四五〇	八、三五	六、〇〇	一、三一	九、四〇	四、一六	二、二二	四、五
四	一、五二〇	九、〇〇	六、四二	一、三八	九、九五	四、三七	二、三三	四、六
五	一、五九〇	九、五五	六、八四	一、四五	一、〇五〇	四、五八	二、四五	四、七
六	一、六六〇	一、〇一〇	七、二六	一、六一	一、一二〇	五、〇〇	二、五六	四、八
七	一、七三〇	一、〇七〇	七、六八	一、六七	一、一九〇	五、四二	二、六七	四、九
八	一、八〇〇	一、一三〇	八、一〇	一、七四	一、二六〇	五、八四	二、七八	五、〇
九	一、八七〇	一、一九〇	八、五二	一、八一	一、三三〇	六、二六	二、八九	五、一
〇	一、九四〇	一、二五〇	八、九四	一、八八	一、四〇〇	六、六八	三、〇〇	五、二
満期請取	三、一〇	一、三六	五、七三	一、九三	三、一〇	一、三六	五、七三	一、九三

右之條々議定シタル證據トシテ各記名調印スル者也

【以下發起人物代名列記シアレドモ定款又ハ設立願等ニ於ケルト同様ナルヲ以テ省略ス】

東京府ノ指令按

明治二十二年七月十三日

明治二十二年六月七日付日本生命保險會社設立ノ件ハ追テ一般ノ會社條例制定迄人民ノ相對ニ任ス

但他管下へ支社又ハ代理店ヲ設置スルトキハ其官廳ノ指揮ニ從フヘシ

會社設立承認通知接

明治二十二年七月十八日

今般別番ノ會社設立承認致候ニ付此段及御通知候也

大藏省ニ
對スル東ニ
京府ノ通
知案 (447)

設立願ニ
對スル指
令案 (446)

名 稱	位 置	資 本 金	拂 込 期 限
有限日本生命保險會社	京橋區越前堀二丁目四番地	金貳拾万圓	拾回 一回五圓ツゞ

設立認可
ノ報 (448)

郵便報知新聞 第四九九九號 明治二十二年七月二十一日
日本生命保險會社 今度府廳ノ認可ヲ得タル同會社ハ營業年限ヲ滿五十年トシ資本金二十萬圓
ヲ以テ生命保險事業ヲ營ムモノナリ
其位置ハ京橋區越前堀貳丁目四番地ニシテ發起人ハ中島八三郎氏外五名ナリト云フ

轉居御届

京橋區越前堀貳丁目四番地

日本生命保險會社

移轉届 (449)

今回都合ニヨリ日本橋區北鞘町五番地ニ移轉仕候間此段御届申上候也

明治廿二年八月十九日

發起人惣代 角 倉 賀 道印

東京府知事男爵 高崎 五六 殿

定款改正ニ付御認可願

東京市日本橋區北鞘町五番地

日本生命保險會社

定款改正
願大社改
ヲ日社改
生命日本
稱其他改
本名正 (450)

當會社定款中別紙之通り議決之上改正仕候間至急御認可被成下度此段奉願上候也

右發起人惣代

明治廿二年九月十四日

清水 近 造

東京府知事男爵 高崎 五六 殿

第壹項 第壹條 當會社ノ名稱ハ日本生命保險會社ト稱シ生命保險ノ業ヲ營ムモノトス
ルヲ

第壹條 當會社ノ名稱ハ大日本生命保險會社ト稱シ生命保險ノ業ヲ營ムモノトス

第貳項 第四條 會社營業年限ハ認可ノ日ヨリ滿五拾ケ年トス

但滿期ニ至リ株主ノ決議ヲ經且ツ府廳ノ承認ヲ得ルニ於テハ猶繼續スルコトアルヘシトアル全文ヲ删除ス

第三項 第六條 當會社ノ資本金ハ貳拾萬圓ト定メ之ヲ四千株ニ分テ則チ五拾圓ヲ以テ壹株トシ發起人ニ於テ四分ノ一ヲ負擔シ其餘ハ募集スベシトアルヲ

第六條 當會社ノ資本金ハ參拾五萬圓ト定メ之ヲ七千株ニ分チ則五拾圓ヲ以テ壹株トシ發起人ニ於テ四分ノ一ヲ負擔シ其餘ハ募集スヘシ

ト改正ス

第四項 第拾四條第三項ニ取締役五名以上拾五名以下」トアルヲ

取締役五名以上拾名以下

ト改正ス

第五項 第拾五條 取締役ハ當會社株式三拾株以上ヲ所有スル株主中ヨリ投票ヲ以テ五名以上拾五名以下ヲ撰擧シ而シテ取締ノ互撰ヲ以テ社長壹名副社長壹名検査員貳名ヲ定ムヘシ」トアルヲ

第十五條 取締ハ當會社株式五拾株以上ヲ處有スル株主中ヨリ投票ヲ以テ五名以上拾名以下ヲ撰擧シ而シテ取締ノ互撰ヲ以テ社長壹名副社長壹名検査員貳名ヲ定ムヘシ

ト改正ス

第六項 第拾六條 正副社長ノ任期ハ滿壹ケ年トシ滿期ニ至レハ再撰重任スルヲ得」トアルヲ

第拾六條 正副社長取締役及ヒ検査員ノ任期ハ滿貳ケ年トシ滿期ニ至レハ再撰重任スルヲ得

ト改正ス

第七項 第拾七條 取締及検査員ハ毎年一月例式總會ニ於テ其半數ヲ改撰スヘシ

但シ再撰スルヲ得」トアル全文刪除

以上

定款改正願ニ付指令案

明治二十二年九月二十日

明治廿二年九月十四日付其社定款中改正竝ニ刪除ノ件聞置ク

右ニ對スル東京府指令案 (451)

發起人除名届書却下願

一 九月九日附ヲ以テ當會社發起人原田貞吉除名之義届出置候得共右ハ猶都合有之ニ付テハ一先ツ御却下被成下候様奉願上度此段出願及候也

日本生命保險會社

發起人總代

清水近三

明治廿二年九月十六日

第二編 會社資料

發起人除名届書却下願 (452)